

海浜公園内陸上競技場改修工事

特 記 事 項		 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 加藤 早妃 監図 三橋 五百子	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 表紙	設計日
											縮尺 A2:1/NS A3:1/NS	図面番号 A000 (原図:A2)

図 面 目 録

図面番号	工事範囲	図面内容	図面番号	工事範囲	図面内容	図面番号	工事範囲	図面内容	図面番号	工事範囲	図面内容
A001	建築工事図	工事特記仕様書(新築)No.1	A046	建築工事図	【①管理棟】建具表No.1	A091	建築工事図	【⑦スタンド棟】改修後 矩計図	S001	建築工事図	【共通】構造特記仕様書No.1
A002	〃	工事特記仕様書(新築)No.2	A047	〃	【①管理棟】建具表No.2	A092	〃	【⑦スタンド棟】改修前 改修後 外部階段詳細図	S002	〃	【共通】構造特記仕様書No.2
A003	〃	工事特記仕様書(新築)No.3	A048	〃	【①管理棟】建具表No.3	A093	〃	【⑦スタンド棟】改修前 1階平面詳細図No.1	S003	建築工事図	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図No.1
A004	〃	工事特記仕様書(新築)No.4	A049	〃	【①管理棟】E.V詳細図No.1	A094	〃	【⑦スタンド棟】改修後 1階平面詳細図No.1	S004	〃	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図No.2
A005	〃	工事特記仕様書(新築)No.5	A050	〃	【①管理棟】E.V詳細図No.2	A095	〃	【⑦スタンド棟】改修前 1階平面詳細図No.2	S005	〃	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図No.3
A006	〃	工事特記仕様書(新築)No.6	A051	〃	【①管理棟】E.V詳細図No.3	A096	〃	【⑦スタンド棟】改修後 1階平面詳細図No.2	S006	〃	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図No.4
A007	〃	工事特記仕様書(新築)No.7	A052	〃	【①管理棟】E.V詳細図No.4	A097	〃	【⑦スタンド棟】改修前 2階平面詳細図No.1	S007	〃	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図No.5
A008	〃	工事特記仕様書(新築)No.8	A053	〃	【①管理棟】各部詳細図No.1	A098	〃	【⑦スタンド棟】改修後 2階平面詳細図No.1	S008	〃	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図No.6
A009	〃	工事特記仕様書(改修)No.1	A054	〃	【①管理棟】各部詳細図No.2	A099	〃	【⑦スタンド棟】改修前 1階展開図No.1(器具庫1)	S009	〃	【共通】溶接規準図
A010	〃	工事特記仕様書(改修)No.2	A055	〃	【①管理棟】各部詳細図No.3	A100	〃	【⑦スタンド棟】改修後 1階展開図No.2(多目的室)	S010	〃	【共通】鉄骨規準図
A011	〃	工事特記仕様書(改修)No.3	A056	〃	【①管理棟】家具詳細図	A101	〃	【⑦スタンド棟】改修後 1階展開図No.3(多目的室)	S011	〃	【共通】露出柱脚認定工法標準図(参考図)
A012	〃	工事特記仕様書(改修)No.4	A057	〃	【①管理棟】防水平面図・防水詳細図	A102	〃	【⑦スタンド棟】改修前 1階展開図No.4(湯沸室)	S012	〃	【共通】デッキプレート標準図(参考図)
A013	〃	工事特記仕様書(改修)No.5	A058	〃	—	A103	〃	【⑦スタンド棟】改修後 1階展開図No.5(多目的室1)	S013	〃	【共通】地質調査位置図、地質調査報告書
A014	〃	工事特記仕様書(改修)No.6	A059	〃	—	A104	〃	【⑦スタンド棟】改修前 1階展開図No.6(器具庫2)	S014	〃	【①管理棟】基礎・杭伏図、1階伏図
A015	〃	工事特記仕様書(改修)No.7	A060	〃	—	A105	〃	【⑦スタンド棟】改修後 1階展開図No.7(多目的室2)	S015	〃	【①管理棟】2階伏図、R階伏図
A016	〃	—	A061	〃	—	A106	〃	【⑦スタンド棟】改修前 1階展開図No.8(更衣室1・シャワー室)	S016	〃	【①管理棟】基礎詳細図
A017	〃	【共通】全体配置図、付近見取図	A062	〃	【③サッカーゴール等収納庫】平面図、屋根伏図、建具表	A107	〃	【⑦スタンド棟】改修後 1階展開図No.9(更衣室1・シャワー室)	S017	〃	【①管理棟】基礎梁リスト、基礎小梁リスト
A018	〃	【共通】拡大配置図	A063	〃	【③サッカーゴール等収納庫】立面図、断面図	A108	〃	【⑦スタンド棟】改修前 1階展開図No.10(更衣室2・シャワー室)	S018	〃	【①管理棟】柱リスト、大梁リスト
A019	〃	【共通】敷地求積図	A064	〃	【③サッカーゴール等収納庫】矩計図	A109	〃	【⑦スタンド棟】改修後 1階展開図No.11(更衣室2・シャワー室)	S019	〃	【①管理棟】小梁リスト、壁リスト、床リスト
A020	〃	【共通】外部仕上表、内部仕上表No.1	A065	〃	【③サッカーゴール等収納庫】展開図、天井伏図	A110	〃	【⑦スタンド棟】改修前 1階展開図No.12(1階廊下No.1)	S020	〃	【①管理棟】軸組図No.1
A021	〃	【共通】内部仕上表No.2	A066	〃	【③サッカーゴール等収納庫】平面詳細図	A111	〃	【⑦スタンド棟】改修前 1階展開図No.13(1階廊下No.2)	S021	〃	【①管理棟】軸組図No.2
A022	〃	【共通】建物面積求積図、各室求積図・各室求積表	A067	〃	【④陸上器具庫】平面図、屋根伏図	A112	〃	【⑦スタンド棟】改修後 1階展開図No.14(1階廊下No.1)	S022	〃	【①管理棟】架構図
A023	〃	【①管理棟】法規チェック図、法規チェックリスト	A068	〃	【④陸上器具庫】立面図、断面図	A113	〃	【⑦スタンド棟】改修後 1階展開図No.15(1階廊下No.2)	S023	〃	【①管理棟】内部階段詳細図
A024	〃	【⑤写真判定棟】法規チェック図・法規チェックリスト	A069	〃	【④陸上器具庫】矩計図	A114	〃	【⑦スタンド棟】改修前 改修後 1階天井伏図	S024	〃	【①管理棟】外部階段階段詳細図
A025	〃	【①管理棟】1階平面図、2階平面図	A070	〃	【④陸上器具庫】天井伏図、展開図	A115	〃	【⑦スタンド棟】建具符号図、建具表	S025	〃	【①管理棟】各部詳細図
A026	〃	【①管理棟】屋根伏図	A071	〃	【④陸上器具庫】平面詳細図	A116	〃	【⑦スタンド棟】撤去建具表No.1	S026	〃	—
A027	〃	【①管理棟】立面図	A072	〃	【⑤写真判定棟】1階・2階平面図、屋根伏図	A117	〃	【⑦スタンド棟】撤去建具表No.2	S027	〃	—
A028	〃	【①管理棟】断面図	A073	〃	【⑤写真判定棟】立面図、断面図	A118	〃	【⑦スタンド棟】新設建具表No.1	S028	〃	—
A029	〃	【①管理棟】矩計図	A074	〃	【⑤写真判定棟】矩計図、断面詳細図	A119	〃	【⑦スタンド棟】新設建具表No.2	S029	〃	【③サッカーゴール等収納庫】基礎伏図、基礎梁リスト 床リスト
A030	〃	【①管理棟】内部階段詳細図	A075	〃	【⑤写真判定棟】階段詳細図	A120	〃	【⑦スタンド棟】新設建具表No.3	S030	〃	【③サッカーゴール等収納庫】伏図、部材リスト
A031	〃	【①管理棟】外部階段平面詳細図	A076	〃	【⑤写真判定棟】平面詳細図	A121	〃	【⑦スタンド棟】各部詳細図No.1	S031	〃	【③サッカーゴール等収納庫】軸組図No.1
A032	〃	【①管理棟】外部階段断面詳細図	A077	〃	【⑤写真判定棟】展開図No.1(1階倉庫)	A122	〃	【⑦スタンド棟】各部詳細図No.2	S032	〃	【③サッカーゴール等収納庫】軸組図No.2
A033	〃	【①管理棟】1階平面詳細図No.1	A078	〃	【⑤写真判定棟】展開図No.2(写真判定室・記録室) 家具詳細図	A123	〃	【⑦スタンド棟】改修前 立面図	S033	〃	【③サッカーゴール等収納庫】鉄骨詳細図
A034	〃	【①管理棟】1階平面詳細図No.2	A079	〃	【⑤写真判定棟】1階・2階天井伏図、各部詳細図	A124	〃	【共通】サイン詳細図No.1	S034	〃	【④陸上器具庫】基礎伏図、基礎梁リスト、床リスト
A035	〃	【①管理棟】2階平面詳細図No.1	A080	〃	【⑤写真判定棟】建具符号図、建具表	A125	〃	【共通】サイン詳細図No.2	S035	〃	【④陸上器具庫】伏図、部材リスト
A036	〃	【①管理棟】2階平面詳細図No.2	A081	〃	【⑥屋外トイレ棟】平面図、屋根伏図、立面図、断面図	A126	〃	【共通】サイン詳細図No.3	S036	〃	【④陸上器具庫】軸組図
A037	〃	【①管理棟】1階展開図No.1(男子トイレ、女子トイレ)	A082	〃	【⑥屋外トイレ棟】構造図				S037	〃	【④陸上器具庫】鉄骨詳細図
A038	〃	【①管理棟】1階展開図No.2(多目的トイレ、 休憩スペース・エントランスホール)	A083	〃	【⑥屋外トイレ棟】設備図				S038	〃	【⑤写真判定棟】基礎詳細図、基礎梁リスト 杭・基礎伏図、基礎梁伏図
A039	〃	【①管理棟】1階展開図No.3(風除室、事務室)	A084	〃	【⑦スタンド棟】建物面積求積図、各室求積図・各室求積表				S039	〃	【⑤写真判定棟】2階伏図、R階伏図、部材リスト
A040	〃	【①管理棟】1階展開図No.4(倉庫、休憩室)	A085	〃	【⑦スタンド棟】外部仕上表、内部仕上表				S040	〃	【⑤写真判定棟】軸組図
A041	〃	【①管理棟】2階展開図No.1(小会議室、収納庫)	A086	〃	【⑦スタンド棟】法規チェック図、法規チェックリスト				S041	〃	【⑤写真判定棟】鉄骨詳細図
A042	〃	【①管理棟】2階展開図No.2(大会議室)	A087	〃	【⑦スタンド棟】改修前 改修後 1階平面図						
A043	〃	【①管理棟】2階展開図No.3(ホール)	A088	〃	【⑦スタンド棟】改修前 改修後 2階平面図						
A044	〃	【①管理棟】1階天井伏図、2階天井伏図	A089	〃	【⑦スタンド棟】改修前 改修後 立面図						
A045	〃	【①管理棟】建具符号図	A090	〃	【⑦スタンド棟】改修前 矩計図						

特 記 事 項	設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	検査	工事名称	設計日
	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第307846号 加藤 早紀	一級建築士 第360917号 前田 祐作		加藤 早紀	前野 将輝	海浜公園内陸上競技場改修工事	縮尺 A2:1/NS A3:1/NS

図 面 目 録

図面番号	工事範囲	図 面 内 容	図面番号	工事範囲	図 面 内 容	図面番号	工事範囲	図 面 内 容	図面番号	工事範囲	図 面 内 容
E001	建築工事図	電気設備 特記仕様書1	M001	建築工事図	機械設備工事 特記仕様書(1)						
E002	〃	電気設備 特記仕様書2	M002	〃	機械設備工事 特記仕様書(2)						
E003	〃	電気設備 特記仕様書3	M003	〃	全体配置図						
E004	〃	電気設備工事 全体配置図	M004	〃	衛生機器表、器具表						
E005	〃	幹線系統図・幹線リスト	M005	〃	空調機器表						
E006	〃	【①管理棟】分電盤図	M006	〃	換気機器表						
E007	〃	【①管理棟】幹線・動力設備 1階平面図、2階平面図	M007	〃	換気計算書						
E008	〃	照明器具姿図	M008	〃	【①管理棟】給排水設備 1階平面図						
E009	〃	【①管理棟】電灯設備 1階平面図、2階平面図	M009	〃	【①管理棟】空調換気設備 1階・2階平面図						
E010	〃	【④管理棟】電灯設備 屋根伏図	M010	〃	【③サッカーゴール等収納庫】給排水設備 平面図						
E011	〃	非常用照明・誘導灯器具姿図	M011	〃	【④陸上器具庫】給排水設備 平面図						
E012	〃	【④管理棟】非常用照明・誘導灯設備 1階平面図、2階平面図	M012	〃	【⑤写真判定棟】機械設備 1階・2階平面図						
E013	〃	【④管理棟】コンセント設備 1階平面図、2階平面図	M013	〃	【⑥屋外トイレ棟】給排水設備 平面図						
E014	〃	弱電設備 系統図・機器姿図	M014	〃	【⑦スタンド棟】 <input type="checkbox"/> 改修前 <input checked="" type="checkbox"/> 改修後 給排水ガス設備 1階平面図						
E015	〃	【④管理棟】弱電設備 1階平面図、2階平面図	M015	〃	【⑦スタンド棟】 <input type="checkbox"/> 改修前 <input checked="" type="checkbox"/> 改修後 給排水ガス設備 2階平面図						
E016	〃	拡声設備 系統図・凡例・注記	M016	〃	【⑦スタンド棟】 <input type="checkbox"/> 改修前 <input checked="" type="checkbox"/> 改修後 空調換気設備 1階平面図						
E017	〃	拡声設備(非常業務放送) 機器姿図									
E018	〃	拡声設備(FM放送) 機器姿図									
E019	〃	【④管理棟】拡声設備 1階平面図、2階平面図									
E020	〃	自動火災報知設備 系統図・凡例・注記									
E021	〃	【④管理棟】自動火災報知設備設備 1階平面図、2階平面図									
E022	〃	【③サッカーゴール等収納庫】電灯・ソケット・拡声設備 平面図、分電盤図									
E023	〃	【④陸上器具庫】電灯・ソケット・拡声設備 平面図、分電盤図									
E024	〃	【⑤写真判定棟】幹線・動力・ソケット設備 1階・2階平面図、分電盤図									
E025	〃	【⑤写真判定棟】電灯設備 1階・2階平面図、屋根伏図									
E026	〃	【⑤写真判定棟】誘導灯設備 1階・2階平面図									
E027	〃	【⑤写真判定棟】弱電・拡声設備 1階・2階平面図									
E028	〃	【⑥屋外トイレ棟】幹線設備 平面図、分電盤図									
E029	〃	【⑦スタンド棟】分電盤図									
E030	〃	【⑦スタンド棟】 <input type="checkbox"/> 改修前 <input checked="" type="checkbox"/> 改修後 幹線・動力設備 1階平面図									
E031	〃	【⑦スタンド棟】 <input type="checkbox"/> 改修前 <input checked="" type="checkbox"/> 改修後 電灯設備 1階平面図									
E032	〃	【⑦スタンド棟】 <input type="checkbox"/> 改修前 <input checked="" type="checkbox"/> 改修後 非常用照明・誘導灯設備 1階平面図									
E033	〃	【⑦スタンド棟】 <input type="checkbox"/> 改修前 <input checked="" type="checkbox"/> 改修後 コンセント設備 1階平面図									
E034	〃	【⑦スタンド棟】 <input type="checkbox"/> 改修前 <input checked="" type="checkbox"/> 改修後 弱電設備 1階平面図									
E035	〃	【⑦スタンド棟】 <input type="checkbox"/> 改修前 <input checked="" type="checkbox"/> 改修後 弱電設備 2階平面図									
E036	〃	【⑦スタンド棟】 <input type="checkbox"/> 改修前 <input checked="" type="checkbox"/> 改修後 拡声設備 1階平面図									
E037	〃	【⑦スタンド棟】 <input type="checkbox"/> 改修前 <input checked="" type="checkbox"/> 改修後 自動火災報知設備 1階平面図									
E038	〃	【⑦スタンド棟】 <input type="checkbox"/> 改修前 <input checked="" type="checkbox"/> 改修後 誘導灯・拡声・自動火災報知設備 2階平面図									

工事特記仕様書

I. 工事名		海浜公園内陸上競技場改修工事
II. 工事概要		
1. 工事場所	津市 末広町 地内	
2. 敷地面積	43,293.33 m ²	
3. 工事内容		
棟名称	管理棟、サッカーゴール等収納庫、陸上器具庫、写真判定棟、屋外トイレ(南)、屋外トイレ(北)	
構造	管理棟、屋外トイレ(南)、屋外トイレ(北)：RC造 サッカーゴール等収納庫、陸上器具庫、写真判定棟：S造	
建築面積	894.11 m ²	
延べ面積	1,671.50 m ²	
工事項目	新築工事、改修工事(スタンド棟)※2	

※1: 土木工事 ※2: 改修特記仕様書による

III. 建築工事仕様

- 共通仕様
 - 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書(「建築工事編」令和4年版)(以下「標準仕様書」)及び公共建築改修工事標準仕様書(「建築工事編」令和4年版)による。
- 特記仕様
 - 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 - 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
 - 項目に記載の()内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 1) 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(令和4年版) 2) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(令和4年版) 3) 津市木材利用方針
	②施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 ※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 ※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 ※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 ※ 工事車両及び工事関係車両は、周道路路に駐車しないこと。 ※ 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立会いのもと写真に記録しておくこと。 ※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 ※ 高等等の施工箇所にて完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査(書類を含む)を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。

③発生材の処理等
(1.3.11)

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	○有・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用
基礎・基礎くい	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	○有・無	○手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	○有・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用
その他()	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用

- 引渡を要するもの (○無)
- ・ 特別管理産業廃棄物 ・有() 処理方法()
- ・ 石綿含有成形板等解体時の留意点
 - 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
 - 可能であれば湿潤状態(散水)として作業を進めること。
 - 飛散させない様にする。
 - 保護具及び作業着を着用すること。
 - 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
 - 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。

- 再資源化を図るもの ○コンクリート塊
○アスファルトコンクリート塊
・建設発生木材
・()
- 引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。
引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

④建設副産物情報交換システムの利用

がある場合)を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
また、工事完了後には「再生資源利用実施書」(建設資材の搬入があった場合)及び「再生資源利用促進実施書」(建設副産物の搬出があった場合)をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。
なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

⑤三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。

⑥電気保安技術者
(1.3.3)

- 配置する

⑦技能士
(1.5.2)

職種別に可能なものについては積極的に活用すること

⑧建築材料等

- 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。
- 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

⑨化学物質の濃度測定
(1.5.9)

測定対象化学物質(●で示したものとす。)

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スリレン	パラジクロロベンゼン
学校・教育施設		●	●	●	●	●	●
住宅		●	●	●	●	●	●
○ その他		●	●	●	●	●	●

対象箇所 (○)図示(図面番号: A025, A072, A087))
測定方法 (○)バツプ法 ・アクティブ法)
測定時期 ・()
報告書提出部数 2部

⑩特別な材料の工法

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑪騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑫工事写真
(1.2.4)

営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(最新版))に従い撮影する。
提出部数 1部 用紙は上質紙とする。
なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について(令和5年3月1日付け国営建技第14号)」による。

⑬完成図等
(1.7.1)
(1.7.2)
(1.7.3)

- 作成する (○)完成図 (○)保全に関する資料 ・()
- 完成図作図範囲(設計図を訂正)
- 完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は発注者に移譲するものとする。また、製本2部(図面サイズについては監督員と協議による。)により提出すること。

⑭完成写真

- デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。
写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

⑮設備工事との取合い

- 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
 - 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
 - 駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ
- 施工図
○ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

⑯設計GL

- ・ 図示(図面番号: A018)

⑰養生その他

工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならない補修すること。

⑱事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑲消防法関係の手続き

- 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成
○本工事 (○)建築工事 (○)電気設備工事 (○)機械設備工事)
・ 別途工事
- 防火対象物使用開始届出書
書類の作成(建築図面の作成及び建築に関する部分の記入)を行うこと。

⑳労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

㉑不正軽油の使用の禁止

- 一般事項
工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。)資機材等の搬出入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
- 調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等と同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
- 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

22. 屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。

特記事項	特記事項	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	一級建築士	一級建築士	一級建築士	一級建築士		加藤 早紀	海浜公園内陸上競技場改修工事	
		株式会社 前野建築設計	一級建築士	一級建築士	一級建築士	一級建築士		藤田 祐作	図面名称	縮尺
		管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	第320204号	第307846号	第378328号	第360917号		三橋 五百子	工事特記仕様書(新営) No. 1	A2:1/NS A3:1/NS

② 仮設工事	1. 監督員事務所 (2.3.1)	・設置する。 監督員事務所の規模 (単位: m)	適用	規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度
	2. 監督員事務所 (2.3.1) の設備・備品	種類	機・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計		
	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー			
		数量	組	台	個	個	個	個	個
		種類	足	着	個	個	台		
		種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器		
		数量	個	個	台	台	台	台	台
	③ 仮設便所	構内既存の施設	・利用できる	<input checked="" type="radio"/> 利用できる	<input type="radio"/> 利用できない				
	④ 工事用水	構内既存の施設	<input checked="" type="radio"/> 利用できる	<input checked="" type="radio"/> 有償	<input type="radio"/> 無償	<input type="radio"/> 利用できない			
	⑤ 工事用電力	構内既存の施設	<input checked="" type="radio"/> 利用できる	<input checked="" type="radio"/> 有償	<input type="radio"/> 無償	<input type="radio"/> 利用できない			
		本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。							
	⑥ 足場	内部足場の種別 (参考)	<input checked="" type="radio"/> 脚立	<input type="radio"/> 棚足場	<input type="radio"/> ()				
		外部足場の種別 (参考)	<input checked="" type="radio"/> 手摺先行据置枠組足場	<input type="radio"/> その他 ()					
		防護シート等による養生	<input checked="" type="radio"/> 適用する	<input type="radio"/> 適用しない					
		設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。							
		・足場 (つり足場、張出し足場又は高さが1.0m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る)の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。							
		1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者							
		2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント (区分が土木又は建築である者) や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者							
		3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者							
	⑦ 交通誘導警備員	配置	<input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: A131)						
③ 土工事	① 埋戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1)	種別	<input type="radio"/> A種	<input checked="" type="radio"/> B種	<input type="radio"/> C種	<input type="radio"/> D種			
	② 建設発生土の処理 (3.2.5)	処分地指定	処分地 (津市河芸町上野建設発生土処分場)	処分地未定につき相互協議する。	暫定運搬距離	・8km	・4km	・() km	
	3. 山留めの撤去 (3.3.3)	鋼矢板等の抜き跡の処理	・砂充填	・()					
		山留め壁等	・撤去	・存置					
④ 地業工事	① 杭の施工管理	杭工事特記仕様書による。							
	② 適用基準	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。 国土交通省告示第468号「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」(平成28年3月4日)							
	③ 施工記録	受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。 なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。							
	④ 根拠資料	特記仕様書及びその他基準等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料 (施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等) は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項 (第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。) の規定による引渡しを受けた日から10年とする。 また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。							
	⑤ 試験杭及び試験掘 (4.2.2)	<input checked="" type="radio"/> 試験杭 位置、本数及び寸法 図示 (図面番号: S014, S038)	<input type="radio"/> 試験掘 位置、本数及び寸法 図示 (図面番号:)						
	⑥ 支持層	支持層の位置、土質	<input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: S013)	・()					
	⑦ 水平方向の位置ずれ (4.3.4) (4.5.5)	(150) mm以下							
	8. 杭の載荷試験 (4.2.3)	試験方法	・鉛直載荷	・水平載荷	・()				
		試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。位置、本数	・図示 (図面番号:)	載荷荷重 (kN)	報告書	・提出部数 2部			
	9. 地盤の載荷試験 (4.2.4)	試験方法	・平板載荷	・()					
	試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。位置	・図示 (図面番号:)	載荷荷重 (kN)	報告書	・提出部数 2部				
⑩ 既製コンクリート杭 (4.3.1) (表4.3.1) (4.3.3) (4.3.4) (4.3.5) (4.3.6) (4.3.8)	<input checked="" type="radio"/> PHC杭	<input checked="" type="radio"/> A種	<input checked="" type="radio"/> B種	・C種					
	・SC杭			・PRC杭					
	・上記以外の建築基準法に基づく杭 (参考表)								
	種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考		
		先端形状	・開放型	・閉そく型					
		施工方法	・セメントミルク工法	・オーガーの支持層への掘削深さ	・()m	・図示 (図面番号:)			
		・杭の支持層への根入れ深さ	・()m	・図示 (図面番号:)					
		・根固め液及び杭周固定液の管理試験	・標準仕様書[4.3.4(6)㉑]	・()					
		・特定埋込杭工法	・杭の根入れ深さ	・()m	・図示 (図面番号:)				
		継手	・アーク溶接	・無溶接継手 (工法:)					
		杭頭の処理	・行う	・行わない					
⑤ 鉄筋工事	11. 鋼杭地業 (4.4.3) (4.4.4) (4.4.5) (4.4.6) (4.3.5) (4.3.8) (7.2.5)	・鋼管杭	・SKK400	・SKK490	・STK400				
		・H形鋼杭	・SHK400	・SHK490M					
		径	・φ300	・φ350	・φ400	・φ450	・φ(267.4)		
		長さ	(17)m						
		継手の工法	・現場溶接	・機械式継手					
		溶接材料	・標準仕様書[7.2.5](1)(2)以外 ()						
		・特定埋込杭工法	・杭の根入れ深さ	・(200)m	・図示 (図面番号:)				
		杭頭処理の方法	・ガス切断	・()					
	12. 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.1) (4.5.4) (4.5.5) (4.5.6)	施工方法	・アースドリル工法	・リバース工法	・オールケーシング工法	・鋼管コンクリート杭工法			
		掘削	・行わない	・行う ()					
	杭の根入れ深さ	・()m	・図示 (図面番号:)						
	孔壁の超音波測定	・行う	・行わない						
	帯筋の加工及び組立	・図示 (図面番号:)							
	鉄筋の最小かぶり厚さ	() mm							
	鉄筋かごの補強	・図示 (図面番号:)							
	継手	・重ね継手	・()						
	コンクリートの種別	・A種	・B種						
	設計基準強度	() N/mm ²							
	セメントの種類	・高炉セメントB種	・()						
	スランプ (cm)	・18	・()						
	構造体強度補正值 (S)	・3 N/mm ²	・()						
13. 地盤改良	・()工法	・六価クロム溶出試験	・室内配合試験	・一軸圧縮試験					
⑭ 砂及び砂利地業 (4.6.2) (4.6.3)	砂利	<input checked="" type="radio"/> 再生クラッシュラン	・切込砂利	・切込碎石	・()				
	砂	・シルト	・山砂	・川砂	・砕砂	・()			
	施工範囲	<input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: S014他)							
	厚さ (mm)	<input checked="" type="radio"/> 60	<input type="radio"/> (100)						
	<input checked="" type="radio"/> 仕上がりレベルを計測し、記録すること。								
⑮ 捨コンクリート地業 (4.6.4)	厚さ (mm)	<input type="radio"/> 50	・()						
	施工範囲	<input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: S014他)							
	<input checked="" type="radio"/> 仕上がりレベルを計測し、記録すること。								
⑯ 床下防湿層 (4.6.2) (4.6.5)	施工範囲	<input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: S014他)							
	ポリエチレンフィルム厚さ	<input checked="" type="radio"/> 0.15mm以上	・()						
	<input checked="" type="radio"/> 防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。								
	① 鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1)	種類の記号	径	備考					
		<input checked="" type="radio"/> SD295	<input checked="" type="radio"/> D16以下						
		<input checked="" type="radio"/> SD345	<input checked="" type="radio"/> D19以上						
		・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの							
	② 溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法	鉄線の径 (mm)	・4	・5	<input checked="" type="radio"/> 6	・()		
		寸法 (mm)	<input checked="" type="radio"/> 100×100	<input checked="" type="radio"/> 150×150	・()				
	③ 内法直径 (5.3.2)	90°未満の折曲げの内法直径	<input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: S003)						
	④ 継手 (5.3.4) (表5.3.2) (表5.3.3)		径	部 位					
		<input checked="" type="radio"/> 重ね継手	D16以下						
		<input checked="" type="radio"/> ガス圧接	D19以上						
		主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ							
		・標準仕様書[5.3.4](3)(7)	<input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: S003)						
		継手位置	・各部配筋参考図による	<input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: S003)					
		鉄筋定着	・標準仕様書[表5.3.4]	<input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: S003)					
		・標準仕様書[図5.3.3]	<input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: S003)						
	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5) (表5.3.6)	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ	<input checked="" type="radio"/> 標準仕様書[表5.3.6]	・図示 (図面番号: S003)					
		<input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: S003~007, S014)							
	⑦ 圧接完了後の試験 (5.4.10)	抜取試験方法	<input checked="" type="radio"/> 超音波探傷試験	・引張試験					
		引張試験方法	<input checked="" type="radio"/> 標準仕様書[5.4.10](イ)(b)	・()					
	8. 機械式継手及び溶接継手 (5.5.3) (5.5.5) (5.6.3) (5.6.5)	・機械式継手	適用箇所 ()	種類 ()	性能 ()				
			施工完了後の継手部の試験 ()	不合格となった継手部への措置 ()					
			鉄筋相互のあき ()mm						
		・溶接継手	適用箇所 ()	種類 ()	性能 ()				
			施工完了後の継手部の試験 ()	不合格となった継手部への措置 ()					
			鉄筋相互のあき ()mm						

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 加藤 早妃 校印 三橋 五百子 監図 三橋 五百子	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 工事特記仕様書 (新営) No.2 縮尺 A2:1/NS A3:1/NS	設計日 図面番号 A002 (原図:A2)
------	---	----------------------------	----------------------------	---------------------------	---------------------------	------	-------	------------------------------------	--	-----------------------

<p>⑥ コンクリート工事</p> <p>① コンクリートの使用骨材による種類及び強度 (6.2.1) (6.2.2) (6.2.4) (6.10.1) (6.10.2) (6.10.3) (6.11.1) (6.11.3) (表6.2.2) (表6.10.1)</p> <p>② コンクリートの種類 (6.2.1) (表6.2.1)</p> <p>③ コンクリートの仕上り (6.2.5) (表6.2.4) (表6.2.5)</p> <p>④ セメント (6.3.1) (表6.3.1)</p> <p>⑤ 骨材 (6.3.1)</p> <p>⑥ コンクリートの材料 (6.3.1) (表6.3.2)</p> <p>⑦ 打継ぎ (6.6.4)</p> <p>8.養生 (6.7.2)</p> <p>⑨ 型枠 (6.6.4) (6.8.1) (6.8.2) (表6.8.1)</p> <p>(6.8.4)</p> <p>⑩ 寒中コンクリート (6.11.1)</p> <p>⑪ 暑中コンクリート (6.12.2)</p>	<p>普通コンクリートの設計基準強度</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 F_c</th> <th>適用箇所</th> <th>施工時期</th> <th>スラブ</th> </tr> <tr> <td>24 (N/mm²)</td> <td>基礎・外構躯体</td> <td></td> <td>15 (cm)</td> </tr> <tr> <td>24 (N/mm²)</td> <td>躯体・デッキ上</td> <td></td> <td>18 (cm)</td> </tr> <tr> <td>18 (N/mm²)</td> <td>土間</td> <td></td> <td>15 (cm)</td> </tr> </table> <p>軽量コンクリートの設計基準強度</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 F_0</th> <th>適用箇所</th> <th>種類</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>スラブ</th> </tr> <tr> <td>(N/mm²)</td> <td></td> <td></td> <td>t/m³</td> <td>(cm)</td> </tr> </table> <p>・ 常時土又は水に直接接する部分 図示 (図面番号:)</p> <p>② コンクリートの種類 (6.2.1) (表6.2.1)</p> <p>・ 大臣認定品 図示 (図面番号:)</p> <p>③ コンクリートの仕上り (6.2.5) (表6.2.4) (表6.2.5)</p> <p>合板せき板を用いる場合の打直し仕上げの種類</p> <p>・ A種 (B種) ・ C種</p> <p>仕上りの平たんさ</p> <p>・ a種 ・ b種 ・ c種</p> <p>④ セメント (6.3.1) (表6.3.1)</p> <p>種類 (普通ポルトランドセメント、混合セメントA種)</p> <p>・ ()</p> <p>高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種</p> <p>・ 適用箇所 図示 (図面番号:)</p> <p>⑤ 骨材 (6.3.1)</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分</p> <p>・ A</p> <p>・ B</p> <p>・ 特殊な骨材の使用</p> <p>・ フェロニッケルスラグ細骨材</p> <p>・ 鋼スラグ細骨材</p> <p>・ 電気炉酸化スラグ骨材</p> <p>・ 再生骨材H</p> <p>⑥ コンクリートの材料 (6.3.1) (表6.3.2)</p> <p>混和材料 図示 (図面番号: S001)</p> <p>混和剤の種類、使用方法、使用量</p> <p>・ 標準仕様書 [6.3.1] (4) (a)、標準仕様書 [6.3.2] (4) (f)</p> <p>・ ()</p> <p>混和材の種類、使用方法、使用量</p> <p>・ 標準仕様書 [6.3.1] (4) (b)、標準仕様書 [6.3.2] (4) (f)</p> <p>・ ()</p> <p>構造体強度補正值 (S) 標準仕様書 [表6.3.2] ・ ()</p> <p>⑦ 打継ぎ (6.6.4)</p> <p>位置 標準仕様書 [6.6.4] (1) ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>8.養生 (6.7.2)</p> <p>・ 普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 () 日以上</p> <p>⑨ 型枠 (6.6.4) (6.8.1) (6.8.2) (表6.8.1)</p> <p>材料 (複合合板 (厚さ (mm)) 12 ・ ())</p> <p>打増し厚さ 図示 (図面番号: S002)</p> <p>誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p> <p>・ 断熱材の兼用</p> <p>・ MCR工法用シート</p> <p>スリーブの材種、規格等</p> <p>・ 鋼管 (硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>・ つば付き鋼管 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>(6.8.4)</p> <p>型枠存置期間及び取外し</p> <p>・ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 () 日</p> <p>適用期間 (S02による)</p> <p>・ 構造体強度補正值 (S) は積算温度を基に定める</p> <p>⑩ 寒中コンクリート (6.11.1)</p> <p>⑪ 暑中コンクリート (6.12.2)</p> <p>構造体強度補正值 (S)</p> <p>・ 6 N/mm² ・ ()</p>	設計基準強度 F_c	適用箇所	施工時期	スラブ	24 (N/mm ²)	基礎・外構躯体		15 (cm)	24 (N/mm ²)	躯体・デッキ上		18 (cm)	18 (N/mm ²)	土間		15 (cm)	設計基準強度 F_0	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スラブ	(N/mm ²)			t/m ³	(cm)	<p>12. マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2) (表6.13.1)</p> <p>適用箇所 図示 (図面番号:)</p> <p>セメントの種類</p> <p>・ 普通ポルトランドセメント</p> <p>・ 中熱ポルトランドセメント</p> <p>・ 低熱ポルトランドセメント</p> <p>・ 高炉セメントB種</p> <p>・ フライアッシュセメントB種</p> <p>・ シリカセメント</p> <p>スラブ</p> <p>・ 15cm ・ ()</p> <p>混和剤の種類 標準仕様書 [6.13.2] (2) (7) ・ ()</p> <p>混和材の種類 標準仕様書 [6.13.2] (2) (4) ・ ()</p> <p>構造体強度補正值 (S) 標準仕様書 [表6.13.1] ・ ()</p> <p>⑬ 無筋コンクリート (6.14.1)</p> <p>適用箇所 標準仕様書 [6.14.1]</p> <p>・ (7) ・ (4) (4) ・ (イ) ・ (オ) ・ (カ)</p> <p>・ 上記以外の適用箇所 ()</p> <p>設計基準強度 18 (N/mm²) (24) (N/mm²)</p> <p>スラブ 15cm ・ 18cm</p> <p>14. 流動化コンクリート (6.15.1)</p> <p>適用箇所 図示 (図面番号:)</p> <p>⑦ 鉄骨工事</p> <p>① 施工管理技術者 (7.1.4)</p> <p>② 製作工場 (7.1.3)</p> <p>配置する (株) 日本鉄骨評価センター又は (株) 全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場</p> <p>・ J ・ R ・ M ・ H ・ S</p> <p>③ 鋼材 (7.2.1) (表7.2.1)</p> <p>種類、形状及び寸法 図示 (図面番号:)</p> <p>④ 高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.4.7)</p> <p>種類</p> <p>・ トルシア形高力ボルト (S10T)</p> <p>・ JIS形高力ボルト2種 (F10T)</p> <p>・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当)</p> <p>・ ()</p> <p>高力ボルトのねじの呼び</p> <p>・ 図示 (図面番号: S002)</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>・ 図示 (図面番号: S002)</p> <p>すべり試験の試験方法 ・ ()</p> <p>JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合</p> <p>・ 回転量 ()。</p> <p>⑤ 普通ボルト (7.2.3) (表7.2.3)</p> <p>ボルト及びナットの材料等、ボルトのねじの呼び</p> <p>・ 図示 (図面番号: S002)</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>・ 図示 (図面番号: S002)</p> <p>⑥ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.3.2) (7.4.2) (7.12.5)</p> <p>摩擦面の処理</p> <p>・ プラスト処理 (表面粗度 50 μmRz 以上)</p> <p>・ リン酸塩処理</p> <p>すべり試験の試験方法 ・ ()</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p> <p>⑦ アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2) (7.10.3) (表7.10.1) (表7.2.3)</p> <p>種類</p> <p>構造用 ・ ABR400B (S030, S035, S039による)</p> <p>建方用 ・ SS400 ・ ()</p> <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み</p> <p>・ A種 ・ B種</p> <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度</p> <p>・ 標準仕様書 [表7.2.3]</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p> <p>構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法</p> <p>・ 図示 (図面番号: S030, S035, S039)</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>・ 図示 (図面番号: S030, S035, S039)</p>	<p>⑧ 溶接材料 (7.2.5)</p> <p>材料</p> <p>・ 標準仕様書 [7.2.5] (1) (2) 以外の溶接材料 ()</p> <p>⑨ タンバクル (7.2.6)</p> <p>種類及びねじの呼び等</p> <p>・ 図示 (図面番号: S02)</p> <p>建築用タンバクル胴</p> <p>・ 割枠式 ・ ()</p> <p>建築用タンバクルボルト</p> <p>・ 羽子板ボルト ・ ()</p> <p>⑩ ティックプレート (7.2.7) (7.7.8)</p> <p>材質、形状及び寸法 図示 (図面番号: S012)</p> <p>溶接方法 図示 (図面番号: S012)</p> <p>11. スタッド (7.2.8)</p> <p>種類等 図示 (図面番号:)</p> <p>⑫ 柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)</p> <p>柱底均しモルタルの工法、厚み</p> <p>・ A種 (30)mm ・ B種 ()mm</p> <p>無収縮モルタルの材料及び調合</p> <p>・ 標準仕様書 [7.2.9] (2) ・ ()</p> <p>13. 材料試験等 (7.2.10)</p> <p>板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験</p> <p>・ JIS G 0901により行う</p> <p>14. ねじの孔径 (7.3.8)</p> <p>普通ボルトの孔径 (母屋又は副縁の取付け)</p> <p>・ ねじの呼び\pm1.0mm ・ ()</p> <p>⑮ 仮組 (7.3.10)</p> <p>行わない ・ 行う</p> <p>仮組を行う範囲 図示 (図面番号:)</p> <p>⑯ 溶接作業における技能資格者 (7.6.3)</p> <p>溶接作業の技量付加試験</p> <p>・ 行わない ・ 行う</p> <p>⑰ 溶接部の開先 (7.6.4)</p> <p>開先の形状</p> <p>・ 図示 (図面番号: S009)</p> <p>⑱ 溶接施工 (7.6.7)</p> <p>鋼製エンドタブの切除</p> <p>・ 適用及び切断範囲 図示 (図面番号: S002)</p> <p>切断面の仕上げ</p> <p>・ 標準仕様書 [7.6.7] (1) (b) (b) ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>鋼製エンドタブに代わるその他の工法</p> <p>鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方を満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。</p> <p>1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場の製作であること。</p> <p>2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習終了者 (溶接技能者・A級以上)、又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。また、製作工場がH、Sグレードの場合は溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。</p> <p>板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部</p> <p>・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:)</p> <p>スカラップの形状 図示 (図面番号: S002)</p> <p>⑲ 溶接部の試験 (7.6.12)</p> <p>試験の種類</p> <p>溶接部の外観試験方法 (目視試験)</p> <p>・ ()</p> <table border="1"> <tr> <th>溶接区分</th> <th>AQQL (%)</th> <th>検査水準</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>現場溶接</td> <td></td> <td></td> <td>全数試験</td> </tr> <tr> <td>工場溶接</td> <td>2.5</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </table> <p>⑳ 錆止め塗装 (7.8.2) (7.8.4)</p> <p>耐火被覆材の接着する面への塗装</p> <p>塗装範囲 図示 (図面番号: S002)</p> <p>種類</p> <p>・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] (A)種</p> <p>・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.2] ()種</p>	溶接区分	AQQL (%)	検査水準	備考	現場溶接			全数試験	工場溶接	2.5	6		<p>耐火被覆材の接着する面以外への塗装</p> <p>塗装範囲 図示 (図面番号:)</p> <p>鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る)</p> <p>・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] ()種</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>工法</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td>柱・梁</td> <td>耐火被覆</td> <td>ロックウール</td> <td>吹付け</td> <td>60分耐火</td> </tr> </table> <p>21. 耐火被覆 (7.9.2) (7.9.3)</p> <p>22. 軽量形鋼 (7.11.2)</p> <p>接合部 (ボルト接合の場合)</p> <p>・ 普通ボルト接合 ・ ()</p> <p>⑧ コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板</p> <p>1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.3) (8.2.5) (8.2.7) (8.2.8) (表8.2.1)</p> <p>種類</p> <p>・ 空洞ブロック16</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p> <p>正味厚さ、モジュール呼び寸法</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p> <p>各部の配筋</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p> <p>目地仕上げ</p> <p>・ 押し目地 ・ 化粧目地</p> <p>モルタルの調合</p> <p>・ 標準仕様書 [8.2.3] ・ ()</p> <p>モルタル又はコンクリートの充填範囲 図示 (図面番号:)</p> <p>② コンクリートブロック横壁及び塀 (8.3.2) (8.3.3) (8.3.4) (8.3.7) (表8.3.1)</p> <p>ブロックの種類</p> <p>・ 標準仕様書 [表8.3.1]</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p> <p>正味厚さ、モジュール呼び寸法、ブロックの厚さ</p> <p>・ 図示 (図面番号: A033, A053)</p> <p>モルタルの調合</p> <p>・ 標準仕様書 [8.2.3] ・ ()</p> <p>化粧</p> <p>・ 有り () 無し</p> <p>塀の厚さ $H \leq 2.0m$ ・ 120mm ・ ()</p> <p>$H > 2.0m$ ・ 150mm ・ ()</p> <p>各部の配筋</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p> <p>モルタル又はコンクリートの充填範囲</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p> <p>3. ALCパネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位荷重 (N/mm²)</th> <th colspan="3">呼び寸法</th> <th rowspan="2">構造</th> <th rowspan="2">耐火性能</th> </tr> <tr> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>外壁パネル</td> <td>()</td> <td>100 (120以上)</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>A種</td> <td>(1)時間</td> </tr> <tr> <td>間仕切壁パネル</td> <td>()</td> <td>100 ()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>C種</td> <td>()時間</td> </tr> <tr> <td>屋根パネル</td> <td>()</td> <td>100 ()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>F種</td> <td>()時間</td> </tr> <tr> <td>床パネル</td> <td>()</td> <td>100 120 150</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>F種</td> <td>()時間</td> </tr> </table> <p>パネル幅を300mm以下とする部分 ・ 適用あり</p> <p>外壁、屋根及び床パネル構造</p> <p>風圧力に対応した工法 ・ 適用あり</p> <p>パネル短編小口相互の伸縮目地幅 (mm) ・ (20)</p> <p>出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅 (mm) ・ (20)</p> <p>伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する (材料: ロックウール)</p> <p>4. 押出成形セメント板 (8.5.2) (8.5.3) (8.5.4) (表8.5.1) (8.5.5) (表8.5.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>表面形状及び原料区分</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>働き幅 (mm)</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td>外壁パネル</td> <td>フラットパネル</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>デザインパネル</td> <td></td> <td></td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タイルベースパネル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>間仕切壁パネル</td> <td>フラットパネル</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>デザインパネル</td> <td></td> <td></td> <td>C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タイルベースパネル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>パネル幅を300mm以下とする部分 ・ 適用あり</p> <p>パネル相互の目地幅 (mm)</p> <p>・ 長辺 8以上、短辺 15以上 ・ ()</p> <p>出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅 (mm) ・ 15 ・ ()</p> <p>目地及び隙間の処理</p> <p>・ ()</p> <p>外壁パネル構造</p> <p>風圧力に対応した工法 ・ 適用あり</p> <p>間仕切壁パネル構造</p> <p>パネルに欠き込みを行う場合</p> <p>・ パネル開口の限度 図示 (図面番号:)</p>	部位	種類	材料	工法	耐火性能	柱・梁	耐火被覆	ロックウール	吹付け	60分耐火	区分	単位荷重 (N/mm ²)	呼び寸法			構造	耐火性能	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	外壁パネル	()	100 (120以上)	()	()	A種	(1)時間	間仕切壁パネル	()	100 ()	()	()	C種	()時間	屋根パネル	()	100 ()	()	()	F種	()時間	床パネル	()	100 120 150	()	()	F種	()時間	種類	表面形状及び原料区分	板厚 (mm)	働き幅 (mm)	工法	外壁パネル	フラットパネル	()	()	A種		デザインパネル			B種		タイルベースパネル				間仕切壁パネル	フラットパネル	()	()	B種		デザインパネル			C種		タイルベースパネル			
	設計基準強度 F_c	適用箇所	施工時期	スラブ																																																																																																																									
	24 (N/mm ²)	基礎・外構躯体		15 (cm)																																																																																																																									
	24 (N/mm ²)	躯体・デッキ上		18 (cm)																																																																																																																									
	18 (N/mm ²)	土間		15 (cm)																																																																																																																									
	設計基準強度 F_0	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スラブ																																																																																																																								
	(N/mm ²)			t/m ³	(cm)																																																																																																																								
	溶接区分	AQQL (%)	検査水準	備考																																																																																																																									
	現場溶接			全数試験																																																																																																																									
	工場溶接	2.5	6																																																																																																																										
部位	種類	材料	工法	耐火性能																																																																																																																									
柱・梁	耐火被覆	ロックウール	吹付け	60分耐火																																																																																																																									
区分	単位荷重 (N/mm ²)	呼び寸法			構造	耐火性能																																																																																																																							
		厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)																																																																																																																									
外壁パネル	()	100 (120以上)	()	()	A種	(1)時間																																																																																																																							
間仕切壁パネル	()	100 ()	()	()	C種	()時間																																																																																																																							
屋根パネル	()	100 ()	()	()	F種	()時間																																																																																																																							
床パネル	()	100 120 150	()	()	F種	()時間																																																																																																																							
種類	表面形状及び原料区分	板厚 (mm)	働き幅 (mm)	工法																																																																																																																									
外壁パネル	フラットパネル	()	()	A種																																																																																																																									
	デザインパネル			B種																																																																																																																									
	タイルベースパネル																																																																																																																												
間仕切壁パネル	フラットパネル	()	()	B種																																																																																																																									
	デザインパネル			C種																																																																																																																									
	タイルベースパネル																																																																																																																												

⑨ 防水工事

① アスファルト防水 (表9.2.3) ~ (表9.2.8) (9.2.2) (9.2.3) 改質アスファルトルーフィングシート 種類・標準仕様書[表9.2.3] ~ [表9.2.8] ・図示 () 厚さ・標準仕様書[表9.2.3] ~ [表9.2.8] ・図示 () 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類・標準仕様書[表9.2.5] ~ [表9.2.8] ・図示 () 厚さ・標準仕様書[表9.2.5] ~ [表9.2.8] ・図示 () 絶縁用シート ・ポリエチレンフィルム(厚さ 0.15mm以上) ・フラットヤーンクロス(70g/m²) 押え金物 ・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・図示(図面番号:) 断熱材 ・屋根保護防水断熱工法 厚さ () mm ・屋根露出防水断熱工法 種類 () 厚さ () mm (表9.2.3) 屋根保護防水 立上り部の保護工法 () 図示(図面番号: A029) 乾式保護材 () 使用する 立上り部保護れんが ・JIS R 1250 ・ () (表9.2.8) 断熱工法における立上り部への断熱材及び絶縁シート ・設置する (表9.2.7) 脱気装置 ・設置数量 図示(図面番号:) 種類 () (表9.2.7) 屋根露出防水における仕上塗料 (表9.2.8) ・図示(図面番号:) 種類 () 使用量 () (表9.2.9) 屋内防水密着工法における保護層 ・図示(図面番号:) E-1の工程3 ・行う ・行わない (9.2.4) 防水層の下地モルタル塗り ・図示(図面番号:) 立上りのコンクリート打放し仕上げの種別 種別 ・B種 ・ () 屋根露出防水絶縁断熱工法 ルーフドレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置 ・図示(図面番号:) (9.2.5) 保護コンクリートの厚さ こて仕上げ () 水下 80mm以上 ・ () 床タイル張り ・水下 60mm以上 ・ () 立上り部の保護方法 () 乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え ・モルタル押え(屋内等) ・ () 屋上排水溝 () 図示(図面番号: A029)

2. 改質アスファルトシート防水 (9.3.2) (9.3.3) 改質アスファルトシート (表9.3.1) ~ (表9.3.3) 種類・標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・図示 () 厚さ・標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・図示 () 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3] ・図示 () 厚さ・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3] ・図示 () 押え金物の材質、形状、寸法 ・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・ () 仕上塗料 ・図示(図面番号:) 種類 () 使用量 () 脱気装置 ・設置数量 図示(図面番号:) 種類 () (表9.3.3) 断熱材 ・屋根露出防水絶縁断熱工法 種類 () 厚さ () mm 防湿用シートの設置 ・有り ・無し

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2) (9.4.3) ルーフィングシート (9.4.4) 種類・標準仕様書[表9.4.1] ~ [表9.4.3] ・図示 () (表9.4.1) 厚さ・標準仕様書[表9.4.1] ~ [表9.4.3] ・図示 () (表9.4.2) 可塑性移行防止用シート (表9.4.3) ・発砲ポリエチレンシート ・ () 固定金具 材質、寸法形状 () ・図示(図面番号:) 断熱材 種類、厚さ ・機械的固定工法 図示(図面番号:) ・接着工法 図示(図面番号:) 仕上塗料 ・図示(図面番号:) 種類 () 使用量 () 防湿用フィルムの設置 ・有り ・無し 屋内保護密着工法 モルタル塗り厚さ ・ () mm 立上り部の保護モルタル塗厚さ ・7mm以下 ・ () mm 目地処理(接着工法) PC下地 ・図示(図面番号:) 増張り(S-F1、SI-F1) PC入隅部 ・図示(図面番号:) 機械的固定工法 風圧力に対応した工法 ・図示(図面番号:) 脱気装置 ・設置数量 図示(図面番号:) 種類 ()

4. 塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)

施工箇所	種別
	X-1
	X-2
	Y-1
	Y-2

脱気装置(X-1) ・設置数量 図示(図面番号: A037) 種類(ステンレス脱気筒) 保護層(Y-2) ・保護コンクリート ・保護モルタル 仕上塗料(X-1、X-2) ・図示(図面番号:) 種類(フッ素) 使用量 ()

⑤ ケイ酸質系塗布防水 (9.6.4) 防水層の下地 壁及び天井部の仕上げ ・コンクリート打放し仕上げ(B種) ・図示(図面番号:) 防水層下地のコンクリートの打継ぎ箇所の下地処理 ・標準仕様書[9.6.4](2)(7)後段 ・ () 標準仕様書[9.6.4](2)(4)及び(4)以外の処理 ・ ()

⑥ シーリング (9.7.2) (9.7.3) (表9.7.1) (9.7.5) 標準仕様書[表9.7.1]による

施工箇所	目地寸法	種類	仕上
アルミサッシ	20×10	MS-2	・省略
ガラスシーリング	5×5	SR-2	〃
			〃

接着性試験 ・簡易接着性試験 ・引張接着性試験

7. 保証書

工事区分	材料名	保証年数
防水工事	防水	10年 年

※防水工事業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。

10 石工事

1. 共通 (10.1.3) 割付 ・図示(図面番号:)

2. 天然石 (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)

使用部位	種類(名称)	寸法(mm)	表面仕上げ	工法	形状
床			・粗磨き ・ ()		
壁			・水磨き ・ ()		

ジェットバーナー仕上面 バフ仕上 ・あり ・なし

3. テラゾ テラゾタイル (10.2.1) (表10.2.2)

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上
	・大理石	・1.5~12mm	・300型 ・400型	・ ()

テラゾブロック

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上
	・大理石	・1.5~12mm	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・ ()	・ ()

4. その他の材料 (10.2.3) 取付用モルタル ・図示(図面番号:) 目地用モルタル ・図示(図面番号:) 浸透性吸水防止剤 ・図示(図面番号:) 石表面処理材 ・図示(図面番号:) 裏打ち処理材 ・図示(図面番号:) 充填材料 ・図示(図面番号:)

5. 外壁湿式工法 (10.2.2) (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3) 受金物の材質、形状、寸法 ・図示(図面番号:) アンカーの材質及び寸法 材質 ・SS400 ・ () 寸法 () あと施工アンカーの材質及び寸法 ・ () ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ ・ () 石材の厚さ ・25mm以上 ・ () 石裏面処理 ・適用する 裏打ち処理 ・適用する 下地ごしらえ ・流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー横筋流し工法 目地 一般目地 目地幅 ・6mm以上 ・ () シーリング材の有無 ・有り ・無し 伸縮調整目地 位置 ・標準仕様書[表11.1.1] ・図示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示(図面番号:)

6. 内壁空積工法 (10.2.2) (10.3.3) (10.4.2) (10.4.3) 受金物の材質、形状、寸法 ・図示(図面番号:) アンカーの材質及び寸法 材質 ・SS400 ・ () 寸法 () あと施工アンカーの材質及び寸法 ・ () 石材の厚さ ・20mm以上 ・ () 下地ごしらえ ・あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 目地 一般目地 目地幅 ・6mm以上 ・ () 伸縮調整目地 位置 ・6mごと ・図示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示(図面番号:)

7. 外壁乾式工法 (10.2.2) (10.5.2) (10.5.3) (表10.2.4) 金物の種類、形状、寸法 ・図示(図面番号:) 取り付け工法 (10.2.2) ・スライド方式 ・ロッキング方式 (10.5.2) アンカーの材質及び寸法 材質 ・SUS304 ・ () 寸法 () (10.5.3) あと施工アンカーの材質及び寸法 ・ () 石材の厚さ ・30mm以上(外壁) ・25mm以上(内壁) ・ () たば用穴の位置 ・図示(図面番号:) 裏打ち処理 ・適用する 風圧力に対応した工法 ・図示(図面番号:) 目地 目地幅 ・8mm以上 ・ () シーリング材 ・適用する

8. 床及び階段の石張り (10.3.3) (10.6.2) (10.6.3) 石材の厚さ ・ () mm 石裏面処理 ・適用する(浸透性吸水防止剤) 裏打ち処理 ・適用する(浸透性吸水防止剤) 目地 一般目地 目地幅 ・屋内4mm以上、屋外3~6mm ・図示(図面番号:) 伸縮調整目地 位置 ・標準仕様書[10.6.2](5)(4)(a)後段 ・図示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示(図面番号:)

9. 笠木、甲板等 (10.2.2) (10.3.3) (10.5.3) (10.7.2) 取付け金物 ・標準仕様書[10.2.2](3)(7)の各後段 ・ () アンカーの材質及び寸法 材質 ・SUS304 ・ () 寸法 () あと施工アンカーの材質及び寸法 ・ () 取付工法 ・湿式工法 ・乾式工法 石材の厚さ ・ () mm 石裏面処理 ・適用する 取付け(乾式工法の場合) ・標準仕様書[10.5.3](2) ・ () mm 石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合) ・適用する 図示(図面番号:) 目地 一般目地 目地幅 ・ () mm 伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合) 位置 ・図示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示(図面番号:)

10. 隔て板 (10.7.3) 石材の厚さ ・40mm ・ ()

⑪ タイル工事

① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3) 位置 ・標準仕様書[表11.1.1] ・図示(図面番号:)

② タイル張り (11.1.4) (表11.2.3) (11.2.2) (11.2.3) (11.3.2) (11.3.3) (11.3.4) (表11.3.2) タイルの種類・工法

施工箇所	工法	種類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役物	標準・特注色	耐凍害性
床	圧着	I類	300×300	○			標準	
床	圧着	I類	100×100	○			標準	
巾木	圧着	I類	150×150	○			標準	
腰壁	圧着	I類	100×100	○			標準	

・試験張りを行う
・見本焼きを行う
・既調合モルタル材料 ()
(11.2.6) セメントモルタル塗り又は有機系接着剤あと張り工事 (11.3.5) コンクリート素地面の処理 ・適用箇所 図示(図面番号:) ・目荒し工法 ・MCR工法 有機系接着剤あと張り工事 シーリング材の種類 打継、ひび割れ誘発目地 ・PU-2 ・ () 伸縮、その他目地 ・MS-2 ・ () 外装タイル接着剤張りの目地詰め ・行う ・行わない

⑮ 左官工事

(表15.6.2) 複層仕上塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外観
○ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
・ シリカ系	○ 水系	○ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
・ アクリルシリコン系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
○ ふっ素系	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	○ 水系	○ 艶有 ・ 艶無

6. マステック塗材塗り (15.7.2) (表15.7.1)

7. しっくい塗り (15.10.1) (15.10.2) (15.10.3) (15.10.4) (表15.10.1) (表15.10.2)

8. こまい壁塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (15.11.7) (15.11.8) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)

9. ロックウール吹付け (15.12.3)

⑯ 網戸等 (16.2.3)

6. 樹脂製建具 (16.3.2) (16.3.3) (16.3.4) (表16.3.1) ~ (表16.3.3)

7. 鋼製建具 (16.4.2) (表16.4.1) (表16.2.1) (16.4.4) (表16.4.2) (表16.4.2) (16.4.6)

型式	幅(mm)	高さ(mm)
片開き	・ 900 ・ 950	・ 2000
親子開き	・ 1200 ・ 1250	・ 2100
両開き	・ 1800 ・ 1900	

⑰ 鋼製軽量建具 (16.5.2) (16.5.3) (16.5.4) (表16.5.1)

9. ステンレス製建具 (16.6.2) (16.6.3) (16.6.4) (16.6.5) (表16.4.1)

10. 木製建具 (16.7.2) (16.7.3) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.6) (表16.7.7)

(表16.7.3) (16.7.4) (表16.7.8)

⑱ 建具用金物 (16.8.2) (表16.8.1) (16.8.3) (16.8.4) (表16.8.2) (表16.8.3) (表16.8.4) (表16.8.5)

⑳ 自動ドア開閉装置 (16.9.2) (表16.9.1) (表16.9.2) (表16.9.3) (表16.9.3) (表16.9.4)

㉑ 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3) (表16.10.1)

14. 重量シャッター (16.11.2) (表16.11.1) (16.11.3)

⑳ 軽量シャッター (16.12.2) (表16.12.1) (16.12.3) (16.12.4)

16. オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3)

㉒ ガラス (16.14.2) (16.14.3)

18. ガラスブロック積み (16.14.5)

17. カーテンウォール工事

1. 種類 (17.1.1) (17.1.3)

2. 性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)

3. メタルカーテンウォール (17.2.2) (表17.2.1) (17.2.5) (表17.2.2) (表17.2.3)

4. PCカーテンウォール (17.3.2) (17.3.3) (17.3.4) (17.3.5) (17.3.6) (表17.3.1) (表17.3.2)

⑰ 建具工事

1. 防火戸 (16.1.3)

2. 見本の製作等 (16.1.4)

3. 防犯建物部品 (16.1.6)

⑱ 7M21M製建具 (16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1) (表16.2.2) (表14.2.2) (16.2.5)

9. ステンレス製建具 (16.6.2) (16.6.3) (16.6.4) (16.6.5) (表16.4.1)

10. 木製建具 (16.7.2) (16.7.3) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.6) (表16.7.7)

㉒ ガラス (16.14.2) (16.14.3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
・ スチールタイプ	・ バランス式	・ スタンダード形	・ 溶融亜鉛
・ アルミニウムタイプ	・ チェーン式	・ ローヘッド形	めっき鋼板
・ ファイバーグラスタイプ	・ 電動式	・ ハイリフト形	・ ステンレス鋼板
		・ パーチカル形	

耐風圧性能の区分 JIS A 4715 ()

保護装置の設置箇所 ()

板ガラスの種類、厚さ、特性による種類等 ()

留め材 ()

ガラス溝の寸法、形状等 ()

⑰ 塗装工事

① 材料 (18.1.4)

② 施工一般 (18.2.2) ~ (18.12.2)

種類	種別	施工箇所	下地の種類	素地		錆止め塗料の種類
				ごしらえ		
SOP	・ A種		鉄鋼面		○ A種	
	○ B種				○ B種	
EP	・ A種	内壁	ボード面	ケイカル面	○ A種	
	○ B種				○ B種	
CL	・ A種	木部	木部		○ A種	
	○ B種				○ B種	
NAD	・ A種	壁	コンクリート面		○ A種	
	○ B種				○ B種	

18 塗 装 工 事	3. 耐候性塗料 塗り (DP) (18.7.2) (表18.7.1) (18.7.3) (表18.7.2) (18.7.4) (表18.7.3)	下地の種類 施工箇所 上塗り等級 コンクリート ECP面における種別	①合成樹脂塗床 (19.4.3) (表19.4.4) (表19.4.5) ~(表19.4.8)	・ 弾性ウレタン塗床材 (JISK 5970) 仕上げ ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ ・ エポキシ樹脂塗床材 (JISK 5970) 工法、仕上げ ・ 薄膜流しのペ工法 (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しのペ工法 (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル工法 (・ 平滑 ・ 防滑)	⑪ 壁紙張り (19.8.2) (19.8.3)	せつこうボードの目地工法 ・ 継目処理 ・ 突付け (・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ) ・ 目透し (・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ)	10. タラップ (20.2.12)	材料の種類 ・ ステンレス 仕上げ ・ 研磨等なし ・ ()	
	4. 珪藻土塗り (18.11.2)	オイルステイン塗り 工法、材料 ・ ()	②フローリング 張り (19.5.2) (19.5.3) (19.5.4) (19.5.5) (表19.5.2) ~(表19.5.6)	材料 ・ 単層フローリング (・ フローリング'ボート'(1等) ・ フローリング'ブロック'(1等)) ・ 複合フローリング ・ 釘留め工法	⑫ 断熱材 (19.9.3) (19.9.4)	素地ごしらえ せつこうボード面 ・ A種 ・ B種 コンクリート面 ・ A種 ・ B種 モルタル・せつこうプラスター面 ・ A種 ・ B種	11. 煙突 ライニング (20.2.13)	適用安全使用温度 ・ ()°C 工法 ・ 図示 (図面番号:)	
19 内 装 工 事	①ビニル床シート 張り (19.2.2) (表19.2.1) (19.2.3)	種類 色柄 厚さ (mm) 継目	③フローリング 材料 種類 樹種	・ フローリング'ボート' (直張用) ・ 複合フローリング (根太張用) ・ フローリング'ブロック' (直張用) ・ 複合フローリング (直張用)	⑬ 断熱材 (19.9.3) (19.9.4)	断熱材打込み工法 断熱材の種類、厚さ 図示 (図面番号:) 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 A種1 ・ A種1H ・ 図示 (図面番号:) 断熱材の厚さ 図示 (図面番号:)	12. ブラインド (20.2.14)	形式 スラット 開閉方式 スラットの 成形幅 (mm) ヘッドボックス・ ボトムレールの材種	
	2. ビニル床タイル 張り (19.2.2) (表19.2.1)	寸法・色合 種類 厚さ (mm)	④フローリング 材料 種類 樹種	・ フローリング'ボート' (直張用) ・ フローリング'ブロック' (直張用) ・ 複合フローリング (直張用)	⑭ 断熱材 (19.9.3) (19.9.4)	断熱材打込み工法 断熱材の種類、厚さ 図示 (図面番号:) 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 A種1 ・ A種1H ・ 図示 (図面番号:) 断熱材の厚さ 図示 (図面番号:)	13. ロール スクリーン (20.2.15)	操作方式 ・ スプリング式 ・ コード式 ・ 電動式 寸法及び材種 ・ 図示 (図面番号:)	
3. 特殊機能床材 (19.2.2) (表19.2.2)	接着剤の種類、施工箇所 セメント系下地、木質系下地以外 ・ 図示 (図面番号:)	⑤フローリング 材料 種類 樹種	⑤ 畳敷き 種類 厚さ (mm) 幅・長さ 裏面不陸緩衝材	・ フローリング'ボート' (直張用) ・ フローリング'ブロック' (直張用) ・ 複合フローリング (直張用)	⑮ リークレス フロア (20.2.2)	フリアクセスフロア及び表面仕上げ材の寸法、フリアクセスフロア高さ、耐震性能、 所定荷重、帯電防止性能、漏えい抵抗 ・ 図示 (図面番号:) 試験方法 20.2.2(2)(4)(a) ~ (d) 寸法精度 20.2.2(2)(4)(a) ~ (c)	14. カーテン及び カーテンレール (20.2.16)	カーテンの形式等 生地 ひだの種類 形式 開閉操作	
4. ビニル幅木 (19.2.2)	種類 図示 (図面番号:) 高さ 図示 (図面番号:) ・ 60mm 厚さ 図示 (図面番号:) ・ 1.5mm以上	⑥フローリング 材料 種類 樹種	⑥ せつこうボード その他のボード 及び合板張り (19.7.2) (表19.7.1) (19.7.3) (表19.7.3) (表19.7.5)	・ フローリング'ボート' (直張用) ・ フローリング'ブロック' (直張用) ・ 複合フローリング (直張用)	⑯ トイレブース (20.2.5)	組立て方式 ・ スタッド式 ・ パネル式 ・ スタッドパネル式 パネル内建具寸法及び形状 ・ 図示 (図面番号:) 構成基材の種類 ・ 図示 (図面番号:) 遮音性 ・ 図示 (図面番号:) 表面仕上げ ・ 図示 (図面番号:)	15. プレキャスト コンクリート工事 (20.3.2) (20.3.3) (20.3.4)	補強鉄線の径 ・ 3.2mm ・ () 補強鉄線の網目寸法 ・ () 設計基準強度Fc ・ 図示 (図面番号:) 配筋 ・ 図示 (図面番号:) 取付方法 ・ 図示 (図面番号:)	
5. 施工 (19.2.3)	下地 モルタル ・ セルフレ'リング' ・ 木造 ・ () 接合部の処理 熱溶接工法 ・ ()	⑦フローリング 材料 種類 樹種	⑦ 化粧せつこうボード 種類 種類別 厚さ (mm)	・ フローリング'ボート' (直張用) ・ フローリング'ブロック' (直張用) ・ 複合フローリング (直張用)	⑰ トイレブース (20.2.5)	表面材 ・ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 幅木 ・ 図示 (図面番号:) 扉小口の材質 ・ ステンレス製 ・ アルミ製 ドアエッジの材質 製造所の仕様による ・ ()	16. 間知石及び 間知ブロック積 (20.4.2) (20.4.3)	材種 ・ () 種類及び質量区分 ・ 図示 (図面番号:) 積み方 ・ 谷積み ・ 布積み 目塗り ・ () 伸縮調整目地 ・ 材種 () ・ 厚さ ()mm	
6. かべ'ト敷き (19.3.2) (表19.3.1) (表19.3.2)	織りじゅうたん 種類 色柄 パイル形状 織り方	⑧フローリング 材料 種類 樹種	⑧ けい酸カルシウム板 種類 種類別 厚さ (mm)	・ ロックウール化粧 吸音板 ・ タイプII 0.8FK ・ (耐火中空二重壁)	⑱ 手すり (20.2.6)	材料の種類 ・ アルミ ・ ステンレス (仕上げ:)	21 排 水 工 事	1. 排水管 (21.2.1) (表21.2.1)	排水管材料 材種 管の種類 呼び径 備考
	⑨帯電性 (人体帯電電圧の値3kV以下) タイルカーベットの敷き方 (全面接着工法) 平場 市松敷き ・ 模様流し ・ 図示 (図面番号:) 階段部分 市松敷き ・ 模様流し ・ 図示 (図面番号:) 下敷き材 第2種1号、呼び厚さ8mm ・ 図示 (図面番号:) 見切り、押え金物 ・ 材質 () ・ 種類 () ・ 形状 (図面番号:) 織りじゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンド工法 ・ ()	⑩フローリング 材料 種類 樹種	⑩ 合板張り 種類 種類別 厚さ (mm)	・ フローリング'ボート' (直張用) ・ フローリング'ブロック' (直張用) ・ 複合フローリング (直張用)	⑳ 鏡 (20.2.10)	厚さ ・ 5mm ・ ()mm	2. 排水樹等 (21.2.1)	・ 排水樹、ふた 種類等 ・ 図示 (図面番号: A057) ・ 側境の形状、寸法 ・ 図示 (図面番号:) グレーチングの種類 材質 用途 適用荷重 メインバーピッチ ボルト固定	

特 記 事 項	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認 三橋 五百子	作 図 加藤 早妃	工 事 名 称 海浜公園内陸上競技場改修工事	図 面 名 称 工事特記仕様書 (新営) No.7	縮 尺 A2:1/NS A3:1/NS	図 面 番 号 A007 (原図:A2)
------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	-----------------	-----------------	------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------	-------------------------------------

21 排水工事	3. 地業の材料 (21.2.1)	砂 ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 ・ () 砂利 ・ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 試験 ・ 砂の粒度試験	5. カラー舗装 (22.6.2) (22.6.3) (22.6.4) (表22.6.1)	種類 ・ 加熱系 構成及び厚さ () 結合材 ・ アスファルト ・ 石油樹脂系 (顔料の添加量:) 添加材 ・ 着色骨材 ・ 自然石 ・ 常温系 工法 ・ ニート工法 ・ 塗布工法 着色部下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装 ニート工法及び塗布工法の配合その他 ・ 図示 (図面番号:) 試験 ・ アスファルト混合物等の抽出試験	6. 芝張り、吹付けは種及び地被類 (23.4.2) (23.4.3) (23.4.7)	種類 ・ コウライシバ ・ ノシバ ・ () 吹付けは種用種子 種類 ・ 標準仕様書[23.4.2](3)(7)後段 ・ 図示 (図面番号:) 量 ・ () ・ 図示 (図面番号:) 地被類種類、芽立数、径、単位面積当たりの株数 ・ 図示 (図面番号:) 芝張り工法 平地 ・ 目地張り ・ べた張り ・ 図示 (図面番号:) 法面 ・ 目地張り ・ べた張り ・ 図示 (図面番号:) 芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償期間 ・ 引渡日から1年間 ・ ()	
	4. 埋め戻し土 (21.2.1)	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土		6. 透水性アスファルト舗装 (22.7.2)(表22.7.1)		舗装構成 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 著しい不陸がないこと ・ 図示 (図面番号:)	7. 屋上緑化 (23.5.2) (23.5.3) (23.5.4) (23.5.5)
22 舗装工事	5. 施工 (21.2.2)	場所打ち排水樹の足掛け金物の材料 ・ ステンレス製 (幅400mm、径22mm) ・ 鉄製 (径22mm、防錆処理済み) ・ 合成樹脂被膜加工を行ったもの (径19mm) ・ 図示 (図面番号:) 遠心力鉄筋コンクリート管 基床の厚さ、種類 ・ 図示 (図面番号:) 硬質ポリ塩化ビニル管 基床の厚さ、種類 ・ 図示 (図面番号:) 継手 ・ 接着剤 ・ ゴム輪	7. ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3) (表22.8.1)	舗装の種類、種類、寸法 (mm)、厚さ (mm)、備考 ・ コンクリート平板舗装 ・ 普通平板 ・ 300角 ・ 60 目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック 車道部 ・ 80 表面加工 ・ 標準品 ・ () 歩道部 ・ 60 曲げ強度 ・ () ・ () ・ 植生用ブロック ・ 80・100 ・ 小舗石 ・ 80~100 施工方法 ・ うろこ張り ・ () ・ () ・ 花こう岩 ・ () ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 基層の厚さ ・ () mm	24 外構工事	1. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ () 形式 テーパー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式 脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式 高さ ・ 5m ・ 6m ・ 7m 2. フェンス ・ ネットフェンス ・ 網材種 (・ ビニル被覆鉄線 ・ ()) ・ メッシュフェンス 網材種 (・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ()) ・ 格子フェンス 網材種 (・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ())	
	6. 街きよ 緑石、側溝 (21.3.1) (21.3.2)	コンクリート縁石、側溝 種類、形状、寸法 () 図示 (図面番号: A054) 砂利地業 厚さ () 100mm ・ 図示 (図面番号:)	8. 砂利敷き (22.9.2) (表22.9.1)	・ 通路部 ・ A種 ・ B種 ・ () ・ 建物周囲 ・ A種 ・ B種 ・ ()			
23 植栽工事	1. 路床 (22.2.2) (22.2.3) (表22.2.1) (22.2.4) (22.2.5)	路床の材料 (厚さは図示 (図面番号:)) 遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ () フィルター層 ・ 砂 路床安定処理 ・ 行う 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 ()号 ・ 消石灰 ()号 添加量 () kg/m ³ (目標CBR ・ 5以上 ・ ()) 盛土に用いる材料 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合: 建設発生土受入量 () m ³ 片道の運搬距離 () km 試験 ・ 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 路床締固め度の試験 ・ 現場CBR試験	23 植栽工事	1. 植栽地の確認 (23.1.3)	試験 ・ 土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・ 電気伝導度類 (EC) の試験 ・ () の試験	24 外構工事	1. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ () 形式 テーパー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式 脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式 高さ ・ 5m ・ 6m ・ 7m 2. フェンス ・ ネットフェンス ・ 網材種 (・ ビニル被覆鉄線 ・ ()) ・ メッシュフェンス 網材種 (・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ()) ・ 格子フェンス 網材種 (・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ())
	2. 路盤 (22.3.2) (表22.3.1) (22.3.3)	舗装の種類、路盤の厚さ (mm)、路盤材料 車道部 歩道部 ・ アスファルト舗装 ・ () ・ () ・ 再生クラッシュラン ・ カラー舗装 ・ () ・ () ・ クラッシュラン ・ 透水性アスファルト舗装 () ・ () ・ 鉄鋼スラグ ・ インターロッキングブロック舗装 () ・ () ・ クラッシュラン ・ () ・ () ・ ()		2. 植栽基盤 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.1) (表23.2.2)	植栽基盤整備工法 樹木 ・ A種 ・ () 芝及び地被類 ・ B種 ・ () 有効土層 面積 ・ 図示 (図面番号:) 厚さ ・ 図示 (図面番号:) 排水設備 ・ 設ける (・ 暗きよ ・ 開きよ ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ・ ()) 植込み用土 ・ 現場発生土の良質土 ・ 客土 土壌改良材 種類、指定量 ・ ()		
24 外構工事	3. アスファルト舗装 (22.4.2)~ (22.4.6) (表22.4.1)~ (表22.4.6)	舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号:) ・ A-3-10 ・ () 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示 (図面番号:) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	3. 植樹 (23.3.2) (23.3.3)	樹木の種類 ・ 図示 (図面番号:) 寸法 ・ 図示 (図面番号:) 株立数 ・ 図示 (図面番号:) 刈込み ・ あり ・ なし 支柱材 ・ 丸太 (防腐処理方法 ・ 加圧式防腐処理方法 ・ ()) ・ () 支柱形式 ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形 幹巻き用材料 ・ 幹巻き用テープ ・ わら ・ こも	24 外構工事	1. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ () 形式 テーパー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式 脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式 高さ ・ 5m ・ 6m ・ 7m 2. フェンス ・ ネットフェンス ・ 網材種 (・ ビニル被覆鉄線 ・ ()) ・ メッシュフェンス 網材種 (・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ()) ・ 格子フェンス 網材種 (・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ())	
	4. コンクリート舗装 (22.5.2)~ (表22.5.1)	舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号:) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22.5.1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ・ 標準仕様書 [表22.5.3] 目地の構造 ・ 標準仕様書 [表22.5.1] ・ 図示 (図面番号:)	4. 新植樹木の枯補償 (23.3.4)	引渡しの日から ・ 1年 ・ ()			24 外構工事

特 記 事 項	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 加藤 健司	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
	一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早紀	一級建築士 第360917号 前田 祐作			監図 三橋 健司	図面名称 工事特記仕様書 (新営) No. 8	縮尺 A2:1/NS A3:1/NS

④ 塗り仕上げ (4.5.2) (表4.5.1(その1) (その2))	種類	呼び名	仕上げ形状	工法																																																																
	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	吹付け																																																																
			・ 平たん状 ・ 凹凸状	こて																																																																
	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ ゆず肌状 ・ さざ波状	ローラー																																																																
			・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け																																																																
			・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて																																																																
			・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け																																																																
	複層仕上塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE	・ ゆず肌状	ローラー																																																																
		・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE	・ 凸部処理 ・ 凹凸状	吹付け																																																																
	可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE	・ 平たん状 ・ さざ波状	ローラー																																																																
・ 可とう形改修塗材OE		・ ゆず肌状	吹付け																																																																	
・ 外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量 (kg/m ²) ・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種 複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹脂種類</th> <th>溶媒種類</th> <th colspan="2">外 観</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ アクリル系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ シリカ系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ポリウレタン系</td> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ アクリル シリコン系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ふっ素系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> </tbody> </table> (注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">外壁用塗膜防水材</td> <td>・ 凹凸状</td> <td rowspan="2">・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 凸部処理</td> </tr> <tr> <td>・ ゆず肌状</td> <td rowspan="2">・ ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ さざ波状</td> </tr> </tbody> </table> (表4.7.1) (4.5.4) 既存塗膜等の除去及び下地処理 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>処理範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td rowspan="4">全面</td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜はく離工法</td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法 (高圧ポンプ (10~15MPa) ・ デッキブラシ)</td> </tr> <tr> <td>下地調整</td> <td>全面</td> </tr> <tr> <td>・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					樹脂種類	溶媒種類	外 観		・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有	・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有	・ 艶無	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有	・ 艶無 ・ メタリック	・ ポリウレタン系	・ 弱溶剤系	・ 艶有	・ 艶無	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無	・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有	・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有	・ 艶無	・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有	・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有	・ 艶無		・ 水系	・ 艶有	・ 艶無	種類	仕上げの形状	工法	外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け	・ 凸部処理	・ ゆず肌状	・ ローラー	・ さざ波状	工 法	処理範囲	・ サンダー工法	全面	・ 高圧水洗工法	・ 塗膜はく離工法	・ 水洗い工法 (高圧ポンプ (10~15MPa) ・ デッキブラシ)	下地調整	全面	・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()	
樹脂種類	溶媒種類	外 観																																																																		
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有	・ 艶無 ・ メタリック																																																																	
	・ 弱溶剤系	・ 艶有	・ 艶無																																																																	
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無																																																																	
	・ 溶剤系	・ 艶有	・ 艶無 ・ メタリック																																																																	
・ ポリウレタン系	・ 弱溶剤系	・ 艶有	・ 艶無																																																																	
	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無																																																																	
・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有	・ 艶無 ・ メタリック																																																																	
	・ 弱溶剤系	・ 艶有	・ 艶無																																																																	
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有	・ 艶無 ・ メタリック																																																																	
	・ 弱溶剤系	・ 艶有	・ 艶無																																																																	
	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無																																																																	
種類	仕上げの形状	工法																																																																		
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け																																																																		
	・ 凸部処理																																																																			
	・ ゆず肌状	・ ローラー																																																																		
	・ さざ波状																																																																			
工 法	処理範囲																																																																			
・ サンダー工法	全面																																																																			
・ 高圧水洗工法																																																																				
・ 塗膜はく離工法																																																																				
・ 水洗い工法 (高圧ポンプ (10~15MPa) ・ デッキブラシ)																																																																				
下地調整	全面																																																																			
・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()																																																																				
⑤ 建具 改修 工事	① 改修工法 (5.1.3)	・ かぶせ工法 ・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法 ・ 撤去工法 ・ はつり工法 ・ 引抜き工法																																																																		
	2 防火戸 (5.1.4)	・ 例示仕様 ・ 個別認定 (認定番号:) ・ 自動閉鎖機構 ・ 図示 (図面番号:)																																																																		
	3 見本の製作 (5.1.5)	・ 製作する ・ 製作しない																																																																		
	4 防犯建物部品 (5.1.7)	・ 図示 (図面番号:)																																																																		
	5 ブラインドボ ックス等 (5.1.6)(3)	・ 再使用する ・ 再使用しない																																																																		
	⑥ アルミニウム製 建具 (5.2.2) (5.2.4) (表5.2.1) (表5.2.2)	外部建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 枠の見込み寸法 ・ 70mm ・ () ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 ・ 外部に面する建具 (過酷な環境の屋外) ・ BA-1 ・ BA-2 ・ () ・ 外部に面する建具 (一般的な環境の屋外) ・ BB-1 ・ BB-2 ・ () ・ 内部に面する建具 ・ BC-1 ・ BC-2 ・ ()																																																																		

⑦ 網戸 (5.2.3)(5)	・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ	
	8 樹脂製建具 (5.3.2)~(5.3.5) (表5.3.1)~ (表5.3.3)	外部に面する樹脂製建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 日射熱取得性 (等級) ガラス ・ 複層ガラス ・ () 建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号:) 水切り ・ 図示 (図面番号:) ぜん板 ・ 図示 (図面番号:) 丁番 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3)による ・ 図示 (図面番号:)
	9 鋼製建具 (5.4.2)	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) (5.4.4) ・ H2400又はW950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.4.2による
	⑩ 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2)(2) (5.5.3) (5.5.4) (5.6.3)(1) (5.2.3)(1)	鋼製軽量建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ H2400又はW950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による 表面仕上げ ・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面) ・ ()
	11 ステンレス製 建具 (5.6.2) (5.4.2)	ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ MDF 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)~(c) ・ ()
	(5.6.3)	材料 ・ SUS304 ・ ()
	(5.6.4)	表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()
	(5.6.5)	曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
	12 木製建具 (5.7.2) (5.7.3)	含水率 ・ A種 ・ B種 ・ フラッシュ戸 表面材 ・ () 厚み ・ 改修標準仕様書表5.7.6 ・ () 表面材の品質等 ・ 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)~(c) ・ () ・ MDF 表裏面の状態による区分 ・ () 曲げ強さによる区分 ・ () 接着剤による区分 ・ () 難燃性による区分 ・ () ・ 引戸の召合せかまちはいんろう付きとする ・ かまち戸 見込み寸法 ・ 36mm ・ () かまち及び鏡板の樹種 ・ () ・ ふすま 見込み寸法 ・ 19.5mm ・ () 種別 ・ I種 ・ II種 ふすま紙の上張り種類 ・ () 縁の仕上げ ・ () ・ 戸ぶすま 見込み寸法 ・ 30mm ・ () 表面材 ・ () 厚み ・ 改修標準仕様書表5.7.6 ・ () 表面材の品質等 ・ 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)~(c) ・ () ・ MDF 表裏面の状態による区分 ・ () 曲げ強さによる区分 ・ () 接着剤による区分 ・ () 難燃性による区分 ・ () ・ 引戸の召合せかまちはいんろう付きとする 上張りの種類 ・ () ・ 紙張り障子 見込み寸法 ・ 30mm ・ () 枠及びくつずりの材料 ・ ()
	⑬ 建具用金物 (5.8.2) (5.8.4)	金物の見え掛り部等の材質等 ・ 改修標準仕様書 (表5.8.1)による ・ 図示 (図面番号: A075, A078, A079) マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない 引渡用鍵箱 ・ 必要 ・ 不要
14 自動ドア開 閉装置 (5.9.2) (5.9.3) (表5.9.4) (5.9.3)(9)	駆動装置及び検出装置の性能値 (・ 車椅子使用者用便房出入口用) ・ 図示 (図面番号:) 引き戸用検出装置の種類 ・ 図示 (図面番号:) 凍結防止措置 ・ あり ・ なし	

⑥ 内 装 改 修 工 事	15 自閉式上吊り 引戸装置 (5.10.3)	自閉式上吊り引戸装置の性能値 ・ 改修標準仕様書 (表5.10.1)による ・ ()	
	16 重量シャッター ー (5.11.2)	種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 耐風圧強度 (Pa以上) 開閉機能 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 管理用重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()	
	(5.11.2)(3) (表5.11.1)	開閉形式 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式 耐風圧強度 (Pa以上)	
	(5.11.2)(6) (5.11.3)	スラットの材質及び形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ () JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ()	
	⑬ 軽量シャッター ー (5.12.2) (表5.12.1) (5.12.3) (5.12.4)	開閉形式 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式 耐風圧強度 (Pa以上) スラットの材質及び形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ () JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ()	
	18 オーバーヘッ ドドア (5.13.2)	型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧強度 (Pa以上) 開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板	
	(5.13.3)	板ガラス (5.14.2)(1) (5.14.3)	・ 図示 (図面番号:)
	⑭ ① ガラス留め材 (5.14.2)(2)	・ シーリング ・ ガスケット ()	
	② ガラス溝の寸 法、形状等 (5.14.3)	・ 図示 (図面番号:) ・ 建具の製造所の仕様による	
	22 ガラスブロッ ク積み (5.14.5)	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:) 金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:) 化粧カバー ・ 図示 (図面番号:) 工法 ・ 図示 (図面番号:) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。	
⑥ 内 装 改 修 工 事	① 一般事項 (6.1.3)(2)	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 改修部分 改修範囲 ・ 天井 ・ 図示 (図面番号: A087他) ・ 壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ 床 ・ 図示 (図面番号:)	
	(6.1.3)(3)	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()	
	(6.1.3)(5)	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()	
	② 既存床撤去、下 地補修 (6.2.2)(1)(7)	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ・ 行わない	
	(6.2.2)(1)(4)	合成樹脂塗料の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法	
	(6.2.2)(3)	改修後の床の清掃範囲 ・ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・ ()	
	3 既存壁撤去、下 地補修 (6.3.2)	既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ()	
	4 木下地等 (6.5.2)(1)(4) (表6.5.1)	木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比) 部材名称 樹種・寸法・形状 等級 含水率 保存処理 材面の品質 下地材 ・ A種 ・ B種 造作材 ・ A種 ・ B種	
	(6.5.2)(2)(7)	製材 「製材の日本農林規格」による製材 部位 樹種・寸法・形状 等級 含水率 保存処理 材面の品質 下地用 針葉樹製材 ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ () ・ () 造作用 針葉樹製材 ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ () ・ () 広葉樹製材 ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ () ・ ()	

特 記 事 項				代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 加藤 早紀 監図 三橋 五百子	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 工事特記仕様書 (改修) No.3	設計日 第 尺 A2:1/NS A3:1/NS 図面番号 A011 (原図・A2)
------------------	--	--	--	-------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------	-------	-----------------------------	---	---

(6.5.2)(2)(4) (6.5.2)(2)(9) (表6.5.2) 「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ()

(5.5.6)(1)~ (5.5.9)(1) 樹種

部 位	樹 種	県 産 材

(6.5.2)(3)(7) 造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚 さ
造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()
化粧張り造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()
化粧張り構造用造作用集成柱	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()

(6.5.2)(3)(4) 「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号:) 含水率 ・ 1.5%以下 ・ ()

(6.5.2)(4)(7) 造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

部 位	品 名 ・ 寸 法	表面の品質	防虫処理
造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()

(6.5.2)(4)(4) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示 (図面番号:) 含水率 ・ 1.4%以下 ・ ()

(6.5.2)(5) 「直文集成材の日本農林規格」による直文集成材 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示 (図面番号:)

(6.5.2)(6) ・ 合板等

品名(品目)	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚 さ

(6.5.3)(1) 接合具等 造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ ()

(6.5.3)(2) 諸金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示 (図面番号:)

(6.5.5)(1) ・ 防腐、防蟻処理 適用部位 図示 (図面番号:) 保存処理性能区分 () 薬剤の塗布等の処理方法 () 耐風害Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する (・ 薬剤の種類 () ・ 適用部材 ()) ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理 ()

(6.5.5)(2) ・ 防虫処理 図示 (図面番号:)

⑤ 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3) 野縁等の種類 ① 屋内 ② 19形 ・ () ③ 屋外 ④ 25形 ・ ()

形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示 (図面番号:) ・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号:) ・ ふところ≧3.0m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示 (図面番号:)

(6.6.4) 既存埋込みインサート ① 使用する ・ 使用しない (※使用する場合は、確認試験を行う) 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う (図面番号:) ・ 行わない ・ 確認試験の箇所数 (箇所) ・ 確認強度 () 耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示 (図面番号:)

⑥ 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) スタッド、ランナー等の種類 ・ 図示 (図面番号:)

7 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)(1) (6.8.2)(2) 材料 ・ ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】

種類の記号	色柄	厚 さ	備 考
FS	マーブル	2.0mm	エポキシ系接着剤

(6.8.2)(2) ・ ビニル床タイル【JIS A 5705 (ビニル系床材)】

種類の記号	色柄	寸 法	厚 さ	備 考
KT			2.0mm	

(6.8.2)(3)(7)(4) ・ 帯電防止床シート又は床タイル

種類	性能	寸 法	厚 さ	備 考

(6.8.2)(3)(9) ・ 視覚障害者用床タイル

種類	形状	備 考
ビニル床タイル	300×300×7.0mm	

(6.8.2)(3)(1) ・ 耐動荷重性床シート

種類	厚 さ	備 考

(6.8.2)(3)(4) ・ 防滑性床シート又は床タイル

種類	寸 法	厚 さ	備 考

(6.8.2)(5) ・ ゴム床タイル

種類	色 柄	寸 法	厚 さ	備 考

(6.8.3)(1) 工法 下地 ・ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他 ()

(6.8.3)(2)(9) ビニル床シート張り 熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない

8 カーペット敷き (6.9.2)(1) (表6.9.1) ・ 織じゅうたん

種 別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色 柄
・ A種	・ 羊毛	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ()	・ 無地
・ B種	・ 絹糸	・ ループパイル	・ ()	・ ()	・ 柄物
・ C種	・ ()	・ カット、ループ併用	・ ()	・ ()	・ ()

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)

(6.9.2)(2) (表6.9.2) ・ タフテッドカーペット

パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工 法	品質の程度
・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ()
・ ループパイル		・ ()	・ グリッター工法	・ ()
・ カット、ループ併用		・ ()	・ ()	・ ()

(6.9.2)(3) (表6.9.2) ・ タイルカーペット

種 別	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
	・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()
	・ ループパイル	・ ()	・ ()	・ ()

(6.9.2)(4) (6.9.2)(5) 下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ () 見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、種類及び形状 ・ 図示(図面番号:))

(6.9.3)(3) 織じゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンド工法 ・ ()

(6.9.3)(5) タイルカーペットの敷き方

平 場	市 松 敷 き	模 様 流 し	()

階段部分 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()

9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4) 弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ

(6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5)~ (表6.10.8) エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流しのべ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ (・ 平滑)

10 フローリング張り (6.11.4) (表6.11.2) ・ 釘留め工法

材 料	種 別	樹 種
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種	・ ()
	・ B種	・ ()
	・ C種	・ ()

防湿処理 ・ 図示 (図面番号:)

(6.11.5) (表6.11.5) ・ 接着工法

材 種	樹 種	厚 さ	大 小
・ フローリングボード (直張用)			
・ フローリングブロック (直張用)	・ なら		
・ 複合フローリング (直張用)	・ ()		
・ A種	・ B種	・ C種	

緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号:)

(6.11.6) 塗替え 下地調整 ・ () 塗装 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうすワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ ()

11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1) 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ D種の畳床 KT- (・ I ・ II ・ III ・ K ・ N)

③ セッコウボード (6.13.2) (表6.13.1) 材種

材 種	種 別	厚 さ (mm)
① セッコウボード		壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)
② 化粧セッコウボード	・ トラバーチン模様	・ 9.5(不燃) ④ 9.5(準不燃)
	・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ④ 9.5(準不燃)
	・ 普通	・ 9() - ()
・ ロックウール化粧吸音板	・ 立体模様	・ 9() - ()
④ けい酸カルシウム板	・ タイプII 0.8FK	

(6.13.3)(4)(9) 合板類の張付け ・ A種 ・ B種

(6.13.3)(6)(7) (表6.13.5) セッコウボードの目地工法 ① 継目処理 ・ 突付け ・ 目透し

13 壁紙張り (6.14.2)

施工箇所	種 類	防火性能
		・ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃

④ モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6) モルタル ① 現場調合材料 ② 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する(形状:) 床の目地 ・ 図示(図面番号:) 下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示(図面番号:)

④ タイル張り (6.16.2) (6.16.3) 伸縮調整目地 位置 ・ 図示(図面番号:)

タイルの種類

施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役 物	標準・特注色の別	耐震性の有無
床	圧着	I	50×50	○			標準	無
壁	圧着	II	100×100		○		標準	無

(6.16.3)(2) 試験張り ・ 行う ① 行わない 見本焼き ・ 行う ① 行わない 既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない

16 セルフレベリング材塗り (6.17.2) (6.17.3) ・ セッコウ系 ・ セメント系 塗厚 () mm

17 断熱材 (9.5.2) 断熱材打込み工法

種 別	種 別	厚 さ (mm)	施 工 箇 所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム			
・ 押出法ポリスチレンフォーム			
・ A種硬質ウレタンフォーム			
・ フェノールフォーム			

(9.5.3) 断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム)

種 別	厚 さ [mm]	施 工 箇 所
・ A種 1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床版
・ A種 1H	・ ()	・ 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・ ()		・ ()

⑦ ① 材料 (7.1.3) ② 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7) 種別

下 地		種 別		ひび割れ部の補修
・ 木部	・ RA種	・ RB種	・ RC種	
・ 鉄鋼面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	
・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	
・ モルタル、プラスター面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う
・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う
・ セッコウボード、その他ボード面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う

③ 素地ごしらえ (7.3.1~7.3.7) (表7.3.1)~ (表7.3.7) 種別

下 地		種 別	
・ 木部	・ A種	・ B種	・ C種
・ 鉄鋼面	・ A種	・ B種	・ C種
・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種	・ B種	・ C種
④ モルタル、プラスター面	・ A種	④ B種	
・ コンクリート、ALCパネル面	・ A種	・ B種	
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ A種	・ B種	
・ セッコウボード、その他ボード面	・ A種	・ B種	

④ 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3) (表7.4.3)~ (表7.4.5) 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ④ E種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ④ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種

5 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) (7.5.3~7.5.4) (表7.5.1)~ (表7.5.3) 塗料種別 ・ 1種 ・ () 種別

下 地		種 別	
・ 木部	・ A種	・ B種	・ C種
・ 鉄鋼面	・ A種	・ B種	・ C種
・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種	・ B種	・ C種

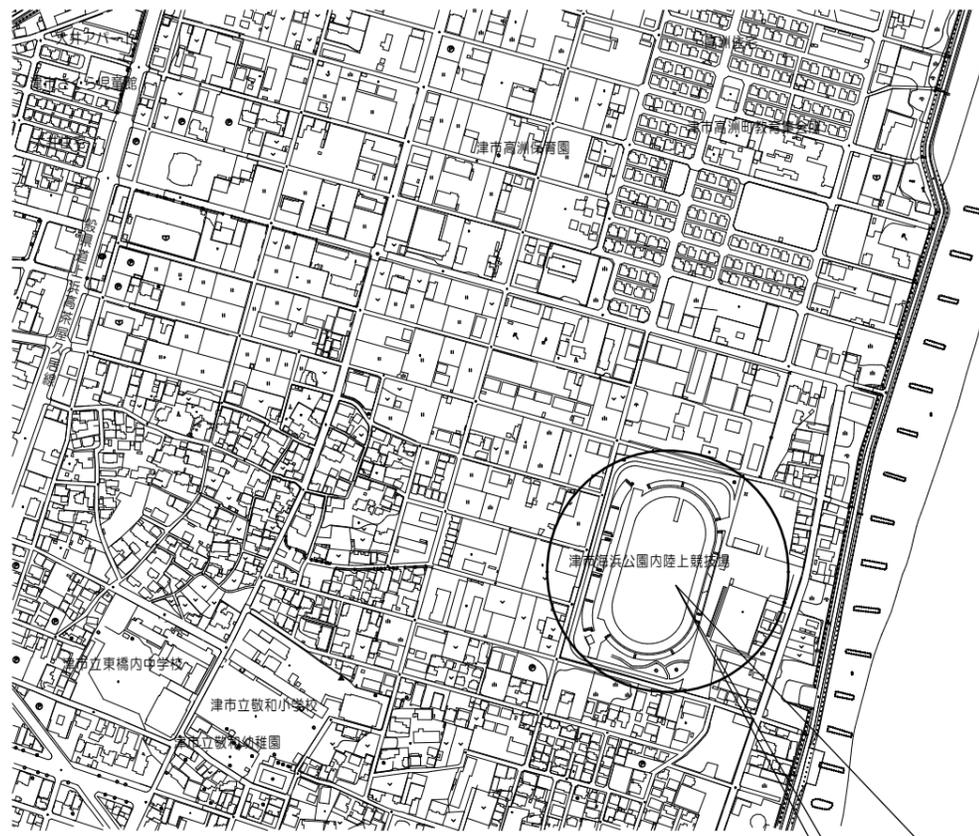
⑥ クリヤラッカー塗り(OL) (7.6.2) (表7.6.1) 種別 木部 ・ A種 ④ B種

8 の 5 耐震 改修 工事 あと 施工 アンカー 工事	(あと施工アンカー) 1 あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類 ・ 金属系 セットの方式 ・ 本体打込み式 (・ 改良型 ・ 従来型) 径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号:) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号:) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号:) 接合筋の種類・径・長さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 接着系 アンカーの種類 ・ カプセル型回転・打撃式 接着剤の品質 ・ 有機系 ・ 無機系 径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号: S019) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号: S019) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号: S019) アンカー筋の種類 ・ 図示 (図面番号: S019) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示 (図面番号: S019) あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない
	2 あと施工アンカーの施工 (8.12.4) (8.12.6) (8.12.7)	穿孔 埋込み配管等の探査方法 ・ 鉄筋探知機 (金属探知機) により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ () あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ・ 実施しない 試験方法 ・ 引張試験 (図面番号:) 1ロットの単位 ・ 1日に施工されたものの径及び仕様ごと ・ () 試験の箇所数 ・ 1ロットに対し3本 (無作為) ・ () 確認強度 ・ ()
8 の 6 耐震 改修 工事 鉄骨 工事	現場打ちコンクリート壁の増設工事 (8.12.4) (8.12.6) (8.12.7)	現場打ちコンクリート壁の増設部に用いる既存部とのシアコネクタの種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径 [mm] ・ D10 長さ [mm] ・ 増設壁厚 - 40 ・ () 形込み深さ [mm] ・ 5 d (d: シアコネクタの径) 以上 ・ () 間隔 [mm] ・ 500 × 500 シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()
	3 シアコネクタ	
8 の 6 耐震 改修 工事 鉄骨 工事	1 鉄骨製作工場 (8.1.5)	鋼日本鉄骨評価センター又は鋼全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ・ R ・ M ・ H ・ S
	2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (8.1.6)	施工管理技術者 (鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等) の配置 ・ しない ・ する
	3 鋼材 (8.2.8)	種類・形状及び寸法 ・ 図示 (図面番号:)
	4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	高力ボルトの適用 ・ トルシア形高力ボルト2種 (S10T) ・ JIS形高力ボルト2種 (F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当) ねじの呼び ・ 図示 (図面番号:) すべり試験 ・ 行う (試験方法等 図示: 図面番号) JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの5倍を超える場合の回転量 ・ ()
	5 溶接材料 (8.2.10)	・ 改修標準仕様書 (8.2.10) (1) (2) 以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・ 図示 (図面番号:)
	6 仮組 (8.13.10)	仮組の実施 ・ 実施する () ・ 実施しない
	7 溶接作業を行う技能資格者 (8.15.3)	溶接作業における技能資格者の技量付加試験 ・ 実施する () ・ 実施しない
	8 溶接の準備 (8.15.4)	開先の形状 ・ 図示 (図面番号: S007)
	9 溶接施工 (8.15.7)	鋼製エンドタブの切断 ・ 適用箇所 図示 (図面番号:) 切断面の仕上げ ・ () 鋼製エンドタブに代わる他の工法 鋼製エンドタブに代わる他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。 1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。 2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による鋼製エンドタブ施工講習修了者 (溶接技能者・A級以上) 又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者として、また、製作工場がH、Sグレードの場合は、溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者として、 板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部 ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:) スカラップの形状 ・ 図示 (図面番号:)
	10 溶接部の試験 (8.15.12)	溶接部の外観試験 ・ 試験方法 () ・ 確認方法 () 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 工場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書 (令和4年版) (7.6.12) (イ) による。 平均出検品質限界 (AOQL) ・ 4.0% ・ 2.5% ・ () 検査水準 ・ 第6水準 ・ () ロットの構成 () 工事現場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書 (令和4年版) (7.6.12) (イ) による。 平均出検品質限界 (AOQL) ・ 4.0% ・ ()

8 の 7 耐震 改修 工事 グラウト 工事	1 鉄骨の錆止め塗装 (8.17.2) (8.17.4)	鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る) ・ 改修標準仕様書 (7.3.2) (表7.3.1) (1) 種 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書 (7.3.2) (表7.3.1) (1) 種 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・ 図示 (図面番号:)								
	2 耐火被覆材の種類及び性能 (8.18.2) (8.18.3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	部位	種類	材料・工法	耐火性能				
	部位	種類	材料・工法	耐火性能						
3 プレース設置工事後の仕上げ (8.22.9)	・ 図示 (図面番号:)									
4 スタッド (8.22.11)	スタッドの種類 ・ ()									
8 の 7 耐震 改修 工事 グラウト 工事	(グラウト工事) 1 モルタル及びグラウト材 (8.2.6) (8.2.12) (表8.2.5) (表8.2.10)	構造体用モルタル ・ 改修標準仕様書 (8.2.6) 及び (8.2.12) による。 無収縮モルタル ・ 改修標準仕様書 (8.2.12) (1) による ・ () グラウト材 ・ 改修標準仕様書 (8.2.12) (2) による。 増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法								
	2 既存構造体との取合部の処理方法 (8.21.9) (8.22.7)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>処理方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>増設壁の上部</td> <td>グラウト材を注入</td> <td>寸法は図示による</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table>	部位	処理方法	備考	増設壁の上部	グラウト材を注入	寸法は図示による	()	()
部位	処理方法	備考								
増設壁の上部	グラウト材を注入	寸法は図示による								
()	()	()								
8 の 8 耐震 改修 工事 柱 補強 工事	(連続繊維補強工事) 1 連続繊維シート等による工法 (8.24.1)	連続繊維による補強、補修工法 ・ (財) 日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。 ・ ()								
	2 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料 (8.2.13)	連続繊維の材料 ・ () 工法 () 引張強度 (含浸硬化後) ・ () ヤング係数 (含浸硬化後) ・ ()								
	3 連続繊維シートの施工準備	仕上げモルタルの除去 ・ 既存構造体面まで除去する ・ モルタル除去は行わない ・ () 既存モルタルの圧縮強度測定 ・ 行う () ・ 行わない ひび割れ部の改修工法 ・ 樹脂注入工法 ・ リカットシール材充填工法 ・ シール工法								
	4 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)	柱頭柱脚の隙間寸法 ・ 図示 (図面番号:)								
	5 耐震補強後の仕上げ (8.23.7) (8.24.7)	・ 図示 (図面番号:)								
	6 炭素繊維シート の施工 (8.24.6)	炭素繊維の目付量 ・ 図示 (図面番号:) ・ 200g/m ² ・ 300g/m ² ・ () 炭素繊維シートの巻き数 ・ 図示 (図面番号:) ・ 1巻き ・ 2巻き ・ ()								
	7 連続繊維補強材の強度試験 (8.24.6)	引張強度試験 ・ 実施する (JIS A1911に準拠する) ・ 実施しない 試験数量 () 付着強度試験 ・ 実施する (JIS A6909に準拠する) ・ 実施しない 試験数量 ()								

8 の 9 耐震 補強 工事 スリット 新設 工事 免震 改修 工事 制振 改修 工事	(耐震スリット新設工事) 1 スリットの種類 (8.25.1) (8.25.2)	耐震スリットの種類及び形状 完全スリットの種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般型</th> <th>一面せん断型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記号</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>幅W (mm)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()</td> <td>・ 切断してよい ・ ()</td> </tr> </tbody> </table> 部分スリットの種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>片側スリット</th> <th>両面スリット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記号</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>幅W (mm)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>目地部の残存厚さ</td> <td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下</td> <td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下</td> </tr> <tr> <td>ts (mm)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい</td> <td>・ 存置する ・ 切断してよい</td> </tr> </tbody> </table>		一般型	一面せん断型	記号			形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 切断してよい ・ ()		片側スリット	両面スリット	記号	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	ts (mm)	・ ()	・ ()	既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい	・ 存置する ・ 切断してよい
		一般型	一面せん断型																																			
記号																																						
形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																				
幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																				
既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 切断してよい ・ ()																																				
	片側スリット	両面スリット																																				
記号	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																				
形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																				
幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																				
目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下																																				
ts (mm)	・ ()	・ ()																																				
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい	・ 存置する ・ 切断してよい																																				
2 スリットの施工	スリット部の配管等の調査 範囲 ・ スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。 ・ 図示 (図面番号:) ・ () 方法 ・ 鉄筋探知機 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 スリットの逃げ位置 壁の上端部 ・ 梁との接合部 ・ () 壁の柱きわ部 ・ 柱の仕上げを逃がしたきわ部 ・ () 壁の下端部 ・ 床仕上げ上部 ・ 床体上部 ・ () 撤去部の補修 ・ 図示 (図面番号:) 充填材 ・ 耐火材 使用箇所 () 仕様 () ・ 遮音材 使用箇所 () 仕様 ()																																					
3 免震・制振改修 (8.26.1)~ (8.27.9)	免震改修、制振改修に関する仕様は、図示する。																																					
8 の 10 その他 工事	1 土工事 (8.28.2) (8.28.3)	既存杭の撤去 ・ 図示 (図面番号:) 埋戻し及び盛土の材料及び工法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 建設発生土の処理 ・ 処分地指定 処分地 () ・ 処分地未定につき相互協議する。 暫定運搬距離 ・ 8km ・ 4km ・ () 山留めの撤去 ・ 撤去 (鋼矢板等の抜き跡の処理 ・ 直ちに砂で充填する ・ ()) ・ 存置																																				
	2 地業工事 (8.28.4)	杭の施工整理 杭工事特記仕様書による。 適用基準 本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。 国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」(平成28年3月4日) 施工記録 受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。 なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。 概観資料 共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料 (施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等) は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。 保管期間は契約書第3条第4項又は第5項 (第3条においてこれらの規定を準用する場合を含む。) の規定による引渡しを受けた日から10年とする。 また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。 試験杭及び試験掘 ・ 試験杭 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号: S014) による。 ・ 試験掘 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号:) による。 杭の支持層 支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ ・ 図示 (図面番号: S013) ・ () 水平方向の位置ずれの精度 ・ (100) mm以下 杭の載荷試験 試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 ・ 図示 (図面番号:) 載荷荷重 () kN 報告書 ・ 提出部数 2部																																				

特 記 事 項	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 輝輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 加藤 早紀 三橋 五百子	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 工事特記仕様書 (改修) No.6	設計日
	縮尺 A2:1/NS A3:1/NS	図面番号 A014 (原図・A2)							



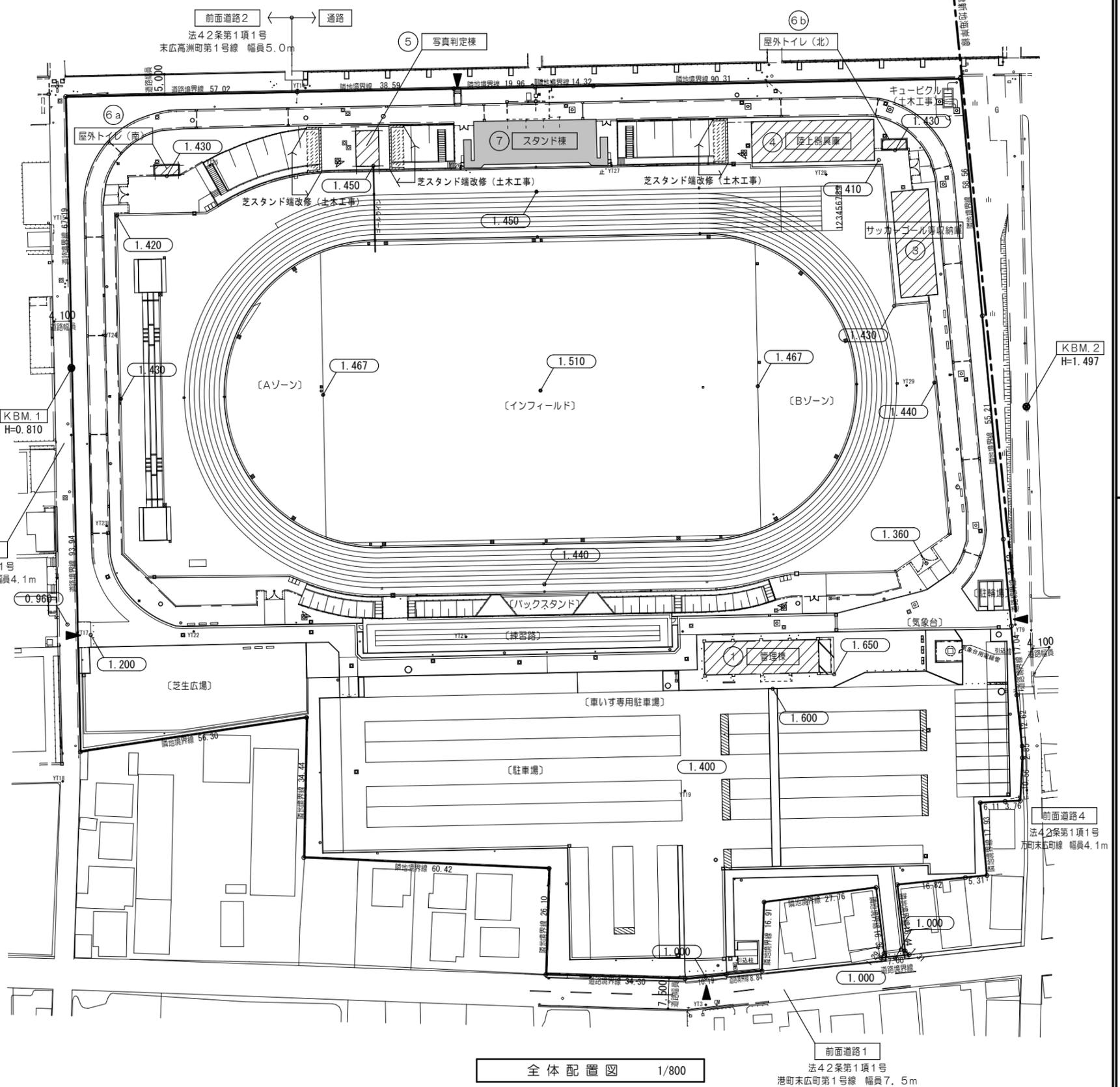
付近見取図 1/5000



計画建物において、延焼のおそれがある部分がかかっていないことあきらかなため、延焼ラインは記載しません。

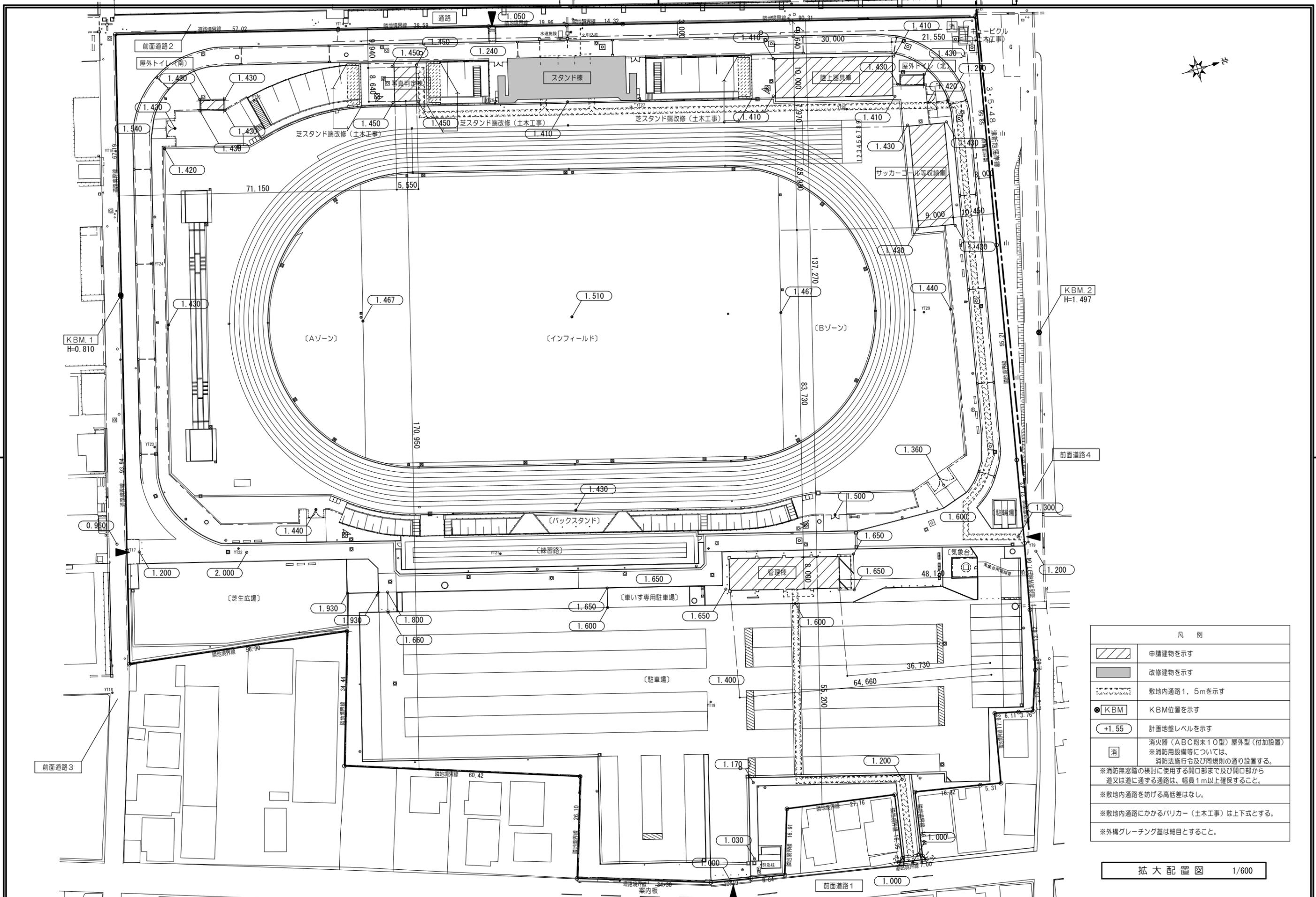
凡例	
	申請建物を示す
	改修建物を示す
	敷地出入口を示す

各棟面積表							
番号	棟名	建築面積 (m ²)	延床面積 (m ²)	構造	床面積 (m ²)		備考
					1階	2階	
①	管理棟	286.82	448.00	RC造	224.00	224.00	
③	サッカーゴール等収納庫	234.00	234.00	S造	234.00	—	
④	陸上器具庫	300.00	300.00	S造	300.00	—	
⑤	写真判定棟	47.95	95.90	S造	47.95	47.95	
⑥a	屋外トイレ(南)	12.67	12.67	RC造	12.67	—	
⑥b	屋外トイレ(北)	12.67	12.67	RC造	12.67	—	
小計		894.11	1,103.24		831.29	271.95	
改修	⑦ スタンド棟	340.67	568.26	RC造	253.85	314.41	【建築計画概要書】 第60市284号(昭和60年7月2日) 【建築基準法第48条第1項但書許可】 第58-12号(昭和58年10月4日)
小計		340.67	568.26		253.85	314.41	
合計		1,234.78	1,671.50		1,085.14	586.36	



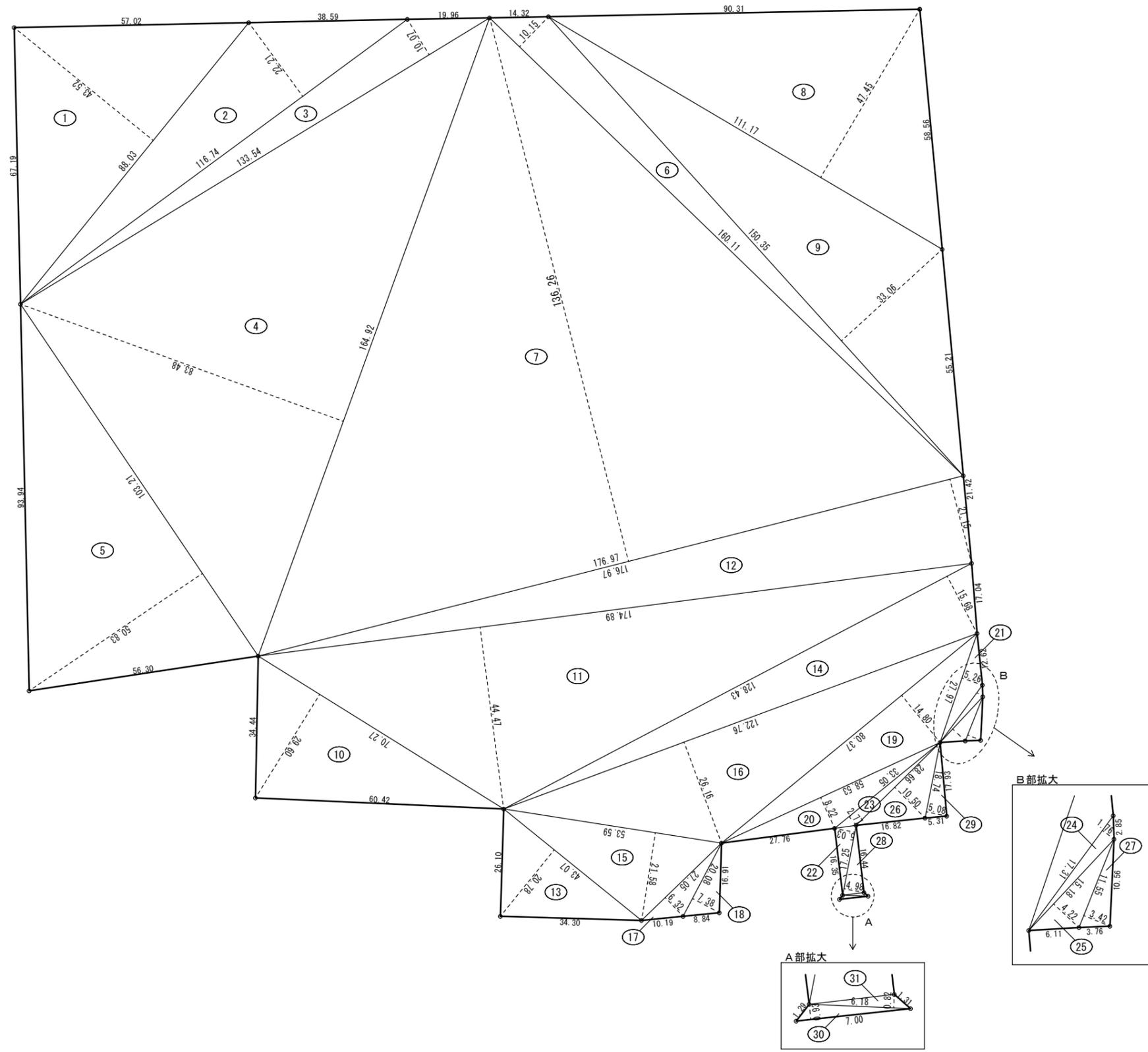
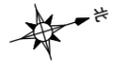
全体配置図 1/800

特記事項	特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝 設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子 設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃 設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認 	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【共通】全体配置図、付近見取図	設計日 縮尺 A2:1/800 A3:1/1128	図面番号 A017 (原図:A2)



凡例	
	申請建物を示す
	改修建物を示す
	敷地内通路1.5mを示す
	KBM位置を示す
	計画地盤レベルを示す
	消火器(ABC粉末10型)屋外型(付加設置) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。 ※消防無窓階の検討に使用する開口部まで及び開口部から 道又は道に通ずる通路は、幅員1m以上確保すること。
	※敷地内通路を妨げる高低差はなし。
	※敷地内通路にかかるバリカー(土木工事)は上下式とする。
	※外構グレーチング蓋は細目とすること。

拡大配置図 1/600



敷地求積図 1/800

地番 番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
①	88.03	43.52	3,831.0656	1,915.53280
②	116.74	22.21	2,592.7954	1,296.39770
③	133.54	10.07	1,344.7478	672.37390
④	164.92	83.48	13,767.5216	6,883.76080
⑤	103.21	50.83	5,246.1643	2,623.08215
⑥	160.11	10.15	1,625.1165	812.55825
⑦	176.97	136.26	24,113.9322	12,056.96610
⑧	111.17	47.45	5,275.0165	2,637.50825
⑨	150.35	33.06	4,970.5710	2,485.28550
⑩	70.27	29.60	2,079.9920	1,039.99600
⑪	174.89	44.47	7,777.3583	3,888.67915
⑫	176.97	21.15	3,742.9155	1,871.45775
⑬	43.07	20.78	894.9946	447.49730
⑭	128.43	15.68	2,013.7824	1,006.89120
⑮	53.59	21.58	1,156.4722	578.23610
⑯	122.76	26.16	3,211.4016	1,605.70080
⑰	27.05	6.32	170.9560	85.47800
⑱	20.08	7.38	148.1904	74.09520
⑲	80.37	14.80	1,189.4760	594.73800
⑳	58.53	8.22	481.1166	240.55830
㉑	27.97	5.26	147.1222	73.56110
㉒	17.25	5.03	86.7675	43.38375
㉓	33.05	2.77	91.5485	45.77425
㉔	17.31	1.76	30.4656	15.23280
㉕	15.18	4.22	64.0596	32.02980
㉖	28.66	10.50	300.9300	150.46500
㉗	11.55	3.42	39.5010	19.75050
㉘	17.25	4.98	85.9050	42.95250
㉙	18.74	5.08	95.1992	47.59960
㉚	7.00	0.93	6.5100	3.25500
㉛	6.18	0.82	5.0676	2.53380
合 計				43,293.33135
敷地面積				43,293.33 m ²

設計概要				外部仕上表															
工事名称		海浜公園内陸上競技場改修工事		管理棟				サッカーゴール等収納庫 陸上器具庫				写真判定棟							
工事場所		津市末広町24番32号(海浜公園)		部位		仕上		部位		仕上		部位		仕上					
防火指定		指定なし		屋根		瓦葺葺(※1) 改質アスファルト防水シートφ1.0(ゴムアスファルト自着層付) 均シモルタル 金コテ押工 (※1) 2% Mg添加ガルバリウム鋼板φ0.5 厚膜ウレタン塗装(膜厚4.0)		屋根		丸軸折板葺 H166程度(※2) ポリエチレンフォームφ4裏張 (※2) 2% Mg添加ガルバリウム鋼板φ0.8 厚膜ウレタン塗装(膜厚4.0)		屋根		丸軸折板葺 H166程度(※2) ポリエチレンフォームφ4裏張 (※2) 2% Mg添加ガルバリウム鋼板φ0.8 厚膜ウレタン塗装(膜厚4.0)					
用途地域		市街化区域(第一種住居地域) (建ぺい率:60% 容積率:200%)		陸屋根		平場: 押工コンクリートφ80金コテ仕上(溶接金網φ6 100×100) 目地切(伸縮目地)@3000内外 シーリング アスファルト防水 B-1工法 コンクリート金コテ押工 立上: アスファルト防水 塗膜仕上 立上防水端部押工金物(アルミアングル)、立上防水端部押工金物		樋		軒 樋: 塩ビ角型(前高型)W150(カラー) 落シ口(自在ドレン) タテ樋: 硬質塩化ビニル管φ100(カラー) 支持金物 ステンレス製@1000内外		庇		アルミ庇(既製品)W1900×D900					
その他		法22条区域、黄崎浦風致地区		庇		ウレタン塗膜防水(X-2) コンクリート打放シ補修		軒天		屋根材表シ		樋		軒 樋: 塩ビ角型(前高型)W150(カラー) 落シ口(自在ドレン) タテ樋: 硬質塩化ビニル管φ100(カラー) 支持金物 ステンレス製@1000内外					
敷地面積		43,293.33㎡		ドレン		鋼鉄製横引ドレンφ100用		外壁		金属系角波サイディングφ0.5張(※3) 水切: 外壁同材φ0.5加工 (※3) 2% Mg添加ガルバリウム鋼板φ0.5 厚膜ウレタン塗装(膜厚4.0)		軒天		屋根材表シ					
工事種別		新築、改修(スタンド棟)		樋		掃除口: 硬質塩化ビニル管(カラー)φ100用 軒 樋: 塩ビ角型(前高型)W150(カラー) 落シ口(自在ドレン) タテ樋: 硬質塩化ビニル管φ100(カラー) 支持金物 ステンレス製@1000内外		根廻り		撥水性防水剤塗布 コンクリート打放シ補修 誘発目地@3000		外壁		金属系角波サイディングφ0.5張(※3) 透湿防水シート張 水切: 外壁同材φ0.5加工 (※3) 2% Mg添加ガルバリウム鋼板φ0.5 厚膜ウレタン塗装(膜厚4.0)					
主要用途	新築	【管理棟】	集会場	1項(口)	【スタンド棟】	観覧場	1項(イ)	断熱材		土間床: ポリエチレンフィルムφ0.15敷		根廻り		撥水性防水剤塗布 コンクリート打放シ補修 誘発目地@3000					
		【サッカーゴール等収納庫】	倉庫	14項		【スタンド棟】	観覧場	1項(イ)	開口部		アルミドア、スチールシャッター		断熱材		土間床: ポリスチレンフォームφ25敷 (ポリエチレンフィルムφ0.15敷) 内壁(外壁面): グラスウールφ100 24kg品 天井裏(2階): グラスウールφ100 24kg品 倉庫天井デッキ(1階): 硬質ウレタンフォームφ25吹付				
建築面積	新築	【管理棟】	286.82㎡	【スタンド棟】	340.67㎡	外部階段		手すり: ビニル製(木目調)φ34 屋外用 上裏: コンクリート打放シ補修 外装薄塗材E吹付		犬走り		土間コンクリート 刷毛引き		開口部		アルミドア、アルミサッシ、スチールシャッター			
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		【スタンド棟】	340.67㎡	通路		天井: ケイカル板φ6 EP塗 LGS下地 床: 土間コンクリート 刷毛引き		犬走り		土間コンクリート 刷毛引き		断熱材		土間床: ポリスチレンフォームφ25敷 (ポリエチレンフィルムφ0.15敷) 内壁(外壁面): 硬質ウレタンフォームφ25吹付 屋根スラブ面: 硬質ウレタンフォームφ40吹付		
延床面積	新築	【管理棟】	448.00㎡	【スタンド棟】	568.26㎡	その他		ステンレスグレーチング		主要構造部関係・・・耐火構造種別: 耐火建築物		主要構造部関係・・・耐火構造種別: その他		主要構造部関係・・・耐火構造種別: その他					
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		【スタンド棟】	568.26㎡	主要構造部関係・・・耐火構造種別: 耐火建築物		主要構造部関係・・・耐火構造種別: その他		主要構造部関係・・・耐火構造種別: 耐火建築物		主要構造部関係・・・耐火構造種別: その他		主要構造部関係・・・耐火構造種別: その他				
改修		【管理棟】	448.00㎡	【スタンド棟】	568.26㎡	部位		使用材料		認定		部位		使用材料		認定			
改修		【管理棟】	448.00㎡	【スタンド棟】	568.26㎡	屋根		鉄筋コンクリート造		耐火構造 平12建告1399号 第5第1号		屋根		ガルバリウム鋼板		不燃認定 NM-8697			
改修		【管理棟】	448.00㎡	【スタンド棟】	568.26㎡	外壁		鉄筋コンクリート造 φ100以上		耐火構造 平12建告1399号 第1第5号		外壁		延焼内		—		—	
改修		【管理棟】	448.00㎡	【スタンド棟】	568.26㎡	非耐力壁		—		—		外壁		延焼外		金属系角波サイディング		不燃認定 NM-8697	
改修		【管理棟】	448.00㎡	【スタンド棟】	568.26㎡	延焼内		—		—		外壁		延焼外		金属系角波サイディング		不燃認定 NM-8697	
改修		【管理棟】	448.00㎡	【スタンド棟】	568.26㎡	延焼外		鉄筋コンクリート造 φ100以上		耐火構造 平12建告1399号 第1第9号		外壁		延焼外		金属系角波サイディング		不燃認定 NM-8697	
改修		【管理棟】	448.00㎡	【スタンド棟】	568.26㎡	柱		鉄筋コンクリート造		耐火構造 平12建告1399号 第2第3号		外壁		延焼外		金属系角波サイディング		不燃認定 NM-8697	
改修		【管理棟】	448.00㎡	【スタンド棟】	568.26㎡	床		鉄筋コンクリート造 φ70以上		耐火構造 平12建告1399号 第3第2号イ (タテ、ヨコ重ね部分のみ込みL=250以上とする)		外壁		延焼外		金属系角波サイディング		不燃認定 NM-8697	
改修		【管理棟】	448.00㎡	【スタンド棟】	568.26㎡	梁		鉄筋コンクリート造		耐火構造 平12建告1399号 第4第3号口		外壁		延焼外		金属系角波サイディング		不燃認定 NM-8697	
改修		【管理棟】	448.00㎡	【スタンド棟】	568.26㎡	内部階段		鉄筋コンクリート造		耐火構造 平12建告1399号 第6第1号		外壁		延焼外		金属系角波サイディング		不燃認定 NM-8697	

特記事項(建物共通)														
【特記事項】			【シックハウス対策】			【仕上記号略号】			【記号略号】		【防火認定番号】		【内装制限凡例】	
・壁ボード張部分は、ジョイントレス大壁工法とする。 (巻込・ジョイントテープ張処理)	・特記なき床ステンレス番摺は、 SUS304φ7-40×20×2(HL仕上)とする。 床仕上が異なる部分には、床ステンレス番摺を入れること。	・使用建材: F☆☆☆☆(天井、壁、建具仕上材、接着剤、下地共)	記号	JIS番号	名称	記号	名称	PB(石膏ボード)φ12.5 : NM-8619 <不燃>		PB(石膏ボード)φ12.5 : NM-8619 <不燃>		⓪ 仕上、下地共不燃材		
・ボード類 壁コーナー処理は、特記なき限りコーナー保護金物の上、 ジョイントコンパウンド塗とする。	・土間コンクリート下は、ポリエチレンフィルムφ0.15敷を行うこと。 (タテ、ヨコ重ね部分のみ込みL=250以上とする)	・内部塗料は、F☆☆☆☆品 家具等F☆☆☆☆品	SOP	K5516	合成樹脂調合ペイント	HL	ヘアライン	耐水PB(石膏ボード)φ12.5 : NM-9639 <不燃>		耐水PB(石膏ボード)φ12.5 : NM-9639 <不燃>		⓪ 仕上不燃材		
・参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。	・土間コンクリート下は、ポリエチレンフィルムφ0.15敷を行うこと。 (タテ、ヨコ重ね部分のみ込みL=250以上とする)	・クロルピリホス使用なし	CL	K5531	クリアラッカー塗	PB	石膏ボード	化粧PBφ9.5 : QM-9824 <準不燃>		化粧PBφ9.5 : QM-9824 <準不燃>		⓪ 仕上、下地共準不燃材以上		
・使用建築材料: 特記なき限りJIS・JAS認定品を使用すること。	・土に接する部分のコンクリート打継が所には止水板を打ち込むこと。		EP	K5663	合成樹脂 エマルジョンペイント	GW	グラスウール	ケイカル板 : NM-4227 <不燃>		ケイカル板 : NM-4227 <不燃>		⓪ 仕上準不燃材以上		
・WC内手摺は設備工事(下地補強建築工事)とする。	・特記なきカーテンレールはダブルとする。		1-UC	—	1液形油変性 ウレタン樹脂ワニス	LGS	軽量鉄骨下地	塗料一般(EP) : NM-8585 <不燃>		塗料一般(EP) : NM-8585 <不燃>		⓪ 仕上難燃材以上		
・ビニル床シート張りは、熱溶接工法とする。 (ラテックス接着剤(F☆☆☆☆))	・カーテン・絨毯等は防炎物品を使用すること。					CB	カーテンボックス	ロックウール化粧吸音板φ9 : NM-8599 <不燃>		ロックウール化粧吸音板φ9 : NM-8599 <不燃>				
・床と巾木は床膳の納まりとすること。	・アスベスト含有建材の使用なし。		【認定番号】											
・コンクリートコテ仕上面は、タテヨコとも@3000で目地を設けること。			遮音壁 (スラブ下まで)		強化PBφ12.5+強化PBφ12.5(両面) LGS下地 GW24K φ50		遮音構造(TLD52程度) SO1-0213(中空75~90mm)							

特記事項	特記事項	 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	 作図 監図 	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【共通】外部仕上表、内部仕上表No.1	縮尺 A2: NS A3: NS	図面番号 A020 (原図:A2)
	特記事項		一級建築士 第320204号 前野 将輝 一級建築士 第307846号 三橋 五百子 一級建築士 第378328号 加藤 早紀 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認								

内部仕上表【管理棟】

階	内装制限	室名	床			巾木			腰壁			壁			天井			CH	室名札	備考		
			記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上				廻縁	
1	—	風除室	F1	モルタル木コテ押工	磁器質300角タイル張	BB1	磁器質150角タイル張	150	—	—	—	W1	LGSD下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C1	LGSD下地	化粧PBア9.5張	塩ビ	2,700			
		エントランスホール 休憩スペース	F2	モルタル金コテ押工	ビニル床シートア2.0張	BB3	木製巾木 CL塗	60	SW1	LGSD下地	杉小巾板ア12張 CL塗 PBア12.5	W1	LGSD下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C1	△	△	塩ビ	2,700	掲示板、館内案内サイン、 BB、ブラインド		
		事務室	F3	OAフロア(支柱式) H100 セルフレベリング	タイルカーベッタ6.5敷 (帯電防止・土足対応)	BB3	△	60	—	—	—	—	W1	LGSD下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C2	△	化粧吸音PBア9.5張	塩ビ	2,500	○	BB、ブラインド
		書庫	F2	モルタル金コテ押工	ビニル床シートア2.0張	BB2	ビニル巾木	60	—	—	—	—	W1	LGSD下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C1	△	化粧PBア9.5張	塩ビ	2,500	○	
		休憩室	F2	△	△	BB2	△	60	—	—	—	—	W1	△	△	C1	△	△	塩ビ	2,500	○	キッチン、BB、ブラインド
		階段下倉庫	F2	△	△	BB2	△	60	—	—	—	—	W1	△	△	C4	コンクリート 打放シ補修	NAD塗	—	—	○	
		女子トイレ 男子トイレ	F4	モルタル木コテ	磁器質100角タイル張	—	—	—	—	SW3	モルタル木コテ CB下地	陶器質100角タイル張	W4	—	コンクリート打放シ補修 NAD塗	C3	LGSD下地	ケイカル板ア6 EP塗	塩ビ	2,500	○	汚垂タイル(男子トイレ) 洗面カウンター(建築工事) 上配ボウル(機械設備工事)
		多目的トイレ	F4	△	△	—	—	—	—	SW3	モルタル木コテ CB下地	陶器質100角タイル張	W4	—	コンクリート打放シ補修 NAD塗	C3	△	△	塩ビ	2,500	○	ベビーチェア(機械設備工事) ベビーシート(機械設備工事) フィッティングボード(機械設備工事)
		EV		コンクリート金コテ押工	ケイ酸質系塗布防水塗 (C-U1)		ケイ酸質系塗布防水塗 (C-U1)			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
2	—	ホール	F2	モルタル金コテ押工	ビニル床シートア2.0張	BB2	ビニル巾木	60	—	—	—	W1	LGSD下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C1	LGSD下地	化粧PBア9.5張	塩ビ	2,700		床見切、下足入、BB、ブラインド	
		大会議室	F5	セルフレベリング	複合フローリングア12張	BB3	木製巾木 CL塗	60	—	—	—	W1	LGSD下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C2	△	化粧吸音PBア9.5張	塩ビ	2,700	○	壁面鏡、BB、ブラインド	
		小会議室	F2	モルタル金コテ押工	ビニル床シートア2.0張	BB2	ビニル巾木	60	—	—	—	W1	LGSD下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C2	△	△	塩ビ	2,700	○	BB、ブラインド	
		収納庫	F2	△	△	BB2	△	60	—	—	—	W1	△	△	C1	△	化粧PBア9.5張	塩ビ	2,500	○		
共通	—	階段室	F2	△	△	BB2	△				W1	△	△	C1	△	△	塩ビ	2,700				

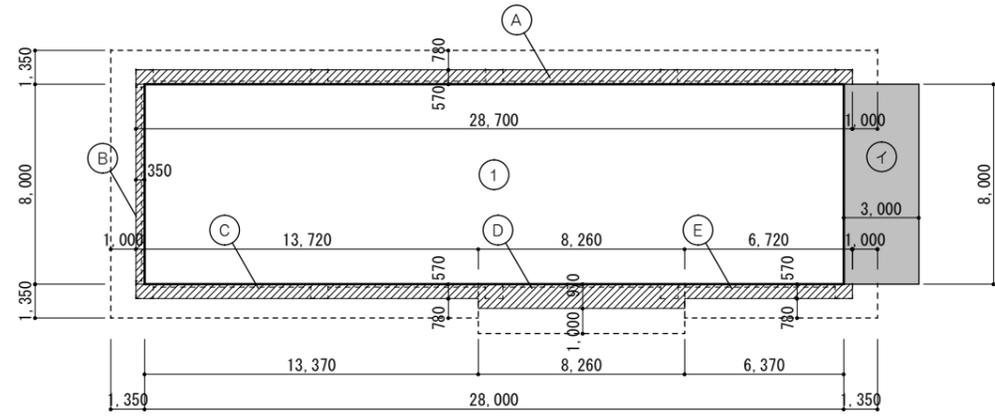
内部仕上表【サッカーゴール等収納庫】【陸上器具庫】

階	内装制限	室名	床			巾木			腰壁			壁			天井			CH	室名札	備考	
			記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上				廻縁
1	—	サッカーゴール等収納庫 陸上器具庫	F10	土間コンクリート 金コテ押工 カッター切@3000内外	防塵用エポキシ樹脂塗床材 (防滑仕上)	BB10	塗床材同仕上 (平滑)	330 ~ 350	—	—	—	W10	—	外壁材表シ 鉄骨柱・鉄骨壁下地面 溶融亜鉛メッキ	C10	—	屋根材表シ 鉄骨梁面 溶融亜鉛メッキ	—	—	—	

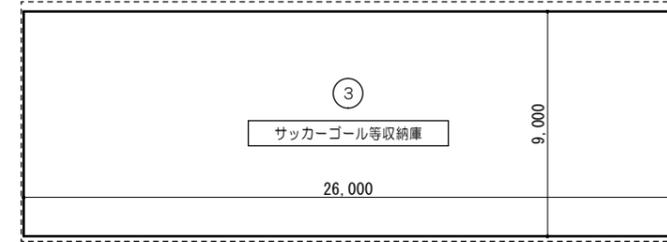
内部仕上表【写真判定棟】

階	内装制限	室名	床			巾木			腰壁			壁			天井			CH	室名札	備考	
			記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上				廻縁
1	—	倉庫	F20	土間コンクリート 金コテ押工 カッター切@3000内外	防塵用エポキシ樹脂塗床材 (防滑仕上)	BB20	塗床材同仕上 (平滑)	330 ~ 350	—	—	—	W20	—	外壁材表シ 鉄骨柱・鉄骨壁下地面 溶融亜鉛メッキ	C20	—	デッキ表シ 鉄骨表シ 溶融亜鉛メッキ	—	—	—	
		物入1	F21	土間コンクリート 金コテ押工	防塵用エポキシ樹脂塗床材 (防滑仕上)	BB20	塗床材同仕上 (平滑)	330 ~ 350	—	—	—	—	W20	△	△	C21	LGSD下地	化粧PBア9.5張	塩ビ	2,400	○
2	—	写真判定室・ 記録室	F22	コンクリート金コテ押工	ビニル床シートア2.0張	BB21	ビニル巾木	60	—	—	—	W21	LGSD下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C21	LGSD下地	化粧PBア9.5張	塩ビ	2,400	○	床見切、下足入、BB、ブラインド
		物入2	F22	△	△	BB21	△	60	—	—	—	W21	△	△	C21	△	△	塩ビ	2,400	○	
共通	—	階段室	F23	モルタル金コテ押工	△	BB22	ササラ柾				W22	△	PBア12.5 EP塗	C21	△	△	塩ビ	2,400			

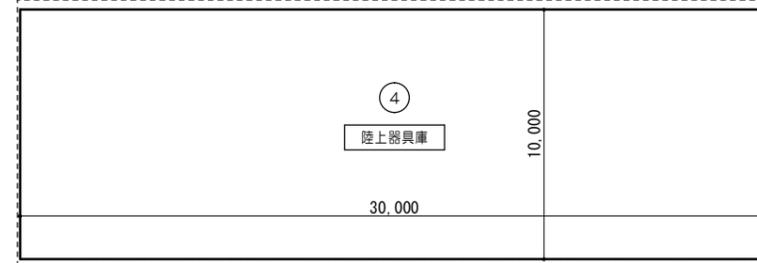
特 記 事 項	 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝										代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝		設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子		設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀		設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作		法適合確認		作図  監理 		工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【共通】内部仕上表No.2		縮尺 A2: NS A3: NS		図面番号 A021 (原図:A2)		設計日	
	特記事項																													



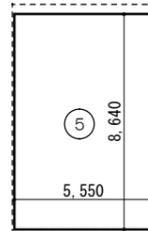
管理棟



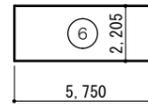
サッカーゴール等収納庫



陸上器具庫



写真判定棟



屋外トイレ(南)・(北)

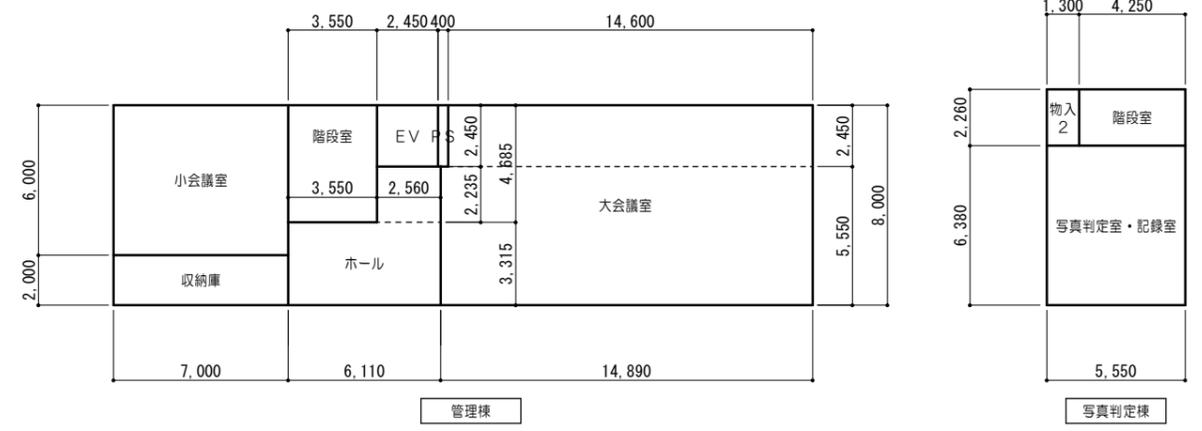
建築面積求積図 1/200

求積計算式					
①	28.000 × 8.000	=	224.00000	⑤	5.550 × 8.640 = 47.95200
②				⑥	5.750 × 2.205 = 12.67875
③	26.000 × 9.000	=	234.00000	イ	3.000 × 8.000 = 24.00000
④	30.000 × 10.000	=	300.00000	A	28.700 × 0.570 = 16.35900
				エ	8.260 × 0.970 = 8.01220
				オ	6.720 × 0.570 = 3.83040

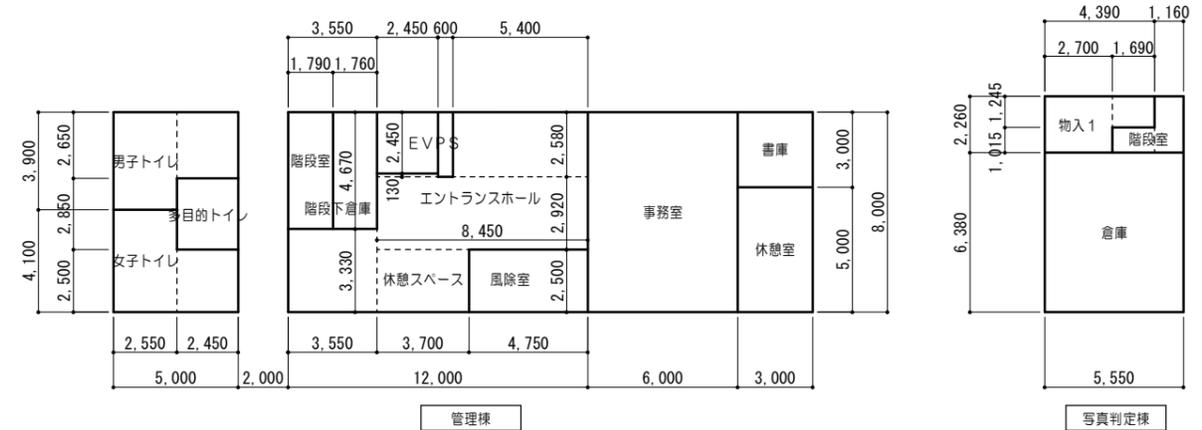
管理棟	建築面積		延床面積	
	2階	①	224.0000	224.00
1階	①	224.0000	224.00	
延床面積			448.00	

写真判定棟	建築面積		延床面積	
	2階	⑤	47.9520	47.95
1階	⑤	47.9520	47.95	
延床面積			95.90	

サッカーゴール等収納庫	建築面積	③	=	234.0000	234.00	m ²
	延床面積	③	=	234.0000	234.00	m ²
陸上器具庫	建築面積	④	=	300.0000	300.00	m ²
	延床面積	④	=	300.0000	300.00	m ²
屋外トイレ	建築面積	⑥	=	12.67875	12.67	m ²
	延床面積	⑥	=	12.67875	12.67	m ²



2階各室求積図 1/200



1階各室求積図 1/200

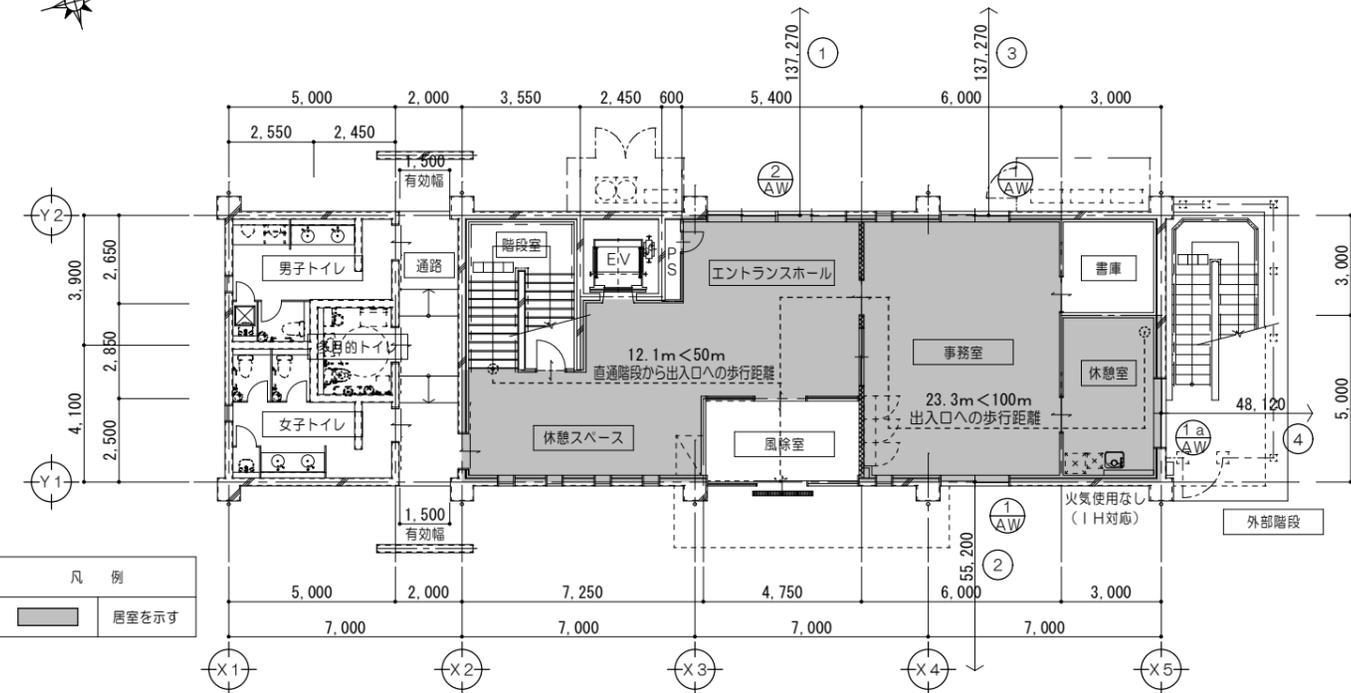
各室求積表 (m ²)					
1階	風除室	4.750 × 2.500	=	11.8750	11.88
	エントランスホール 休憩スペース	5.400 × 2.580	=	13.9320	60.00
		2.450 × 0.130	=	0.3185	
		8.450 × 2.920	=	24.6740	
		3.700 × 2.500	=	9.2500	
		3.550 × 3.330	=	11.8215	
	事務室	6.000 × 8.000	=	48.0000	48.00
	休憩室	3.000 × 5.000	=	15.0000	15.00
	書庫	3.000 × 3.000	=	9.0000	9.00
	階段室	1.790 × 4.670	=	8.3593	8.36
階段下倉庫	1.760 × 4.670	=	8.2192	8.22	
EV	2.450 × 2.450	=	6.0025	6.00	
PS	0.600 × 2.580	=	1.5480	1.55	
多目的トイレ	2.450 × 2.850	=	6.9825	6.98	
男子トイレ	2.450 × 2.650	=	6.4925	16.44	
	2.550 × 3.900	=	9.9450		
女子トイレ	2.450 × 2.500	=	6.1250	16.58	
	2.550 × 4.100	=	10.4550		
2階	ホール	6.110 × 3.315	=	20.2547	25.98
		2.560 × 2.235	=	5.7216	
	大会議室	14.890 × 5.550	=	82.6395	118.41
		14.600 × 2.450	=	35.7700	
	小会議室	7.000 × 6.000	=	42.0000	42.00
	収納庫	7.000 × 2.000	=	14.0000	14.00
	階段室	3.550 × 4.685	=	16.6318	16.63
	EV	2.450 × 2.450	=	6.0025	6.00
	PS	0.400 × 2.450	=	0.9800	0.98
	倉庫	5.550 × 6.380	=	35.4090	35.41
写真判定棟	物入1	2.700 × 2.260	=	6.1020	8.21
		1.690 × 1.245	=	2.1041	
	階段室	1.160 × 2.260	=	2.6216	4.34
		1.690 × 1.015	=	1.7154	
写真判定室・記録室	5.550 × 6.380	=	35.4090	35.41	
物入2	1.300 × 2.260	=	2.9380	2.94	
階段室	4.250 × 2.260	=	9.6050	9.61	

※管理棟の客席部分は、118.41m²(大会議室) + 42.00m²(小会議室) = 160.41m²です。

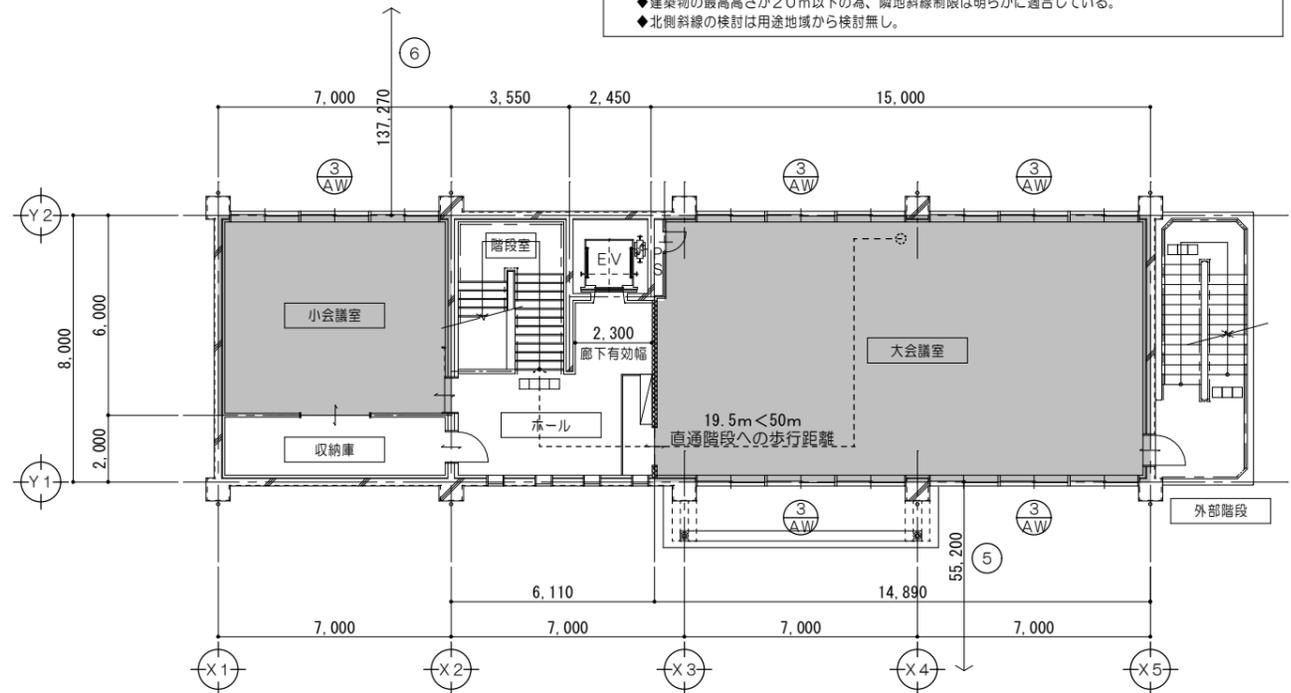


斜線制限の検討

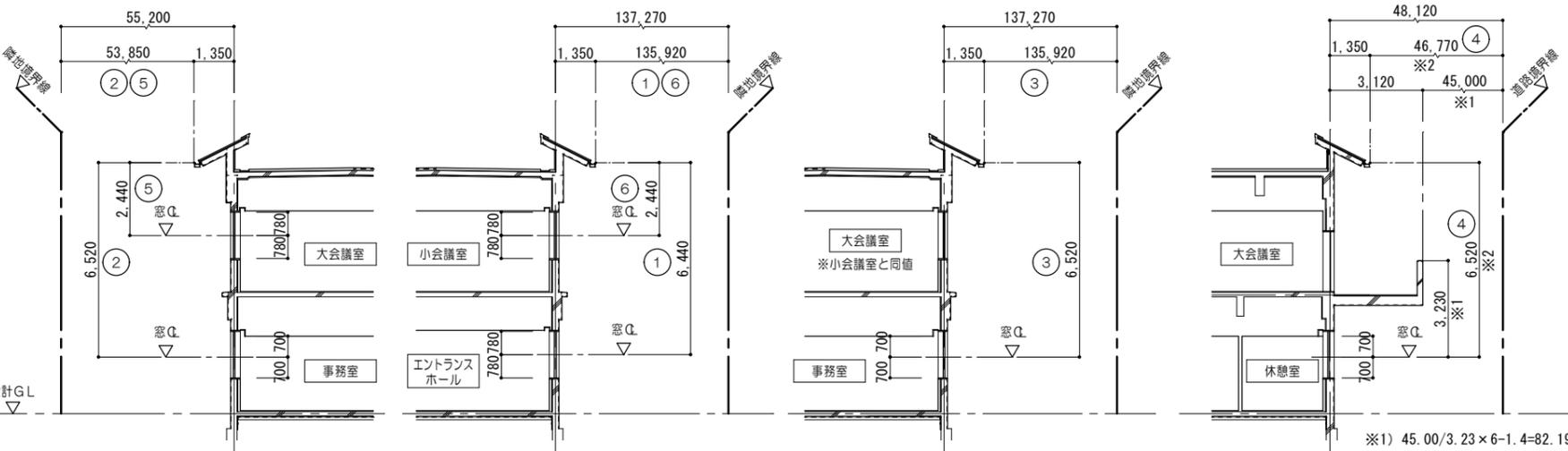
- ◆道路境界線から建物までの距離が道路幅員以上である為、道路斜線制限は明らかに適合している。
- ◆建築物の最高高さが20m以下の為、隣地斜線制限は明らかに適合している。
- ◆北側斜線の検討は用途地域から検討無し。



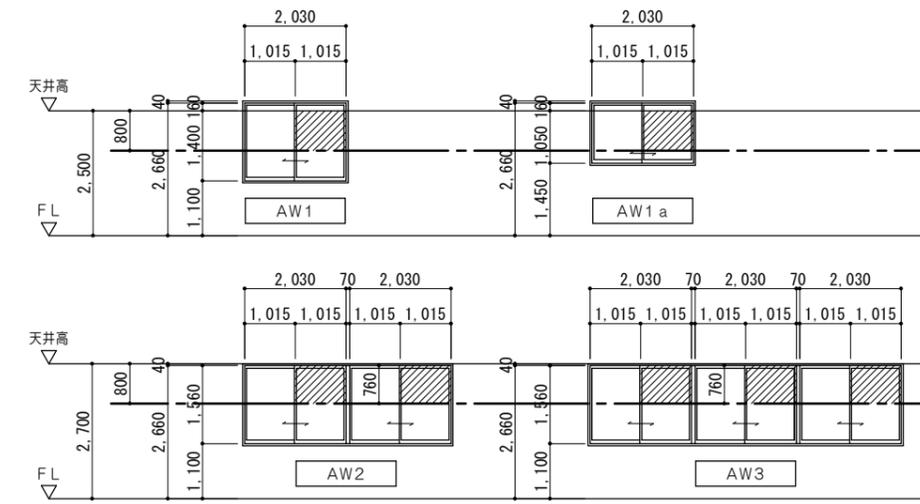
1階法規チェック図 1/150



2階法規チェック図 1/150



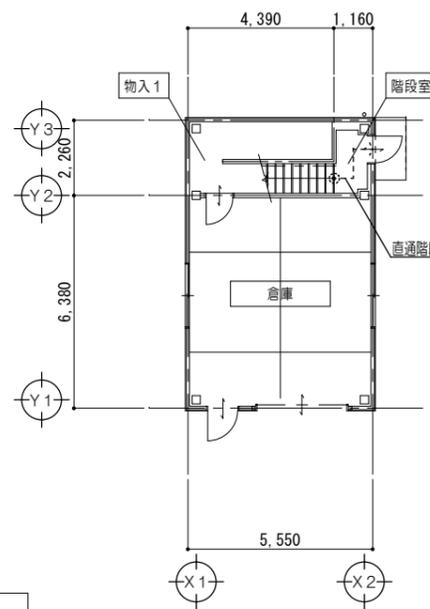
採光算定根拠 1/100



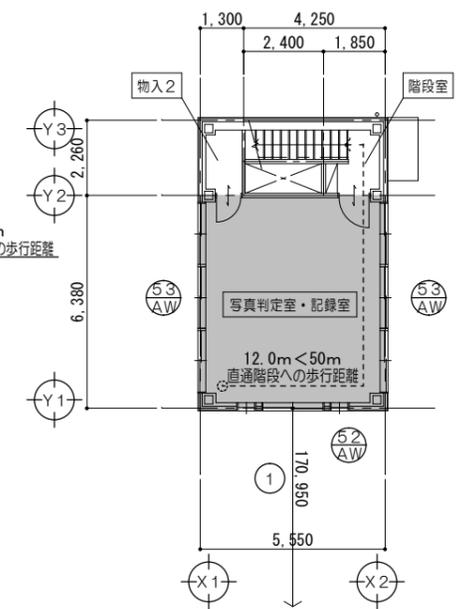
排煙算定根拠 1/100

◆令129条の四より 耐火建築物かつ客席≤400㎡のため内装制限は受けない。

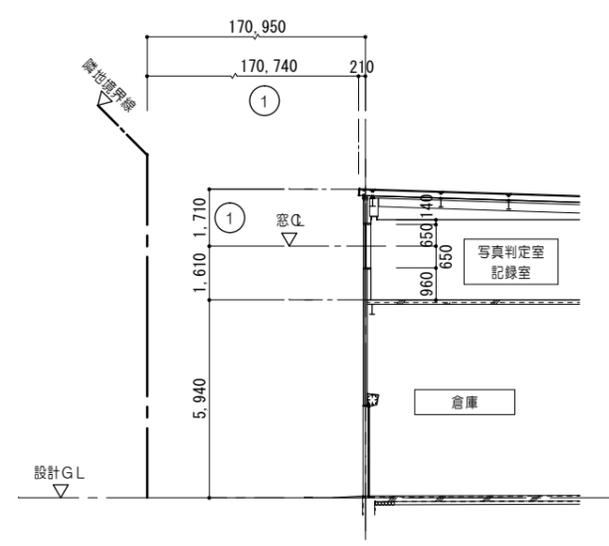
法規チェックリスト【管理棟】																	
階	室名	室面積 (㎡)	採光算定表				判定	換気算定表				排煙算定表					
			必要採光面積 (㎡)	窓記号	窓の種類	有効採光面積 (小数点3位切り捨て)		必要換気面積 (㎡)	窓記号	有効換気面積 (小数点3位切り捨て)	判定	必要排煙面積 (㎡)	窓記号	有効排煙面積 (小数点3位切り捨て)	判定		
1	エントランスホール	60.00	60.00 × 1/20 = 3.00	AW2	引違い窓	2.03 × 1.56 × 2 × 1 = 6.33 ■ 6.33 × 3 (採光補正係数) = 18.99	①	135.92/6.44 × 6-1.4=125.23 →3.0 (算定値)	OK	60.00 × 1/20 = 3.00	AW2	1.015 × 1.56 × 2 × 1 = 3.16	OK	60.00 × 1/50 = 1.20	AW2	1.015 × 0.76 × 2 × 1 = 1.54	OK
	休憩スペース	60.00	60.00 × 1/20 = 3.00	AW2	引違い窓	2.03 × 1.56 × 2 × 1 = 6.33 ■ 6.33 × 3 (採光補正係数) = 18.99	②	53.85/6.52 × 6-1.4=48.15 →3.0 (算定値)	OK	48.00 × 1/20 = 2.40	AW1	1.015 × 1.56 × 1 × 2 = 3.16	OK	48.00 × 1/50 = 0.96	AW1	1.015 × 0.80 × 1 × 2 = 1.62	OK
	事務室	48.00	48.00 × 1/20 = 2.40	AW1	引違い窓	2.03 × 1.56 × 1 × 2 = 6.33 ■ 6.33 × 3 (採光補正係数) = 18.99	③	135.92/6.52 × 6-1.4=123.67 →3.0 (算定値)	OK	15.00 × 1/20 = 0.75	AW1a	1.015 × 1.21 × 1 × 1 = 1.22	OK	15.00 × 1/50 = 0.30	AW1a	1.015 × 0.80 × 1 × 1 = 0.81	OK
2	大会議室	118.41	118.41 × 1/20 = 5.93	AW3	引違い窓	2.03 × 1.21 × 1 × 1 = 2.45 ■ 2.45 × 3 (採光補正係数) = 7.35 2.03 × 1.56 × 3 × 4 = 38.00 ■ 38.00 × 3 (採光補正係数) = 114.00	④	46.77/6.52 × 6-1.4=41.63 →3.0 (算定値)	OK	118.41 × 1/20 = 5.93	AW3	1.015 × 1.56 × 3 × 4 = 19.00	OK	118.41 × 1/50 = 2.37	AW3	1.015 × 0.76 × 3 × 4 = 9.25	OK
	小会議室	42.00	42.00 × 1/20 = 2.10	AW3	引違い窓	2.03 × 1.56 × 3 × 1 = 9.50 ■ 9.50 × 3 (採光補正係数) = 28.50	⑤	53.85/2.44 × 6-1.4=131.01 →3.0 (算定値)	OK	42.00 × 1/20 = 2.10	AW3	1.015 × 1.56 × 3 × 1 = 4.75	OK	42.00 × 1/50 = 0.84	AW3	1.015 × 0.76 × 3 × 1 = 2.31	OK



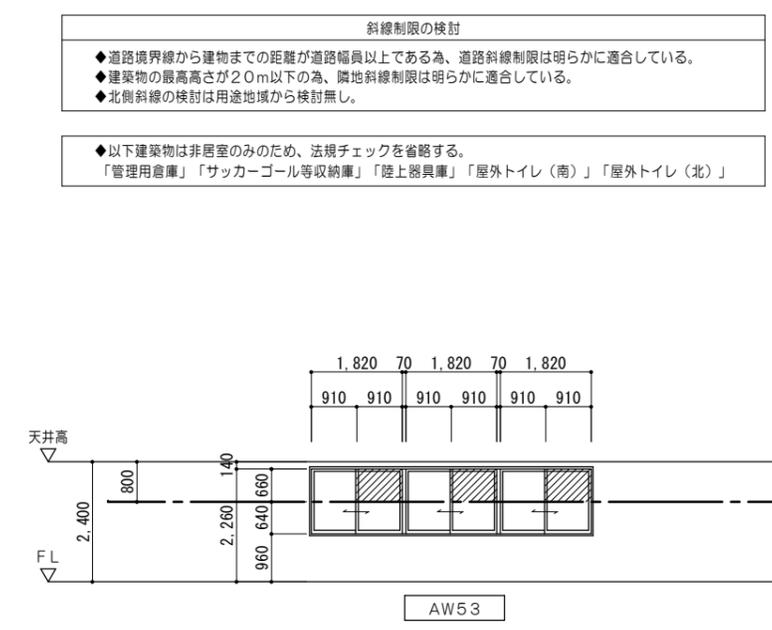
1階法規チェック図 1/150



2階法規チェック図 1/150



採光算定根拠 1/150



排煙算定根拠 1/100

- 斜線制限の検討
- ◆道路境界線から建物までの距離が道路幅員以上である為、道路斜線制限は明らかに適合している。
 - ◆建築物の最高高さが2.0m以下の為、隣地斜線制限は明らかに適合している。
 - ◆北側斜線の検討は用途地域から検討無し。
- ◆以下建築物は非居室のため、法規チェックを省略する。
「管理用倉庫」「サッカーゴール等収納庫」「陸上器具庫」「屋外トイレ(南)」「屋外トイレ(北)」

凡例

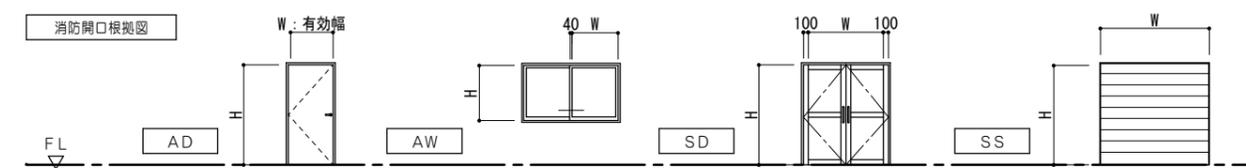
■	居室を示す
---	-------

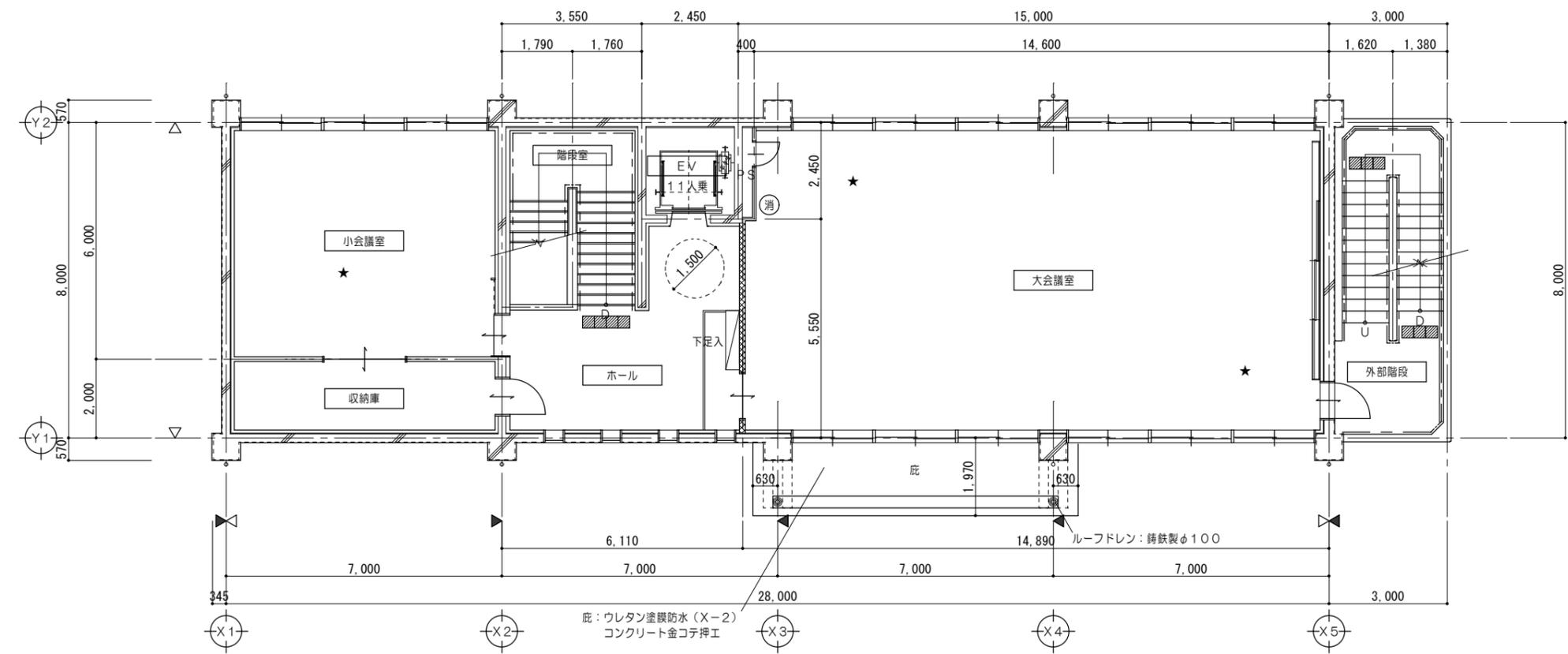
法規チェックリスト【写真判定棟】																	
階	室名	室面積 (㎡)	採光算定表				市街化区域 (第一種住居地域) D/H×6-1.4	判定	換気算定表				排煙算定表				
			必要採光面積 (㎡) 室面積×係数 (小数点3位切り上げ)	窓記号	窓の種類	有効採光面積 (小数点3位切り捨て)			必要換気面積 (㎡) 室面積×係数 (小数点3位切り上げ)	窓記号	有効換気面積 (小数点3位切り捨て)	判定	必要排煙面積 (㎡) 室面積×係数 (小数点3位切り上げ)	窓記号	有効排煙面積 (小数点3位切り捨て)	判定	
2	写真判定室 記録室	35.41	35.41 × 1/20 = 1.78	AW52	引違窓	1.82 × 1.3 = 2.36 2.36 × 3 (採光補正係数) = 7.08	①	170.74/1.71 × 6 - 1.4 = 597.68 → 3.0 (算定値)	OK	35.41 × 1/20 = 1.78	AW53	0.91 × 1.30 × 3 × 2 = 7.09	OK	35.41 × 1/50 = 0.71	AW53	0.91 × 0.66 × 3 × 2 = 3.60	OK

消防無窓階の検討									
【管理棟】					【管理用倉庫】				
1階 必要面積	有効面積	数	小計	判定	2階 必要面積	有効面積	数	小計	判定
224.00 × 1/30 = 7.47	AD4 0.90 × 2.00 × 1 = 1.80 AW1 (2.03/2-0.04) × 1.56 × 1 = 1.52 AW2 (2.03/2-0.04) × 1.56 × 2 = 3.04	1か所 2か所 1か所	1.80 3.04 3.04	OK	224.00 × 1/30 = 7.47	AW3 (2.03/2-0.04) × 1.56 × 3 = 4.56	3か所	13.68	OK
Total 7.88					Total 13.68				
【写真判定棟】					【サッカーゴール等収納庫】				
47.95 × 1/30 = 1.60	AD51 0.80 × 2.00 × 1 = 1.80 SS51 2.70 × 2.50 × 1 = 6.75	1か所 1か所	1.60 6.75	OK	47.95 × 1/30 = 1.60	AW53 (1.84/2-0.04) × 1.30 × 3 = 3.43	1か所	3.43	OK
Total 8.35					Total 3.43				
【スタンド棟】					【陸上器具庫】				
253.85 × 1/30 = 8.47	AW82 (1.85/2-0.04) × 1.90 × 1 = 1.68 SD71 (1.76-0.1×2) × 1.90 × 1 = 2.96 SD72 (1.50-0.1×2) × 1.90 × 1 = 2.47	1か所 1か所 2か所	1.68 2.96 4.94	OK	314.41 × 1/30 = 10.49	AD41 0.80 × 2.00 × 1 = 1.80 SS41 5.53 × 3.65 × 1 = 20.18	1か所 1か所	1.60 20.18	OK
Total 9.58					Total 21.78				

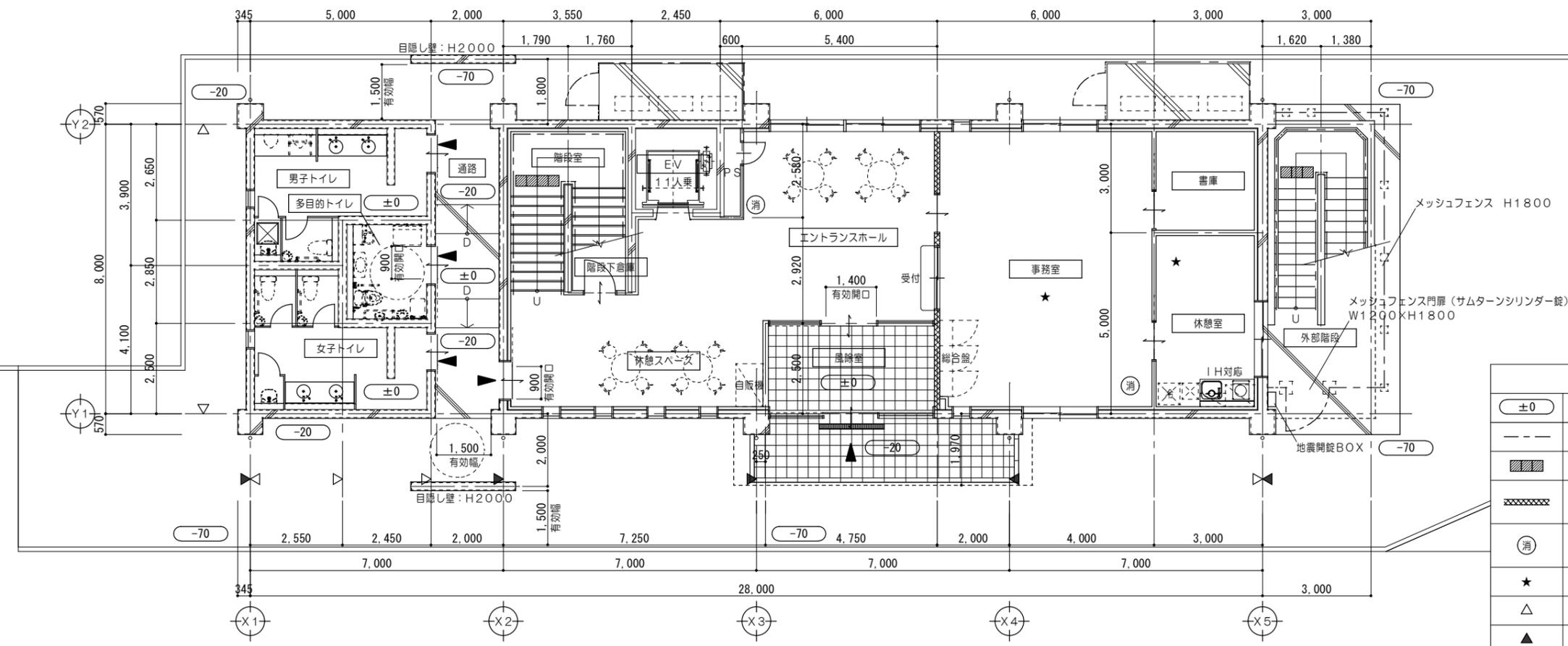
棟(階)の収容人数算定表			
【管理棟】			
階	室名	人数	判定
1	事務室	従業員数 4人	
	大会議室	118.41 ÷ 0.5 = 237人	
	小会議室	42.00 ÷ 0.5 = 84人	
Total		4人	Total 321人
【写真判定棟】			
1			
2	写真判定室 記録室	35.41 ÷ 3.0 = 12人	
Total		0人	Total 12人
【スタンド棟】			
1	事務室	49.74 ÷ 0.5 = 100人	
	多目的室1	36.78 ÷ 0.5 = 74人	
	多目的室2	36.78 ÷ 3.0 = 74人	
	Total		248人
2	観覧場	固定式イス1脚あたり 1.80 ÷ 0.40 = 4人 (小数点以下切り捨て) 4人 × 140脚 = 560人	
	Total		560人

- (註記) 消防法上の無窓階計算に算入する建具について
- ・建物内側から鍵を用いずに手動開放可能とする
 - ・引き残し等を除いた実際の有効開口部分で算定したものとする
 - ・鍵付き制限ストッパーは設置しない
 - ・消防法上の無窓階計算に算入する建具について、開口部から道に通ずる通路は幅員1m以上である





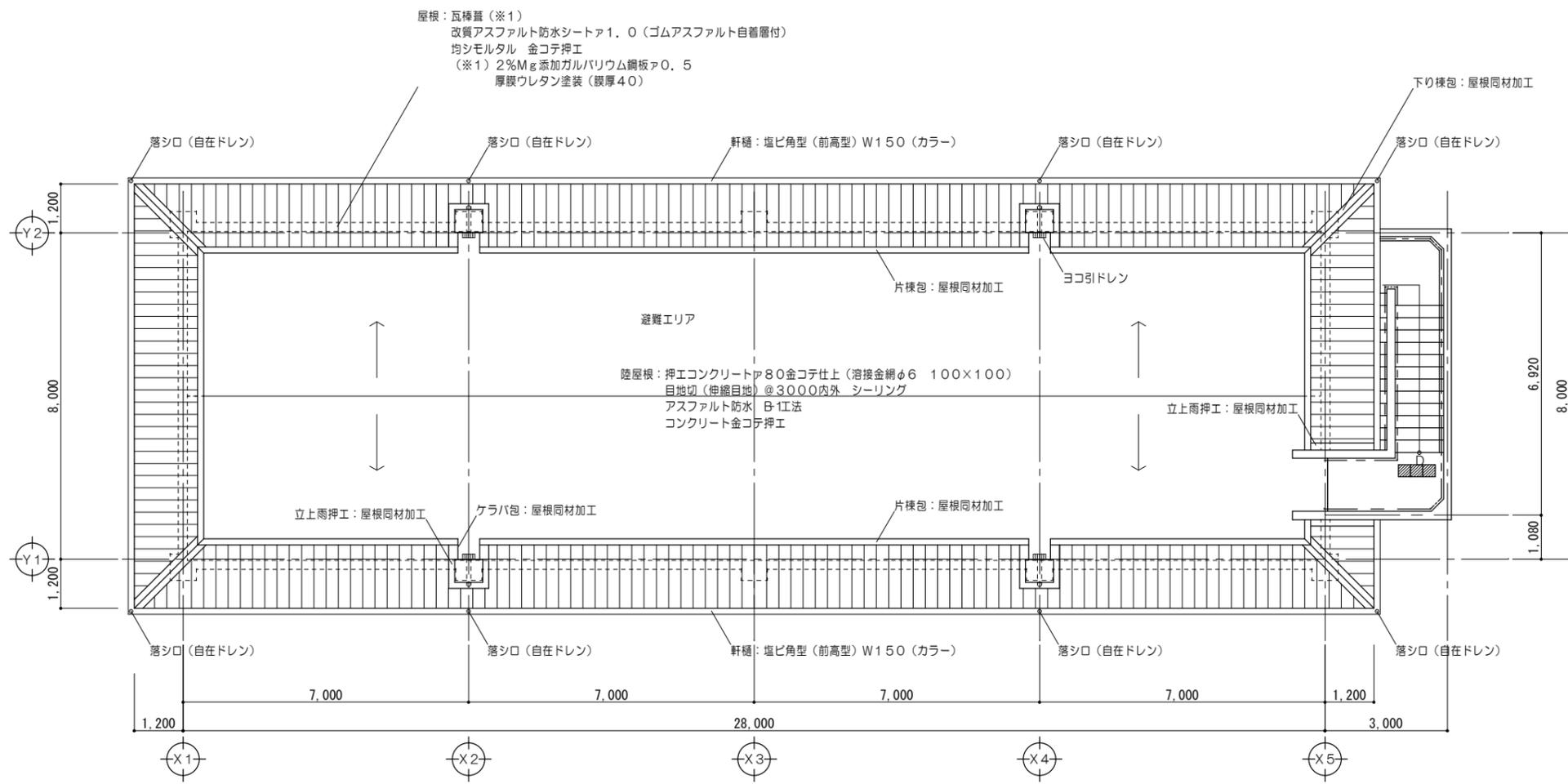
2階平面図 1/100



1階平面図 1/100

凡例	
±0	一般F.Lからの床仕上げ高さを示す (特記なき限りはF.L±0とする)
---	手すり(壁面より出100以下とする)
■	点字紙を示す
▨	遮音壁(スラブまで)を示す 強化PBA12.5+強化PBA12.5(両面) LGS下地 GW24K ヲ50
消	消火器(ABC粉末10型) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
★	室内空気汚染物質測定箇所を示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す
※建物内において火気使用なし。 建物内で危険物・指定可燃物の貯蔵及び取扱いなし。 燃料の保管はなし。	

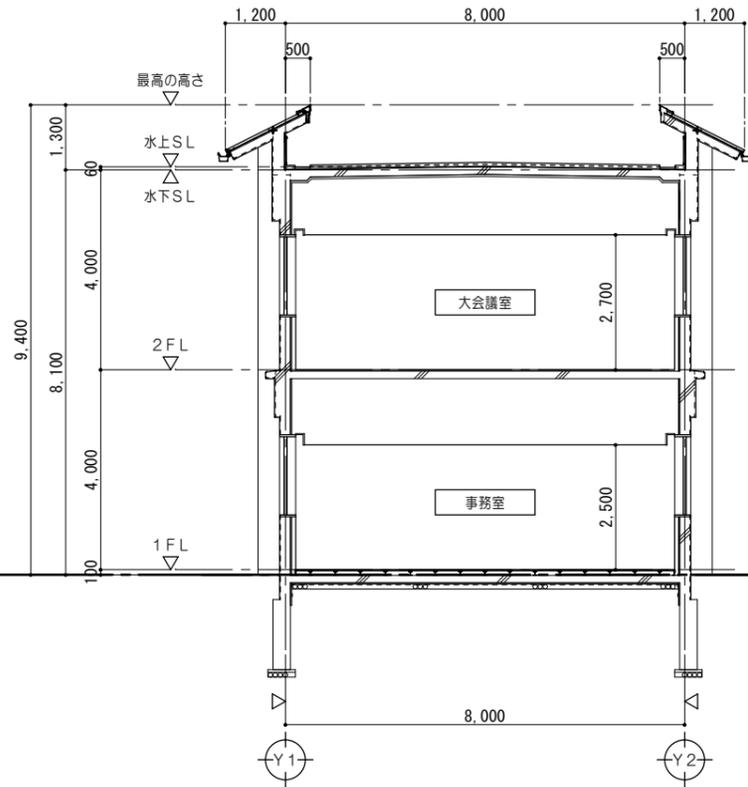
特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認 三橋 五百子	作図 加藤 早紀 検図 三橋 五百子	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【管理棟】1階平面図、2階平面図	設計日 縮尺 A2:1/100 A3:1/141	図面番号 A025 (原図:A2)
------------------	--	----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-----------------	-----------------------------	--	-----------------------------------	--------------------------------



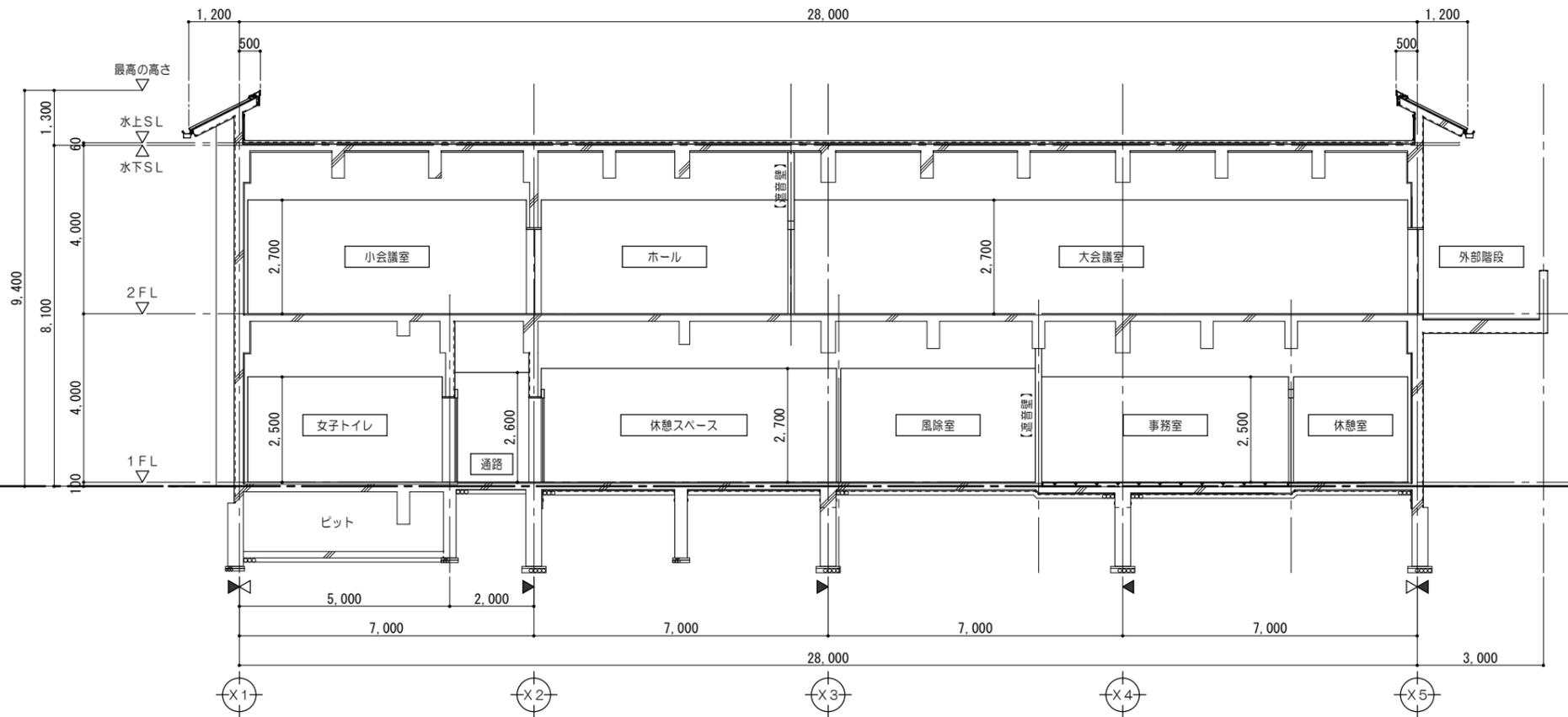
屋根伏図 1/100

特 記 事 項	<p>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</p>										<p>代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝</p>		<p>設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子</p>		<p>設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃</p>		<p>設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作</p>		<p>法適合確認</p>		<p>作図 加藤 早妃 監図 三橋 五百子</p>		<p>工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【①管理棟】屋根伏図</p>		<p>設計日</p>	
											<p>縮尺 A2:1/100 A3:1/141</p>		<p>図面番号 A026 (原図:A2)</p>													

設計GL=1.650

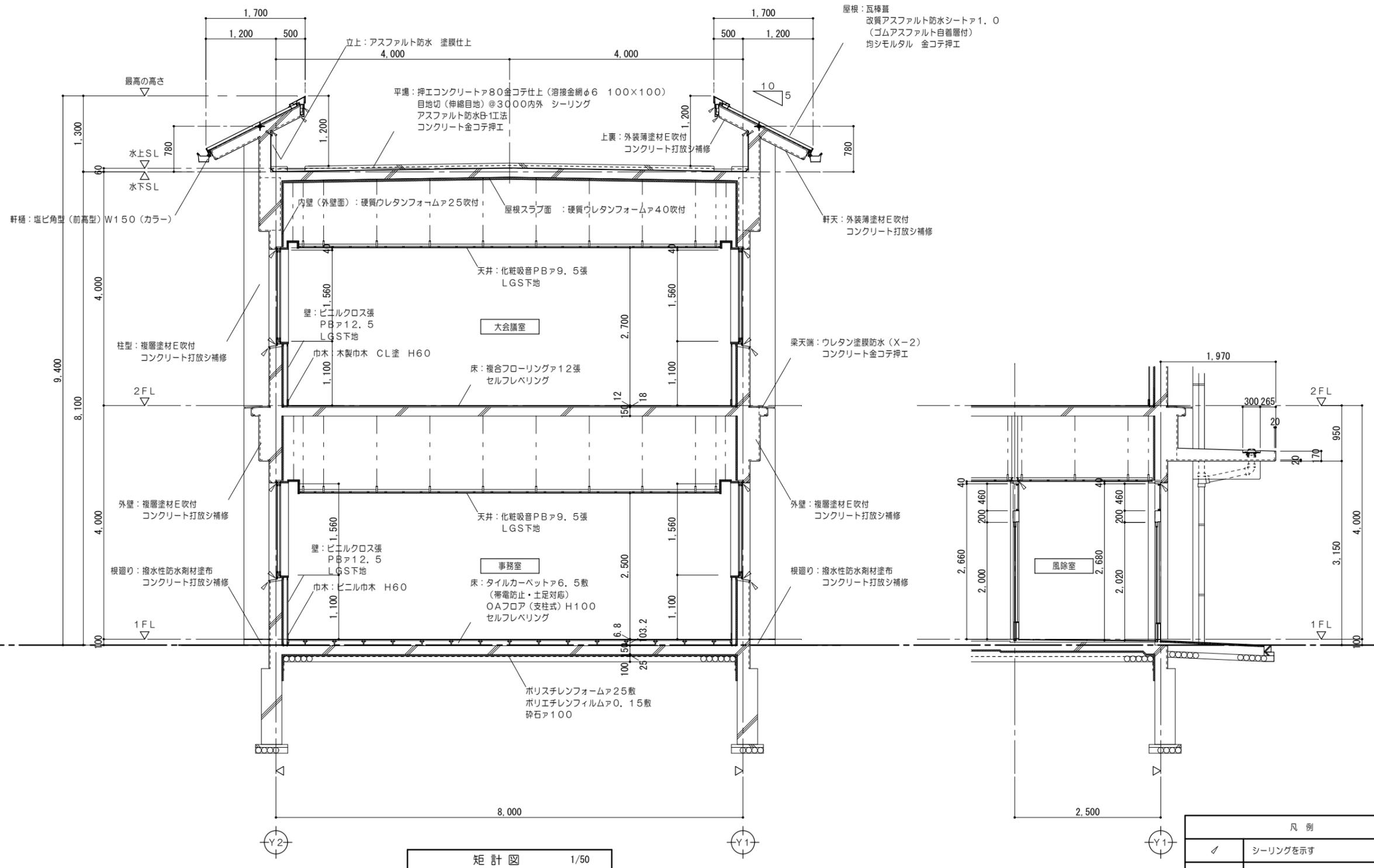


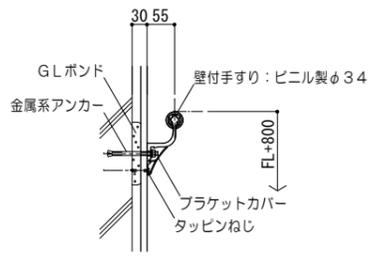
設計GL=1.650



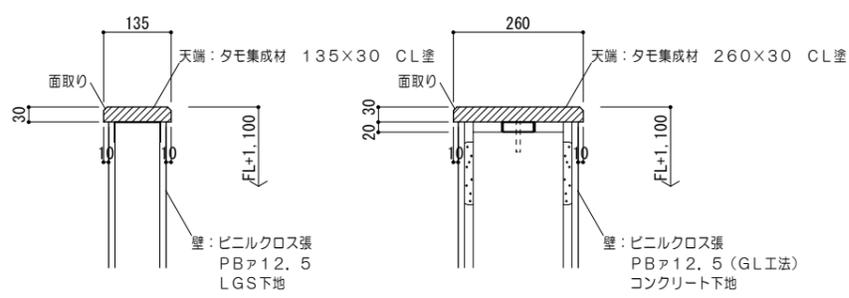
断面図 1/100

特 記 事 項	 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図  校印  監図  三橋 五百子	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【①管理棟】断面図	設計日
	縮尺 A2:1/100 A3:1/141									

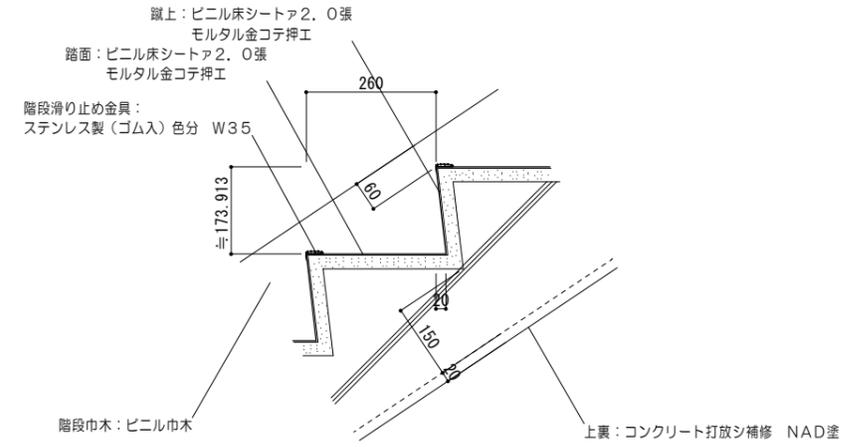




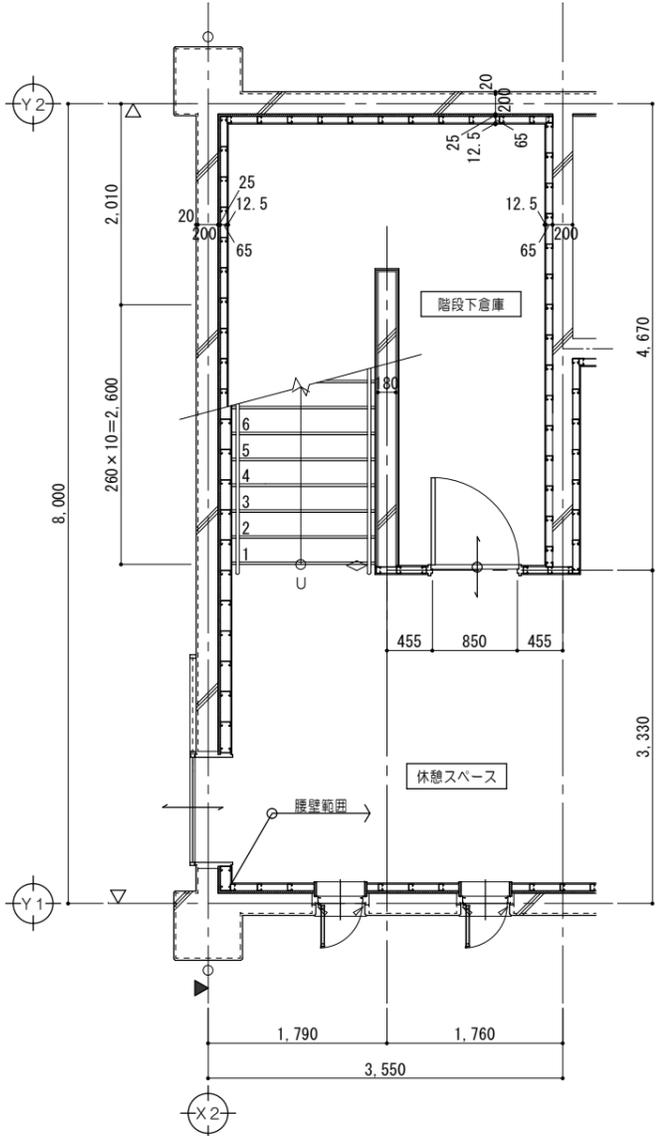
手すり詳細図 1/10



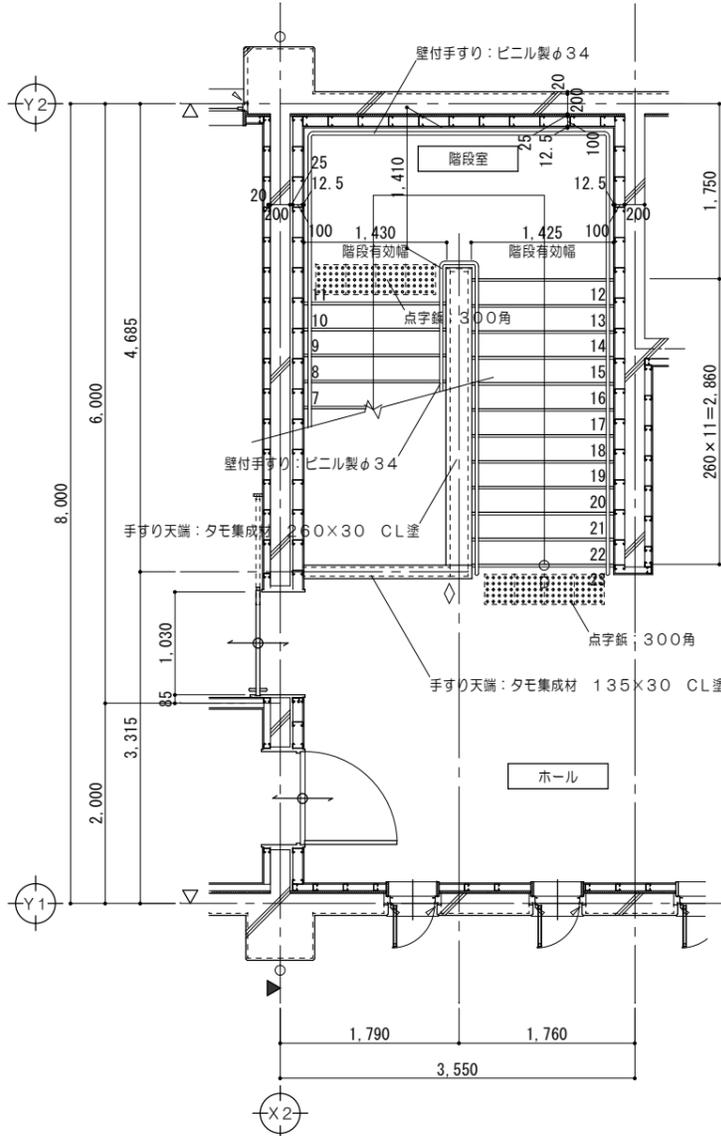
手すり天端詳細図 1/10



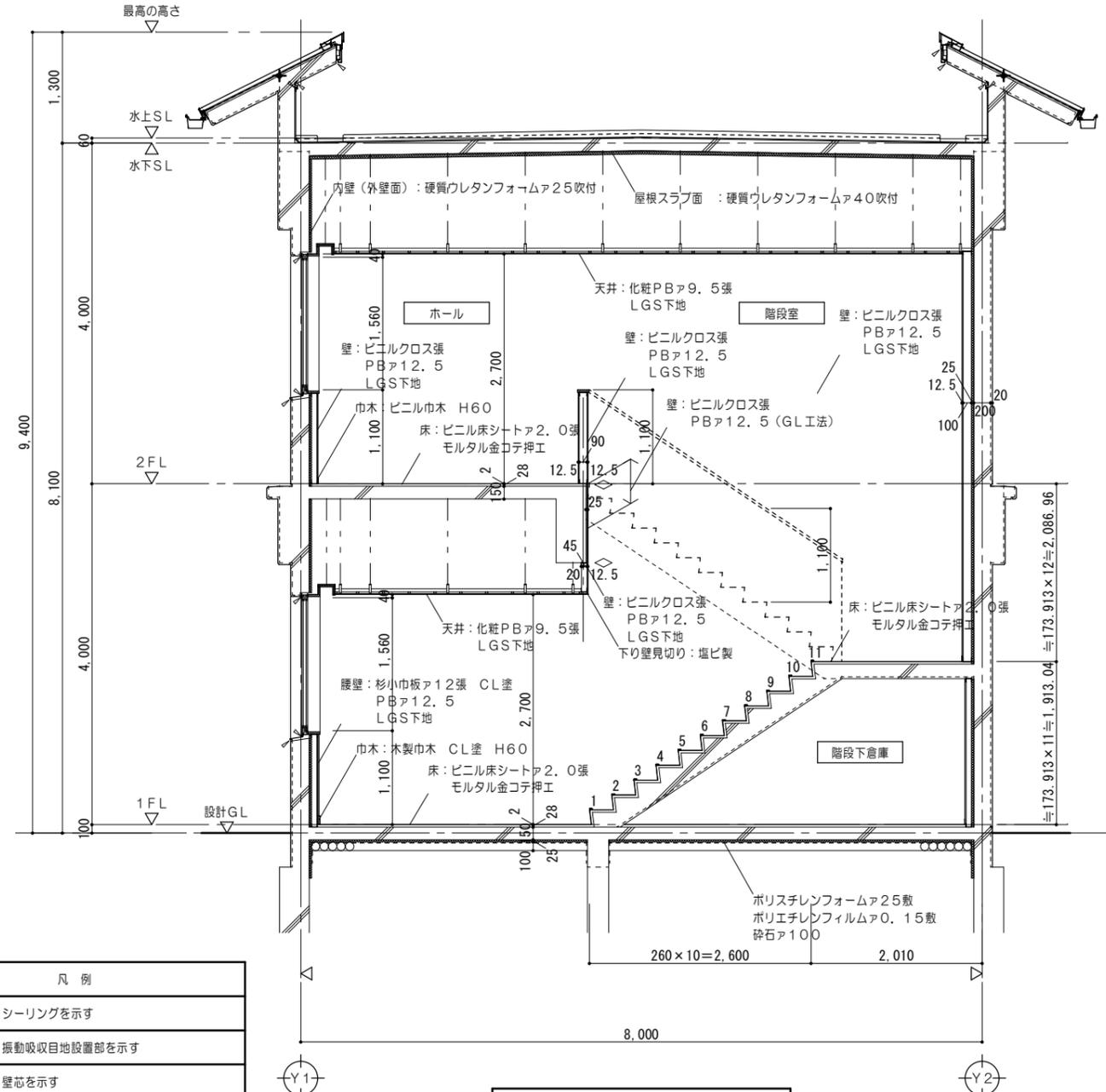
段部詳細図 1/10



1階平面詳細図 1/50

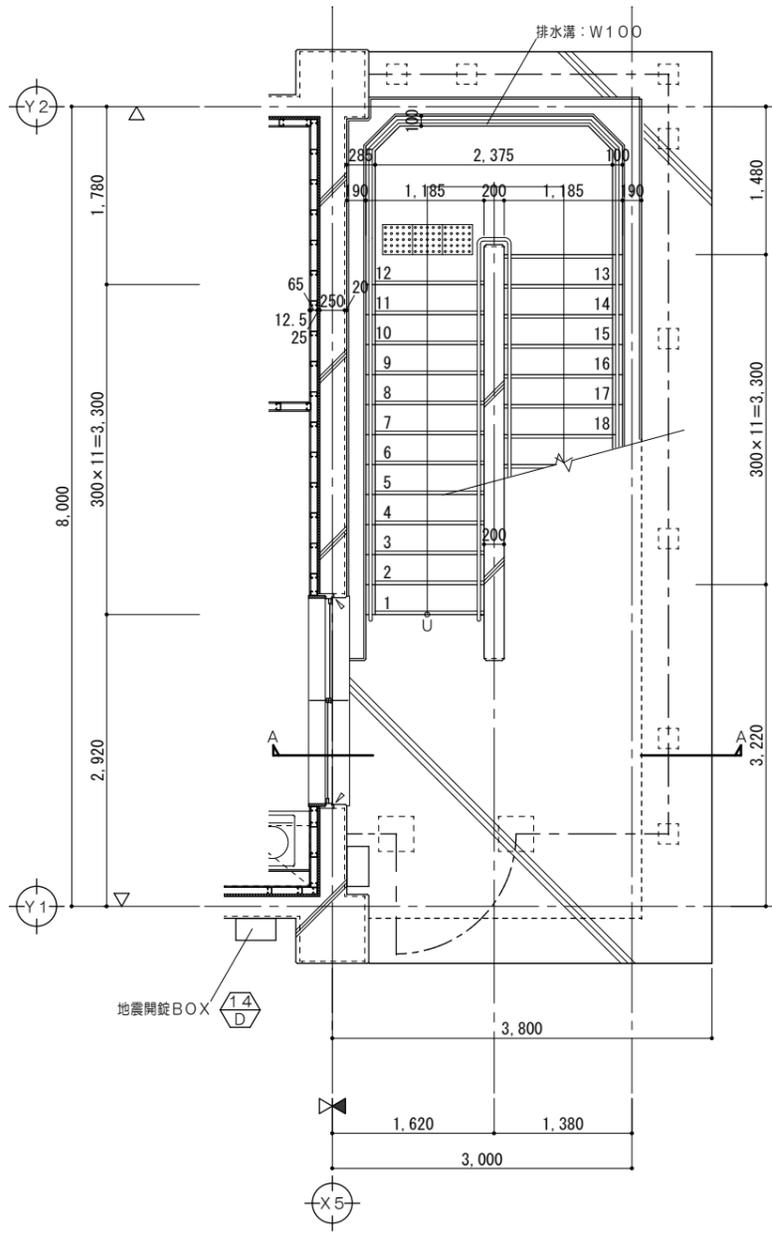


2階平面詳細図 1/50

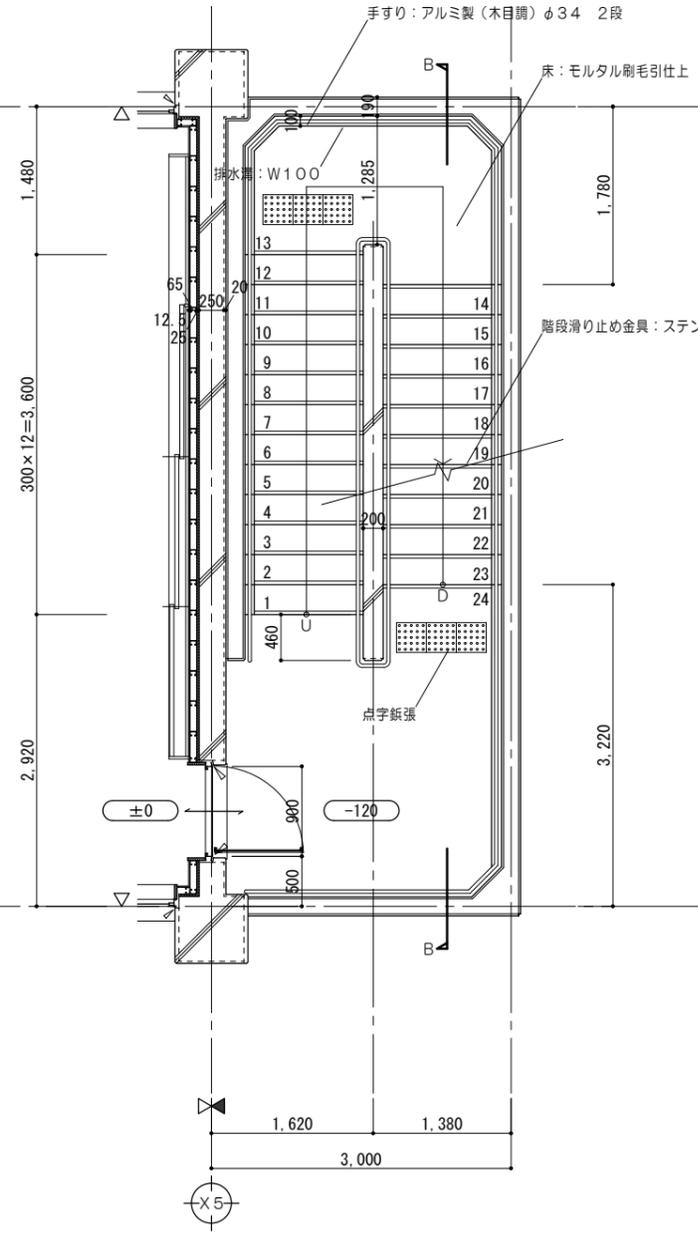


階段断面詳細図 1/50

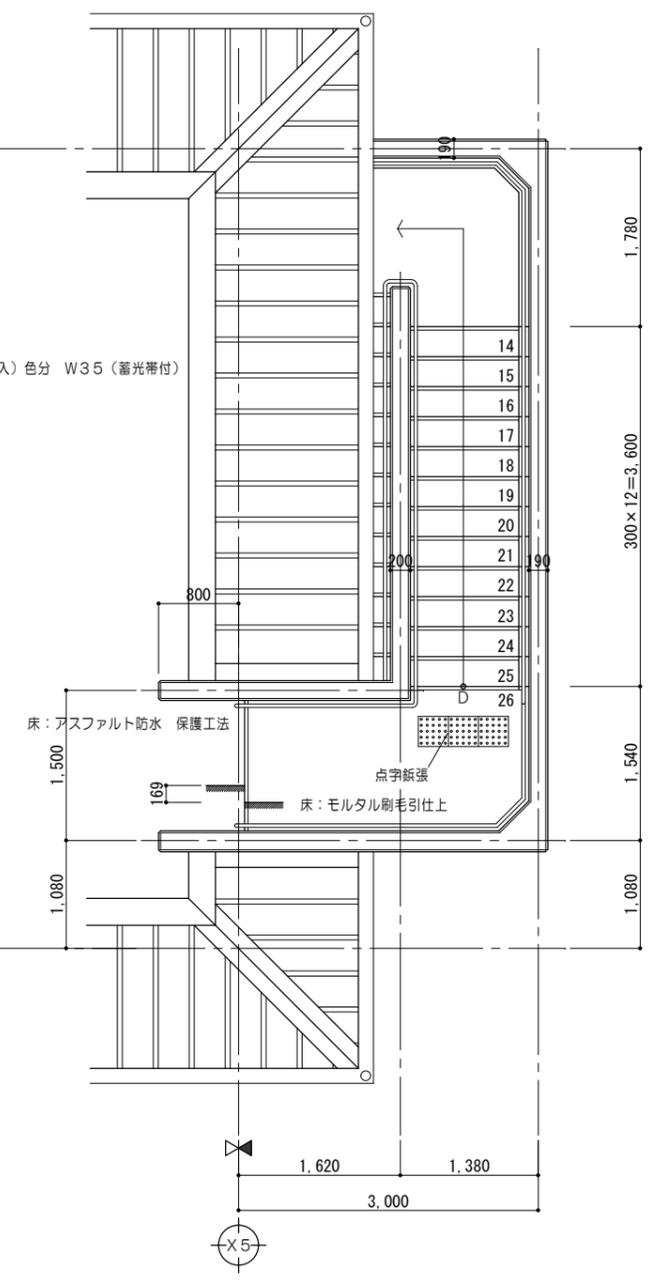
凡例	
✓	シーリングを示す
◇	振動吸収自地設置部を示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す



1階平面詳細図 1/50

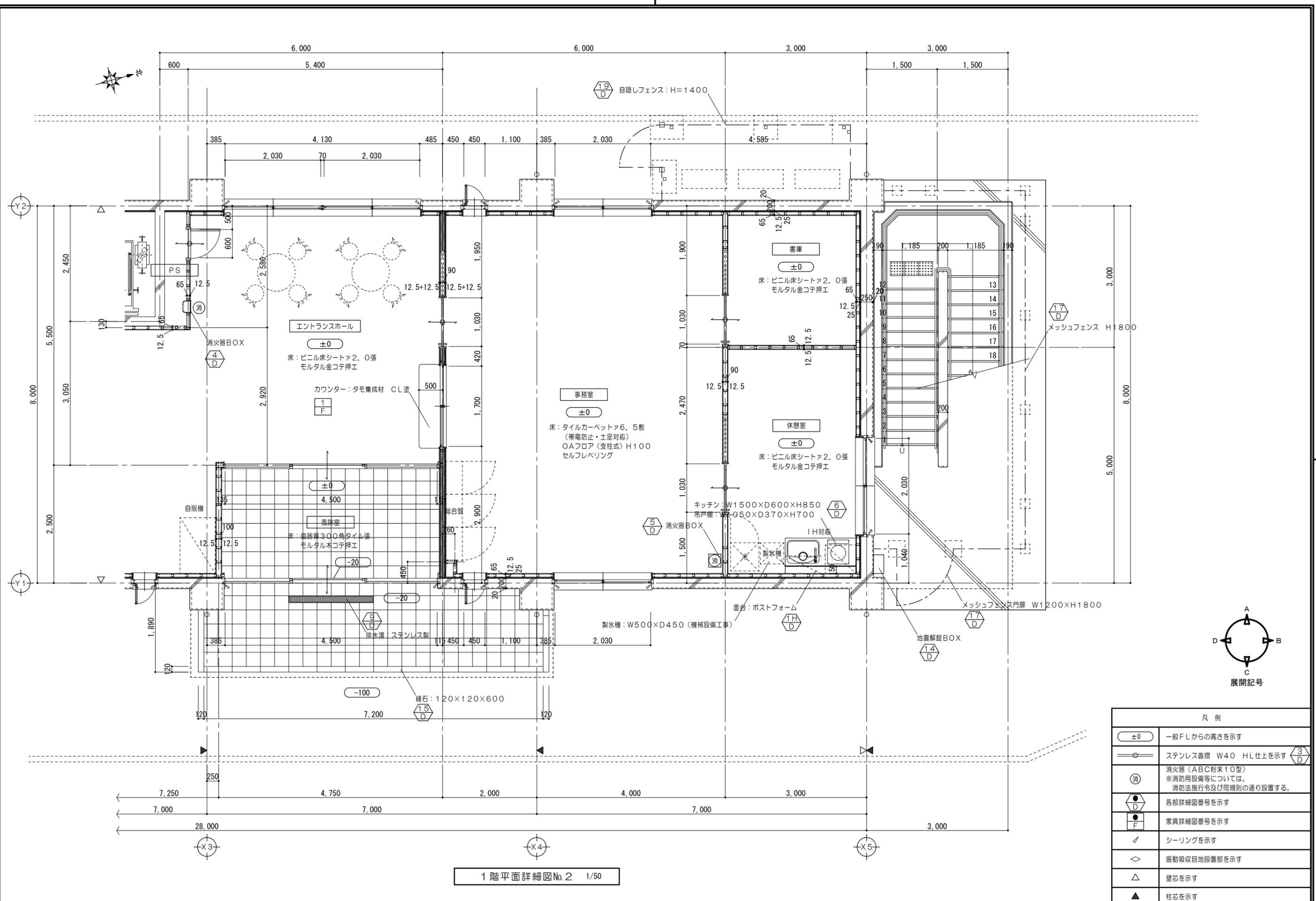


2階平面詳細図 1/50

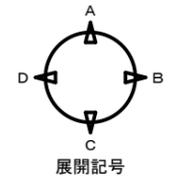


屋上平面詳細図 1/50

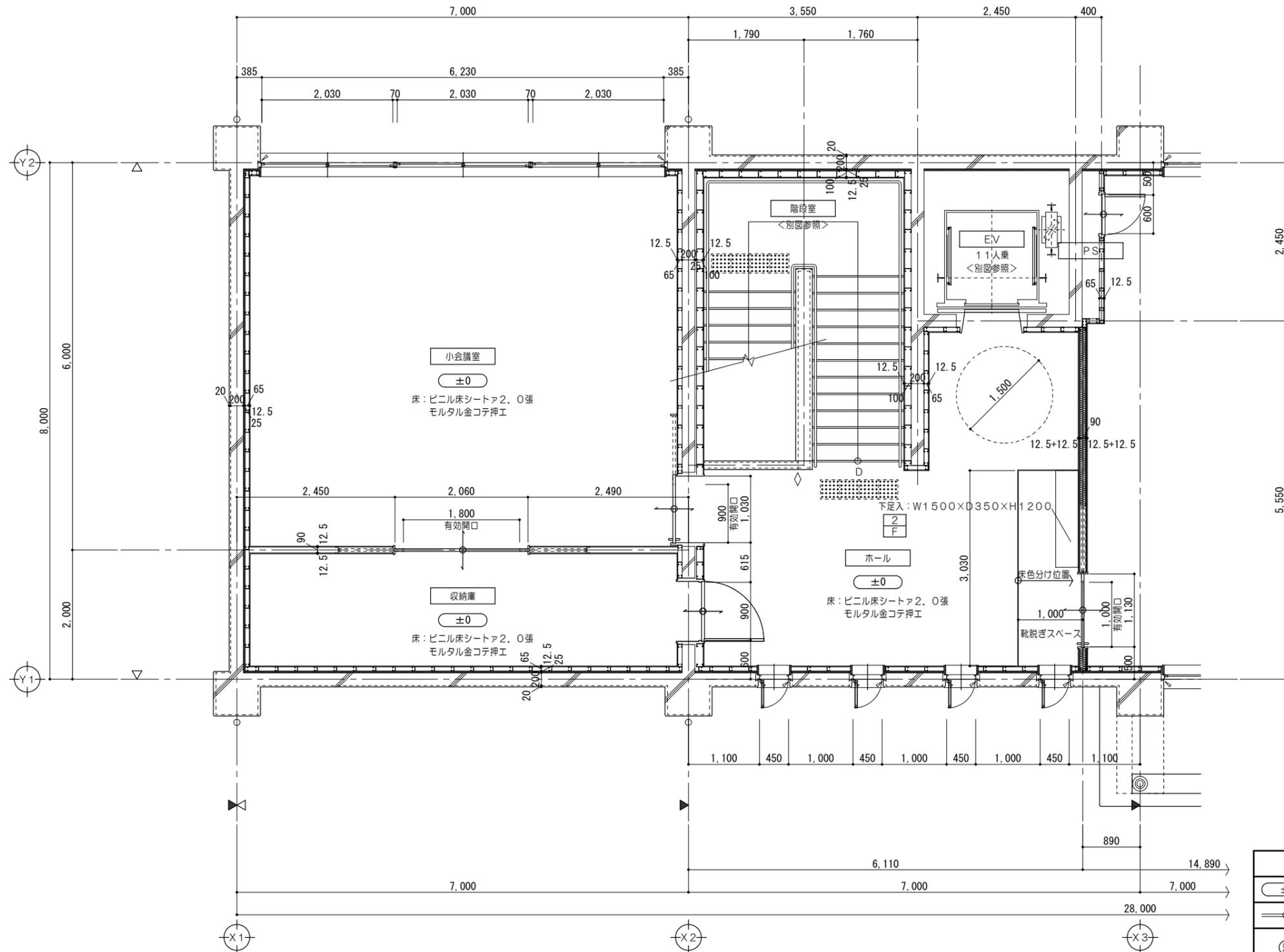
特 記 事 項	管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 加藤 早妃	校印 三橋 五百子	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	図面番号 A031 (原図:A2)	設計日
		株式会社 前野建築設計	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号								【①管理棟】外部階段平面詳細図	縮尺 A2:1/50 A3:1/71



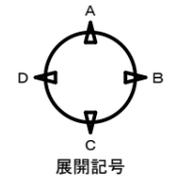
1階平面詳細図No.2 1/50



凡例	
±0	一般FLからの高さを示す
○	ステンレス番付 W40 HL仕上を示す (3/D)
消	消火器 (ABC粉末10型) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
● (D)	各部詳細図番号を示す
● (F)	家具詳細図番号を示す
∕	シーリングを示す
◇	振動吸収目地設置部を示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す

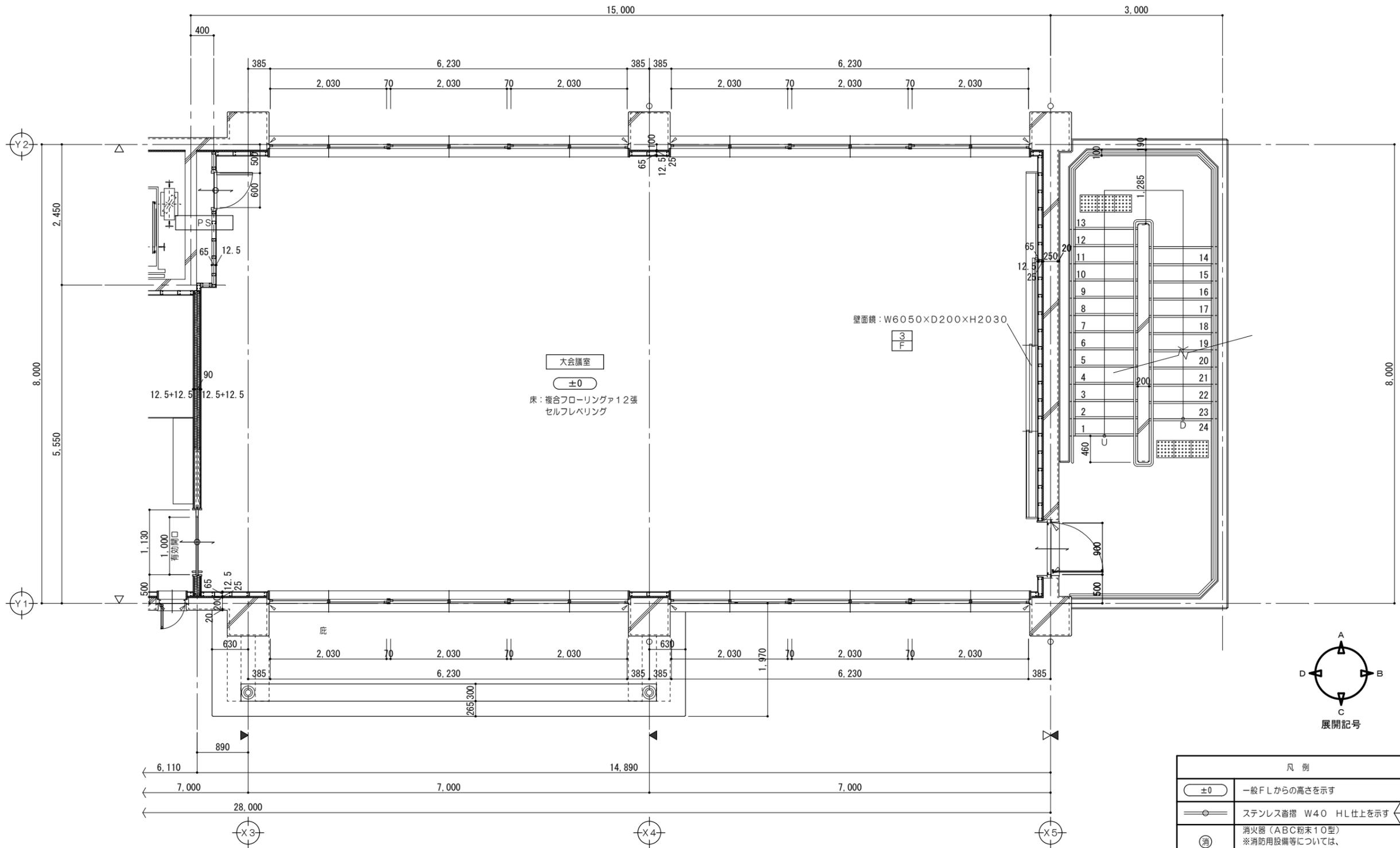


2階平面詳細図No.1 1/50

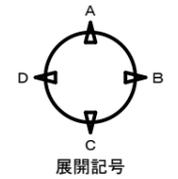


凡例	
±0	一般FLからの高さを示す
—○—	ステンレス番摺 W40 HL仕上を示す 3 D
消	消火器 (ABC粉末10型) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
● D	各部詳細図番号を示す
● F	家具詳細図番号を示す
↙	シーリングを示す
◇	振動吸収目地設置部を示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す

特 記 事 項	管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認	作図 加藤 早妃	校印 前野 将輝	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
	【①管理棟】2階平面詳細図No.1	縮尺 A2:1/50 A3:1/71	図面番号 A035 (原図:A2)							

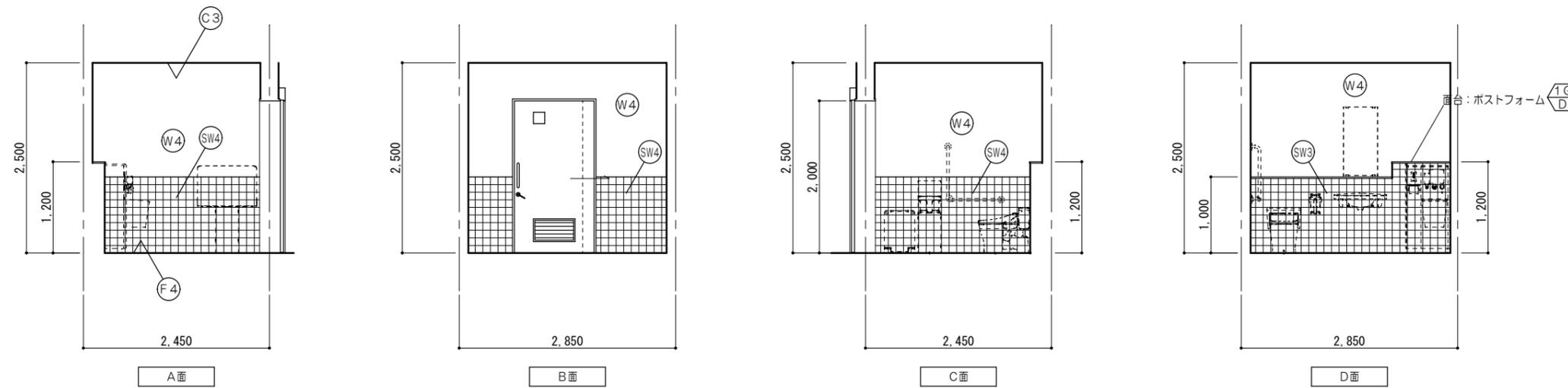


2階平面詳細図No.2 1/50



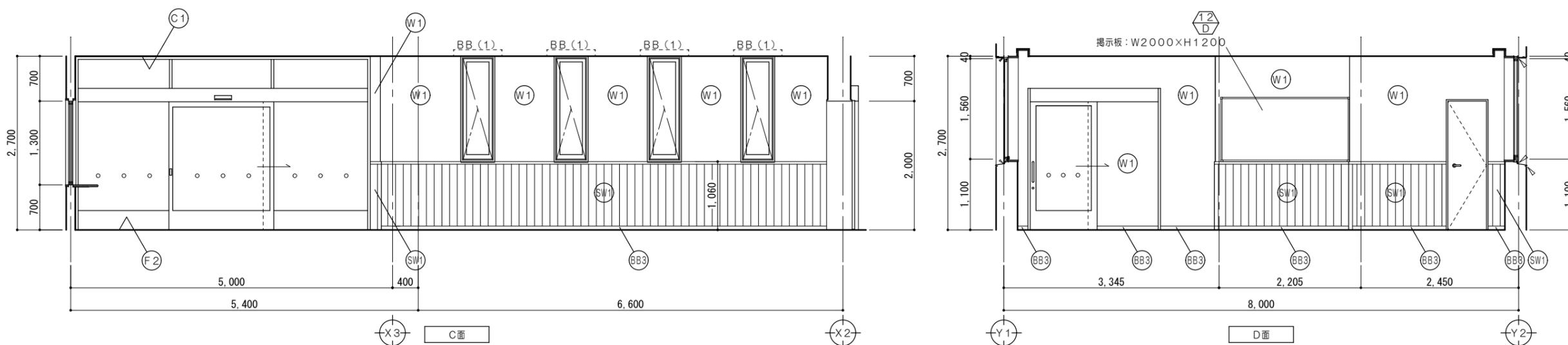
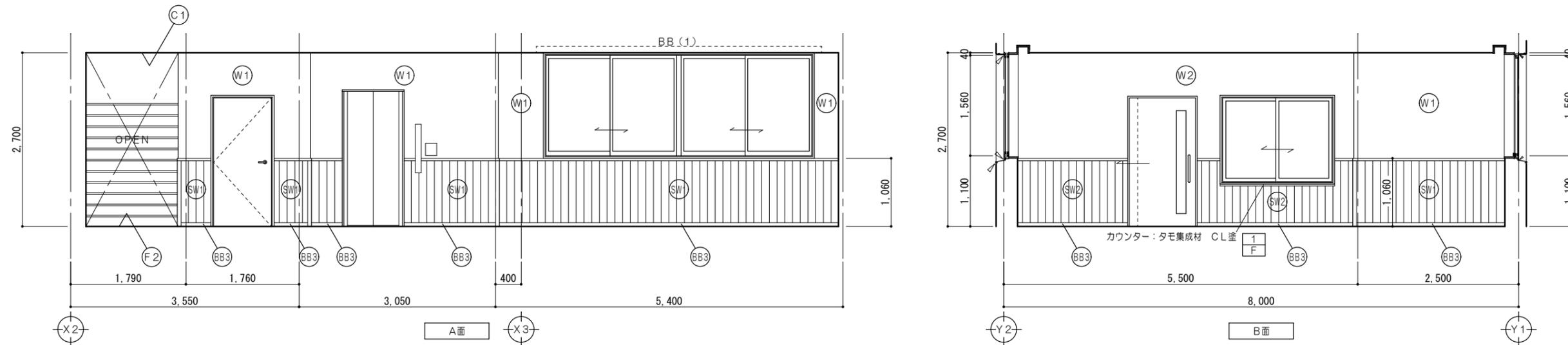
凡例	
±0	一般FLからの高さを示す
○	ステンレス番棒 W40 HL仕上を示す (3/D)
消	消火器(ABC粉末10型) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
◇	各部詳細図番号を示す
●	家具詳細図番号を示す
↗	シーリングを示す
◇	振動吸収目地設置部を示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す

1階 多目的トイレ 1/50



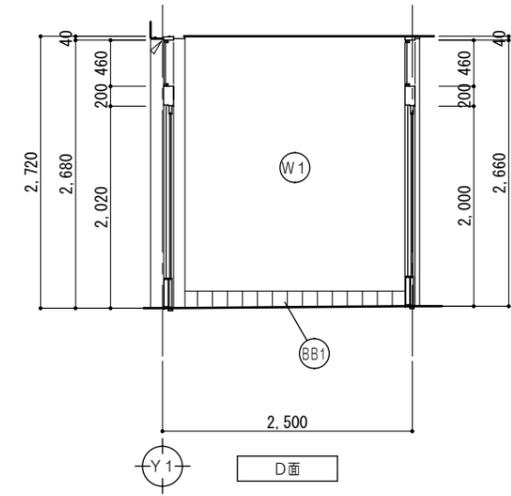
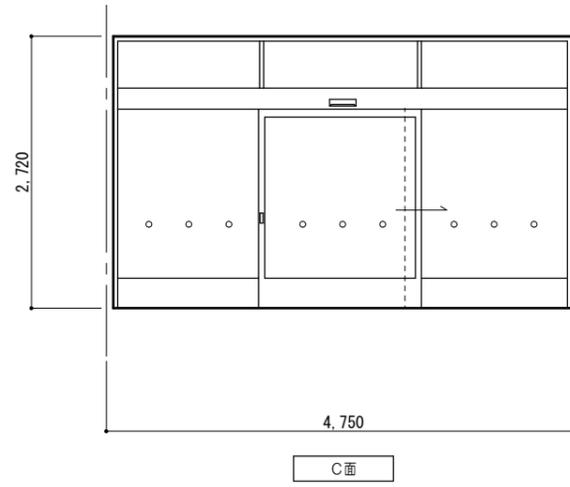
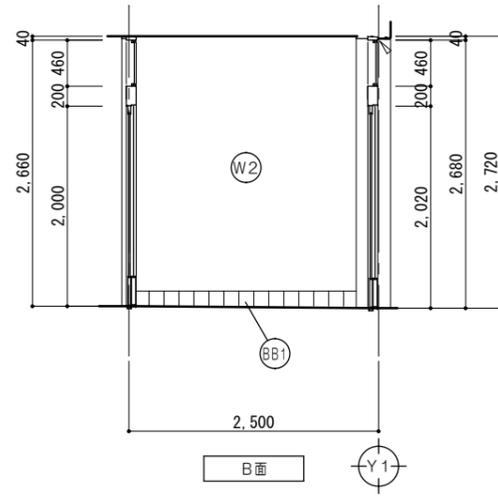
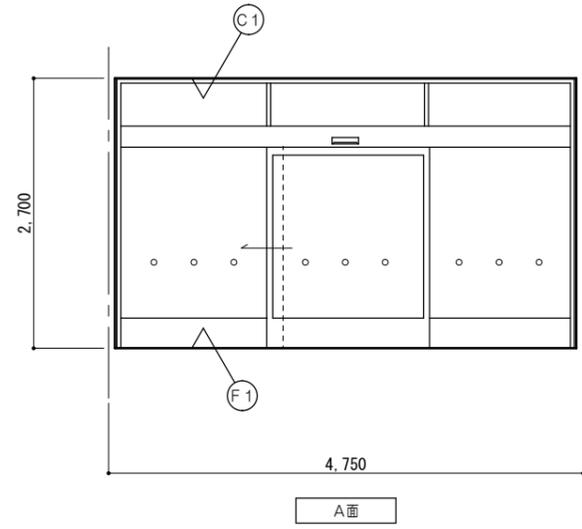
仕上凡例	
(F2)	床 : ビニル床シート2.0張 モルタル金コテ押工
(F4)	床 : 磁器質100角タイル張 モルタル木コテ
(BB3)	巾木 : 木製巾木 CL塗 H=60
(SW1)	腰壁 : 杉小巾板12張 CL塗 LGS下地
(SW2)	腰壁 : 遮音壁 (スラブまで)
(SW3)	腰壁 : 磁器質100角タイル張 モルタル木コテ CB下地
(SW4)	腰壁 : モルタル木コテ コンクリート下地
(W1)	壁 : PBア12.5 LGS下地
(W2)	壁 : ビニルクロス張 遮音壁 (スラブまで)
(W4)	壁 : コンクリート打放シ補修 NAD塗
(C1)	天井 : 化粧PBア9.5張 LGS下地
(C3)	天井 : ケイカル板ア6 EP塗 LGS下地

1階 休憩スペース・エントランスホール 1/50

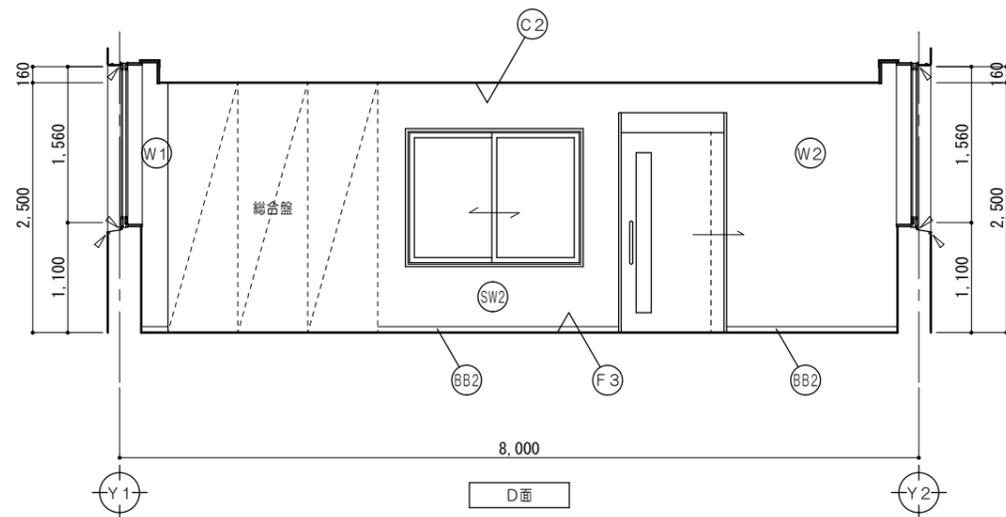
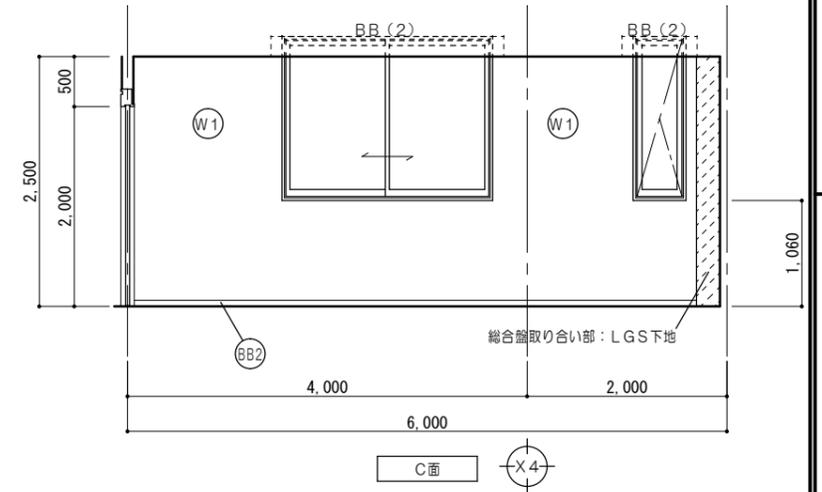
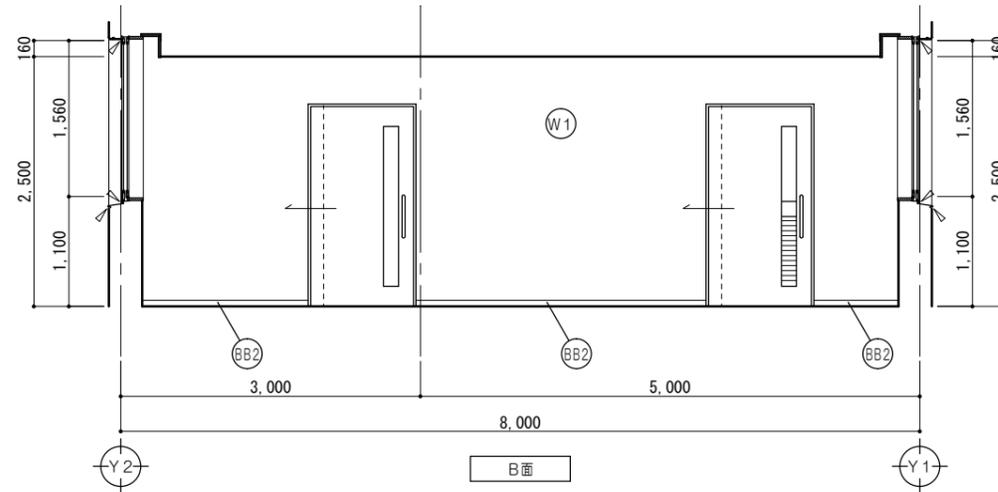
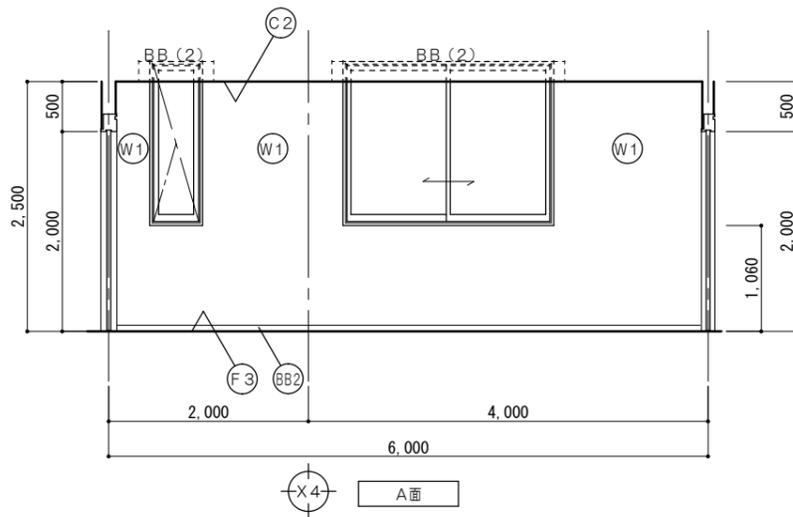


特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認	作図 加藤 早妃	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	縮尺 A2:1/50 A3:1/71	設計日
	図面名称 【①管理棟】 休憩スペース・エントランスホール	図面番号 A038 (原図:A2)								

1階 風除室 1/50

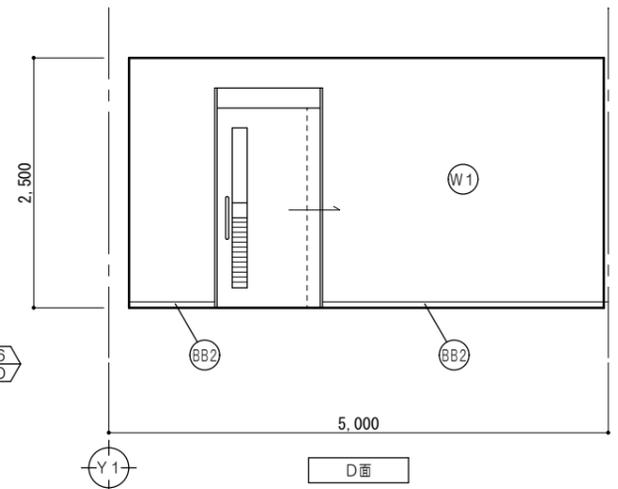
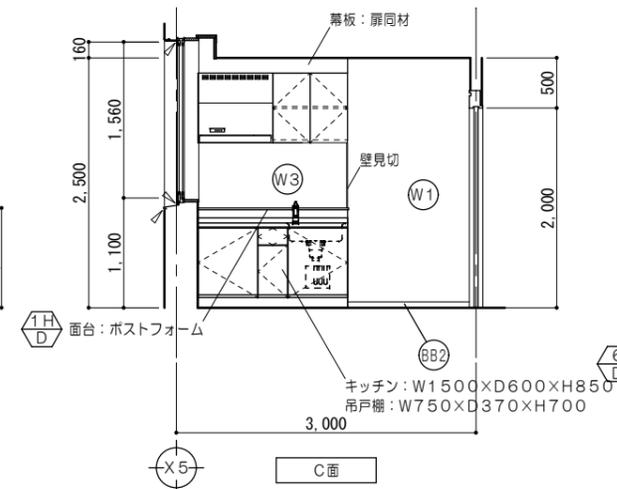
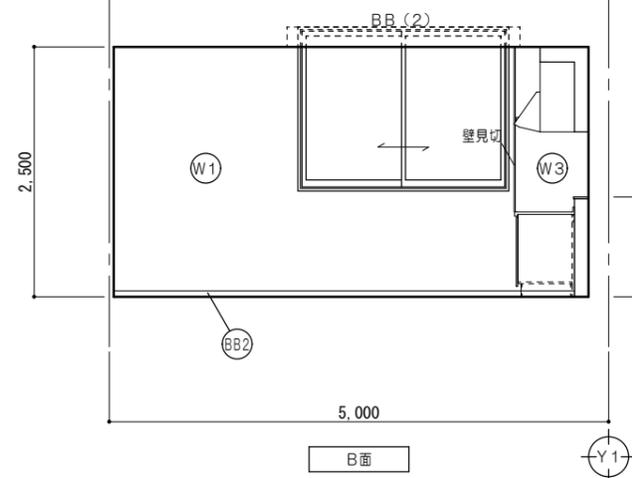
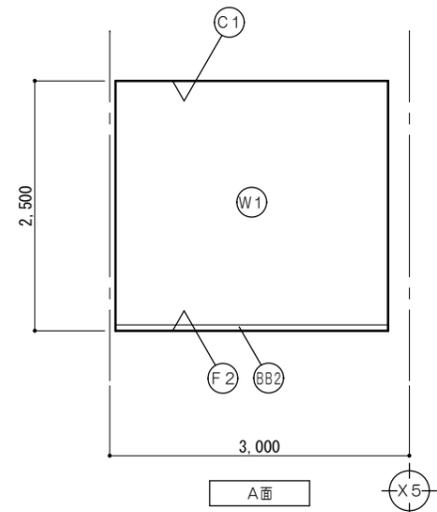
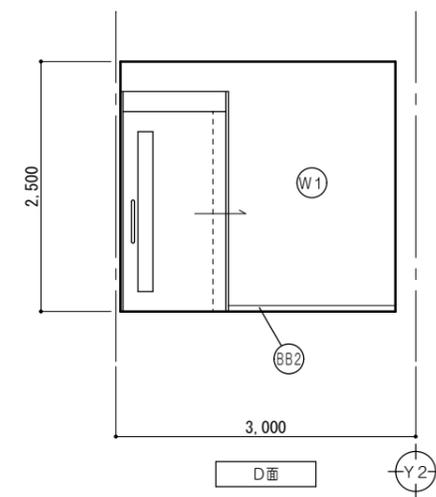
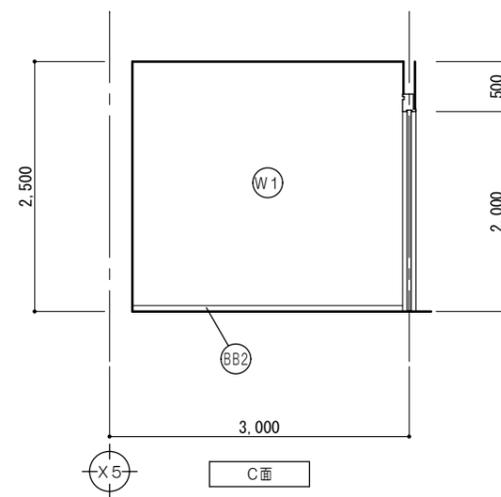
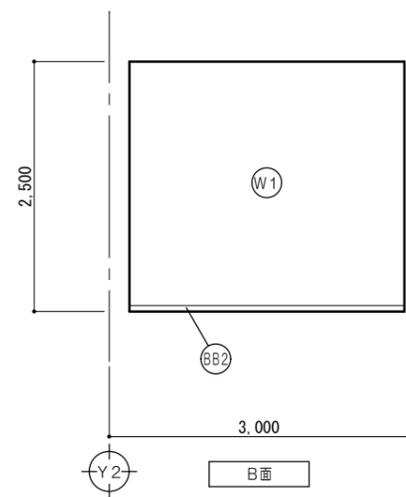
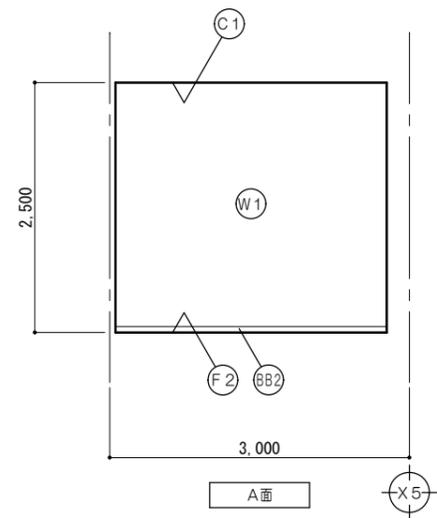


1階 事務室 1/50

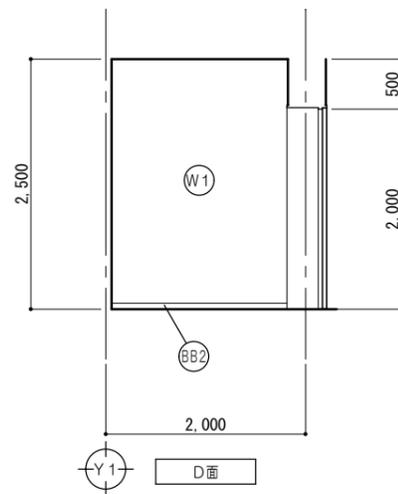
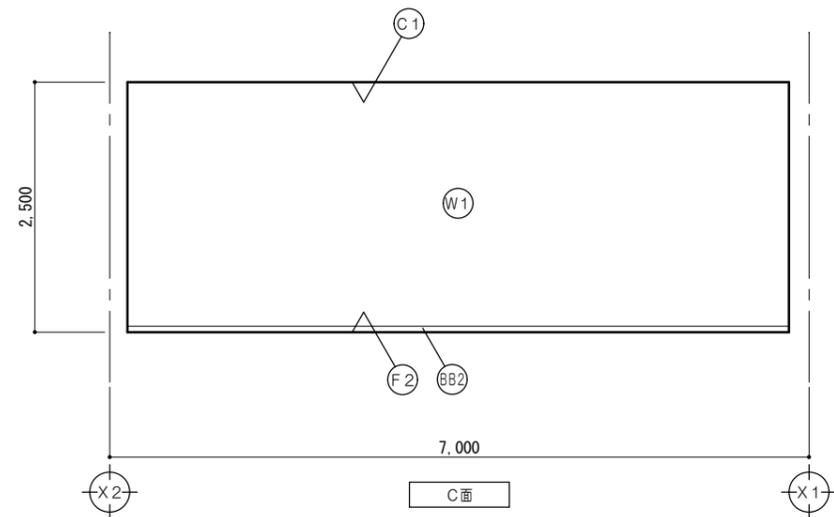
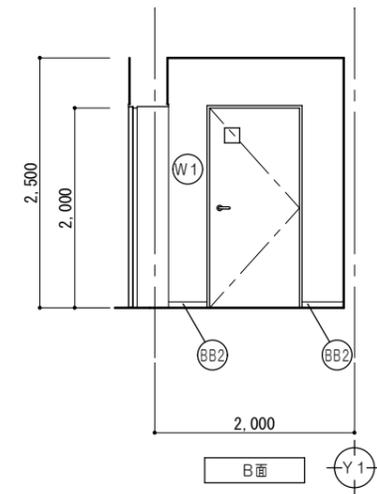
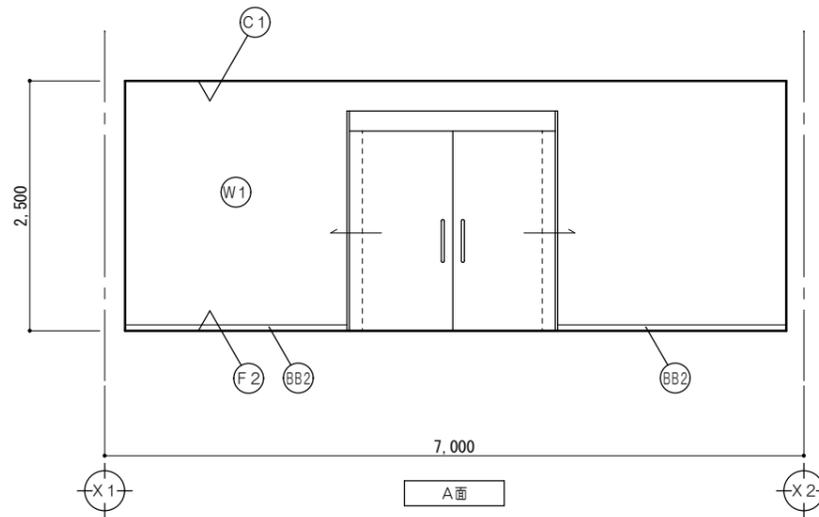
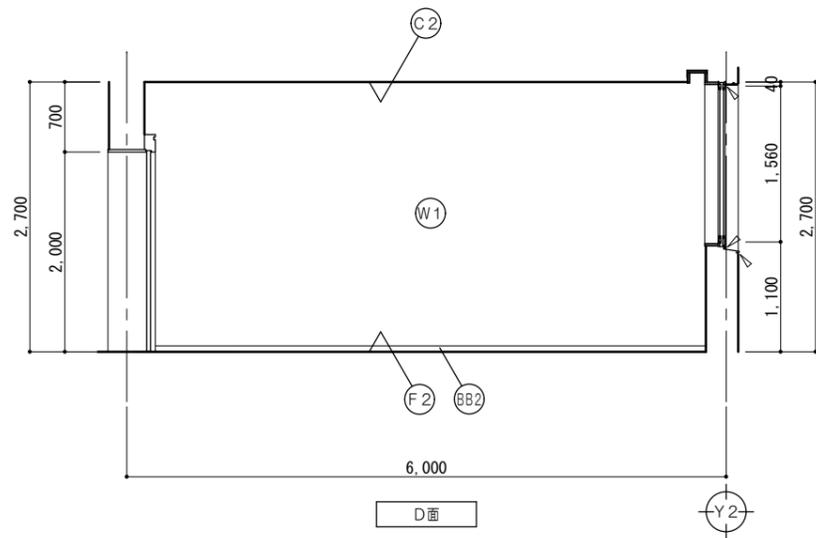
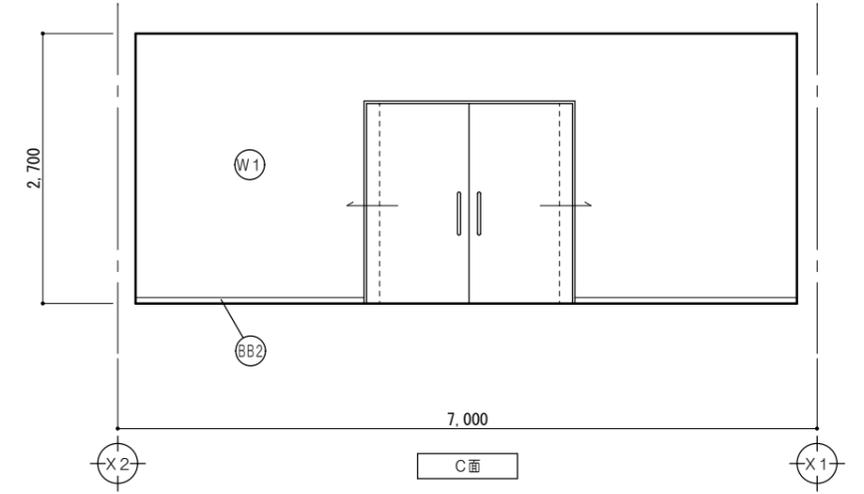
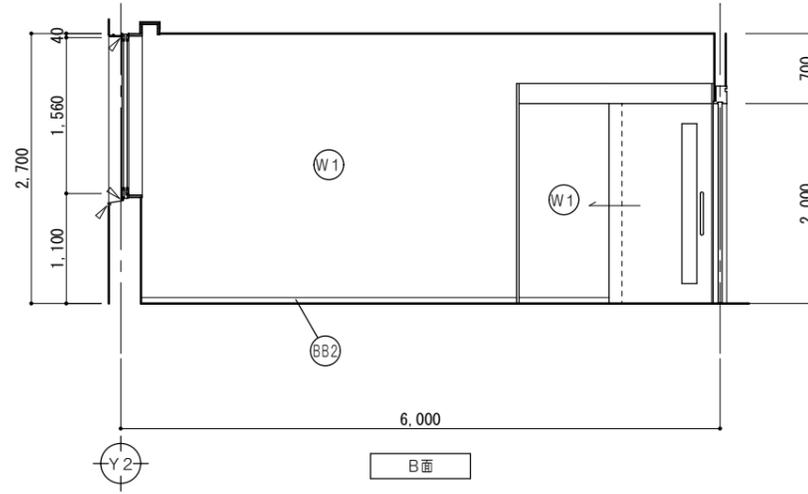
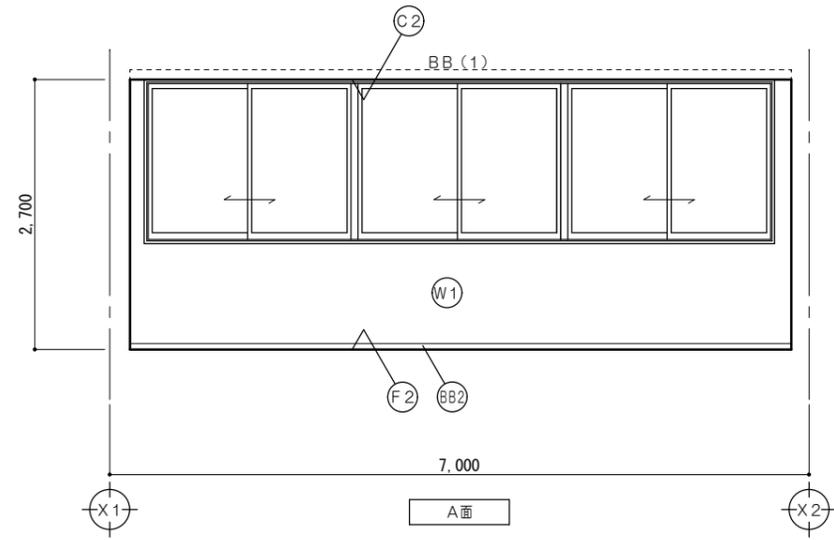


仕上凡例	
(F1)	床 : 磁器質300角タイル張 モルタル木コテ押工 タイルカーベッタ6、5敷
(F3)	床 : (帯電防止・土足対応) OAフロア(支柱式) H100 セルフレベリング
(BB1)	巾木 : 磁器質150角タイル張 H=150
(BB2)	巾木 : ビニル巾木 H=60
(SW1)	腰壁 : PBア12.5 LGS下地
(SW2)	腰壁 : 遮音壁(スラブまで) ビニルクロス張
(W1)	壁 : PBア12.5 LGS下地
(W2)	壁 : ビニルクロス張 遮音壁(スラブまで)
(C1)	天井 : 化粧PBア9.5張 LGS下地
(C2)	天井 : 化粧吸音PBア9.5張 LGS下地

特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 加藤 早妃 校印 三橋 五百子	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【①管理棟】1階展開図No.3 (風除室、事務室)	縮尺 A2:1/50 A3:1/71	設計日 図面番号 A039 (原図:A2)
	備考欄										



仕上凡例	
(F2)	床 : ビニル床シート2.0張 モルタル金コテ押工
(BB2)	巾木: ビニル巾木 H=60
(W1)	壁 : ビニルクロス張 PBア12.5 LGS下地
(W3)	壁 : 抗菌メラミン不燃化粧板ア3張 PBア12.5 LGS下地
(C1)	天井: 化粧PBア9.5張 LGS下地



仕上凡例	
(F2)	床 : ビニル床シート2.0張 モルタル金コテ押工
(BB2)	巾木 : ビニル巾木 H=60
(W1)	壁 : ビニルクロス張 PBア12.5 LGS下地
(C1)	天井 : 化粧PBア9.5張 LGS下地
(C2)	天井 : 化粧吸音PBア9.5張 LGS下地

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
前野建築設計
 株式会社
 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

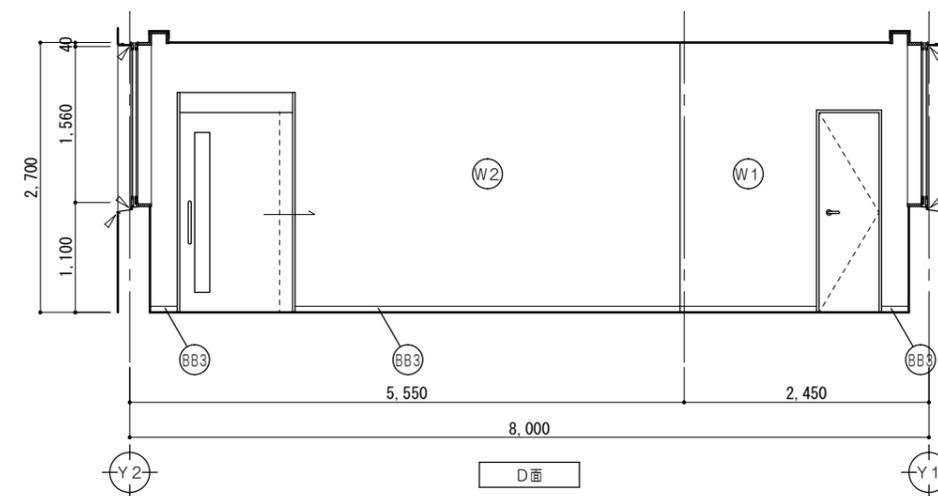
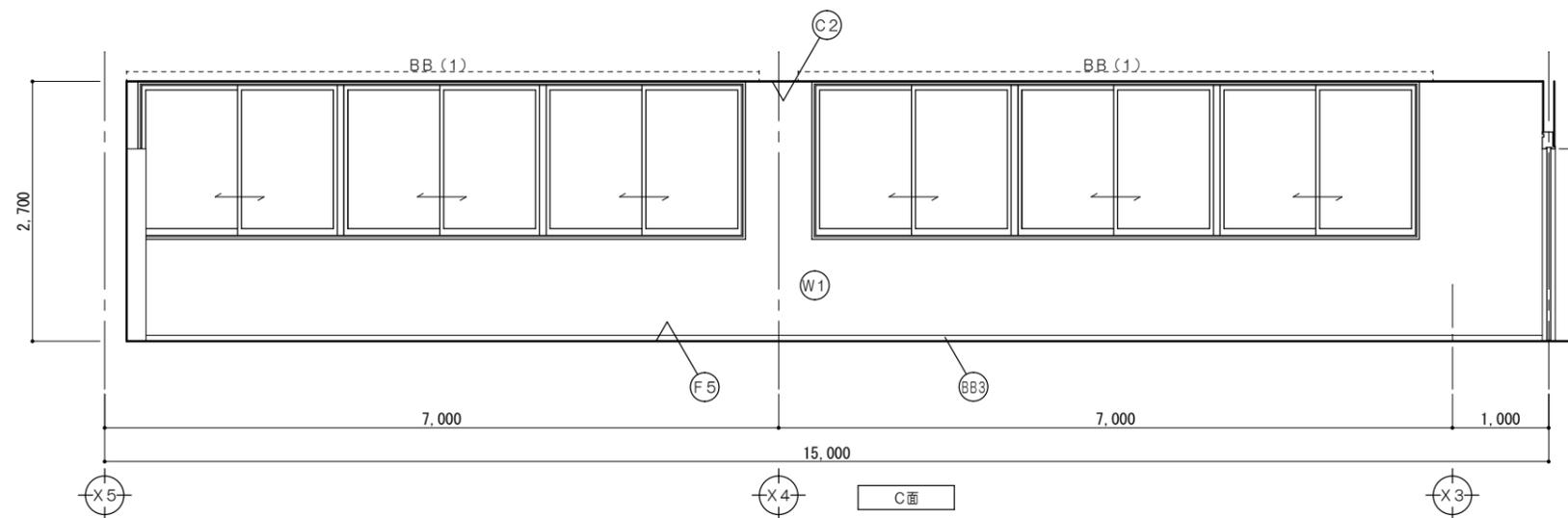
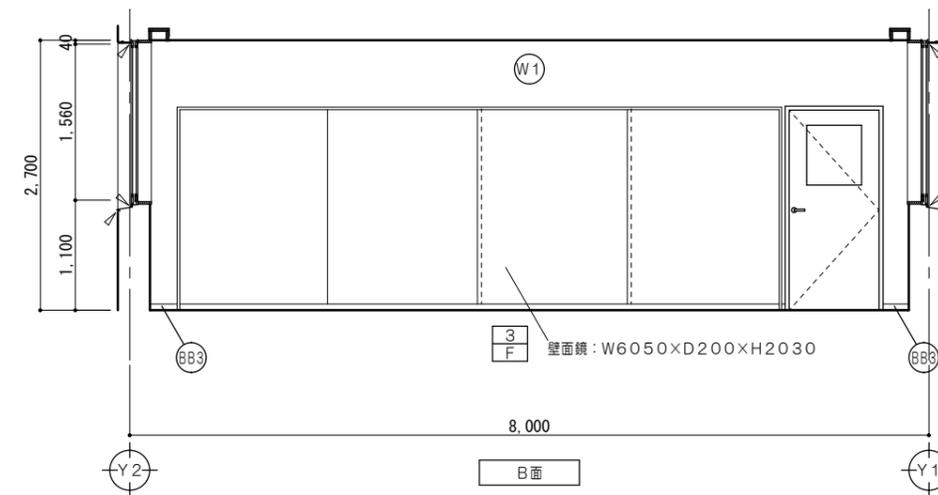
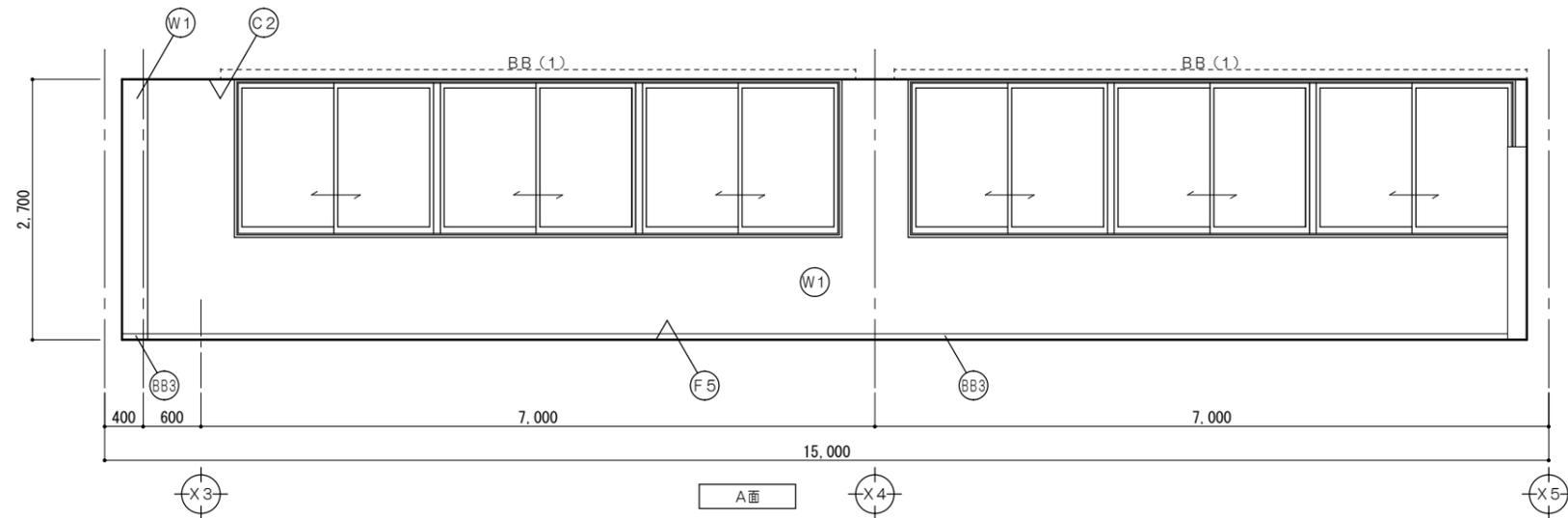
代表設計者 一級建築士 第307846号 前野 将輝
 設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子
 設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃
 設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作

法適合確認

作図
 加藤 早妃
 監図
 前野 将輝

工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事
 図面名称 【①管理棟】2階展開図No.1 (小会議室、収納庫)
 縮尺 A2:1/50
 A3:1/71

設計日
 図面番号 A041 (原図:A2)



仕上凡例	
(F5)	床 : 複合フローリングα12張 セルフレベリング
(BB3)	巾木 : 木製巾木 CL塗 H=60
(W1)	壁 : ビニルクロス張 PBα12.5 LGS下地
(W2)	壁 : ビニルクロス張 遮音壁 (スラブまで)
(C2)	天井 : 化粧吸音PBα9.5張 LGS下地

特記事項

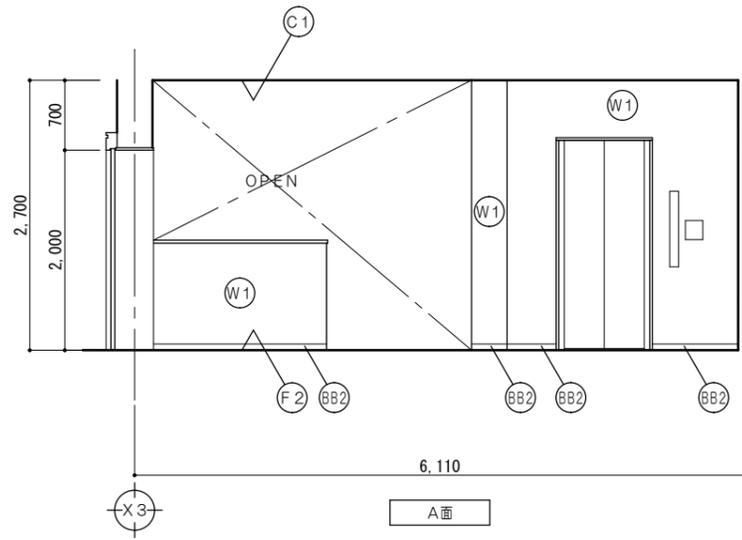
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝
 設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子
 設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃
 設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作

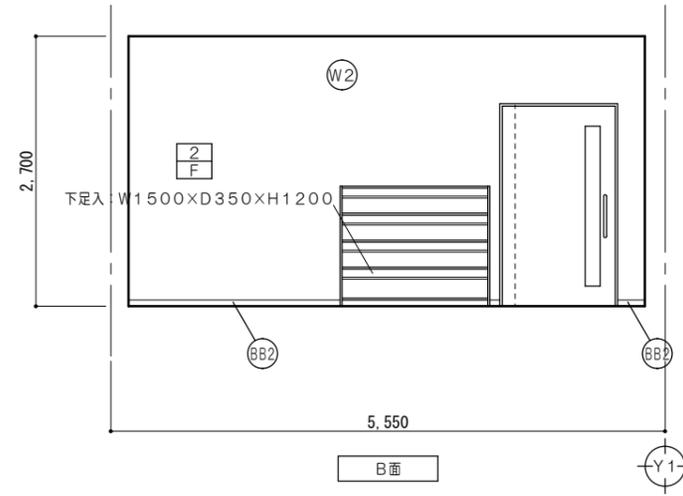
法適合確認

作図
加藤 早妃
校図
三橋 五百子

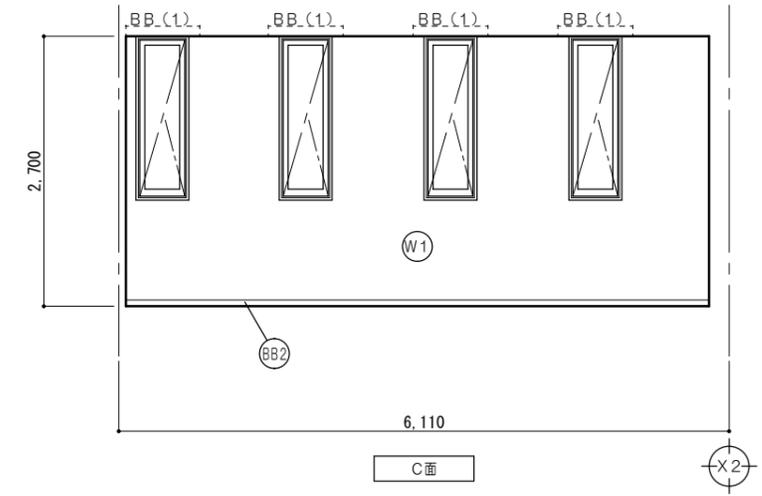
工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事
 図面名称 【①管理棟】2階展開図No.2 (大会議室)
 縮尺 A2:1/50
 A3:1/71
 図面番号 A042 (原図:A2)
 設計日



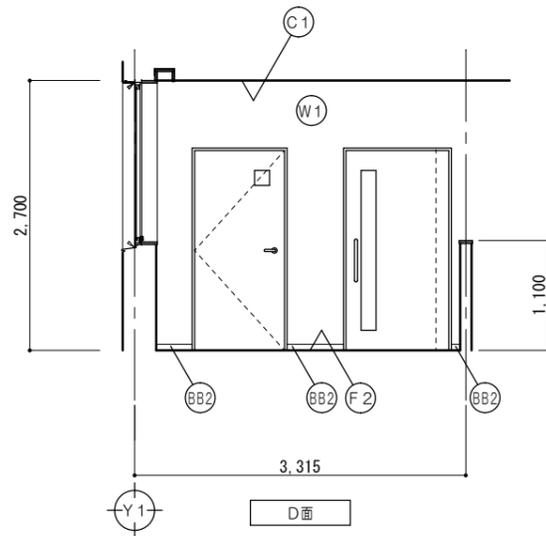
A面



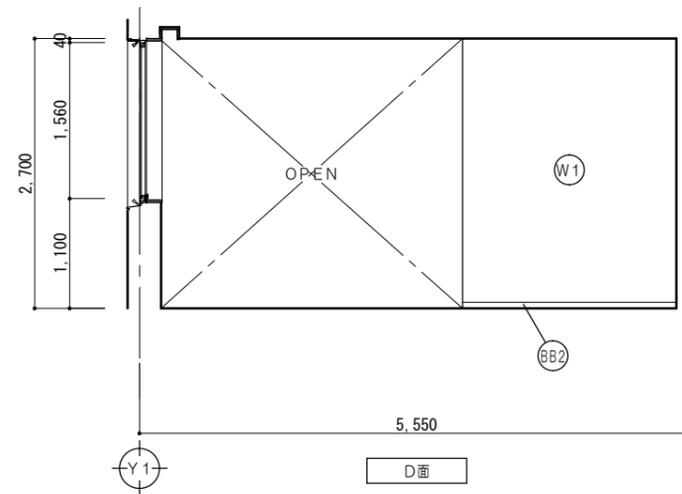
B面



C面



D面



D面

仕上凡例	
(F2)	床 : ビニル床シート2.0張 モルタル金コテ押工
(BB2)	巾木 : ビニル巾木 H=60
(W1)	壁 : ビニルクロス張 PBア12.5 LGS下地
(W2)	壁 : ビニルクロス張 遮音壁(スラブまで)
(C1)	天井 : 化粧PBア9.5張 LGS下地

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

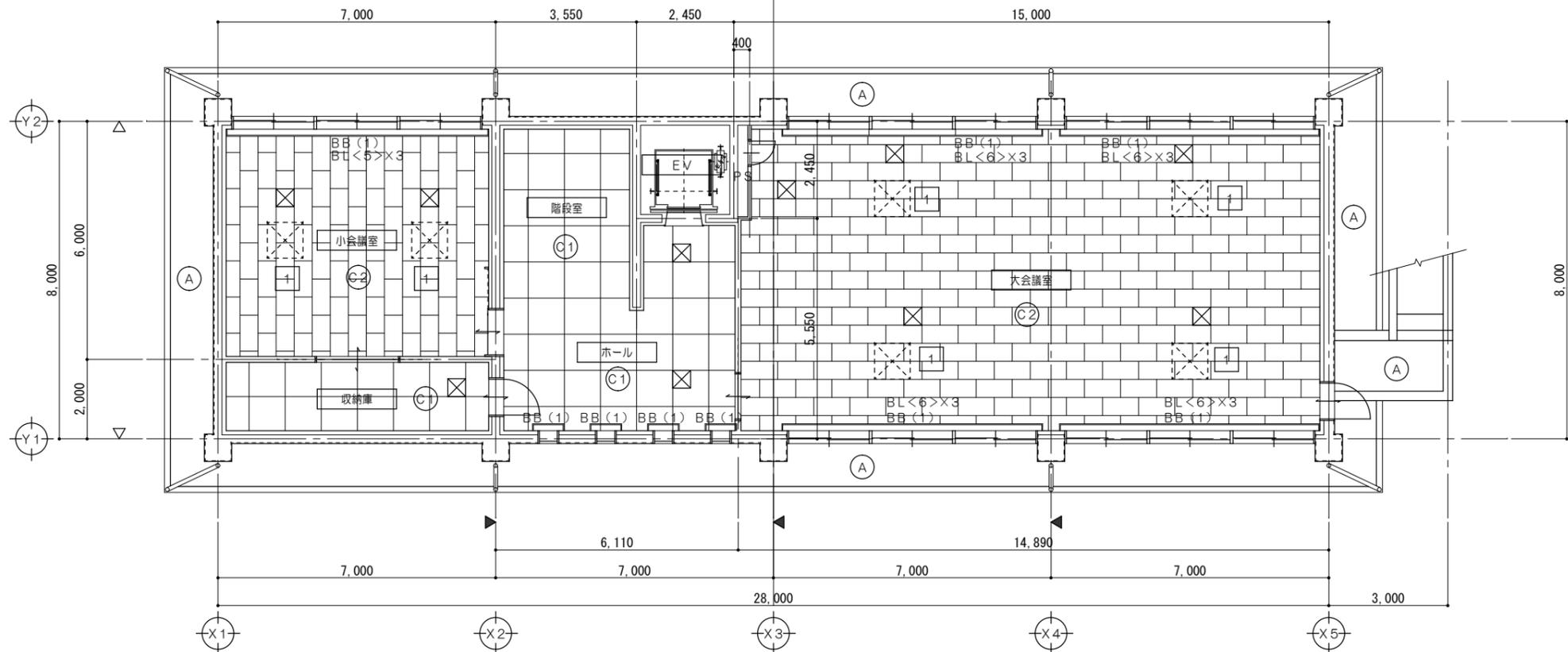
代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝
 設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子
 設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃
 設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作

法適合確認
 三橋 五百子
 加藤 早妃
 前田 祐作

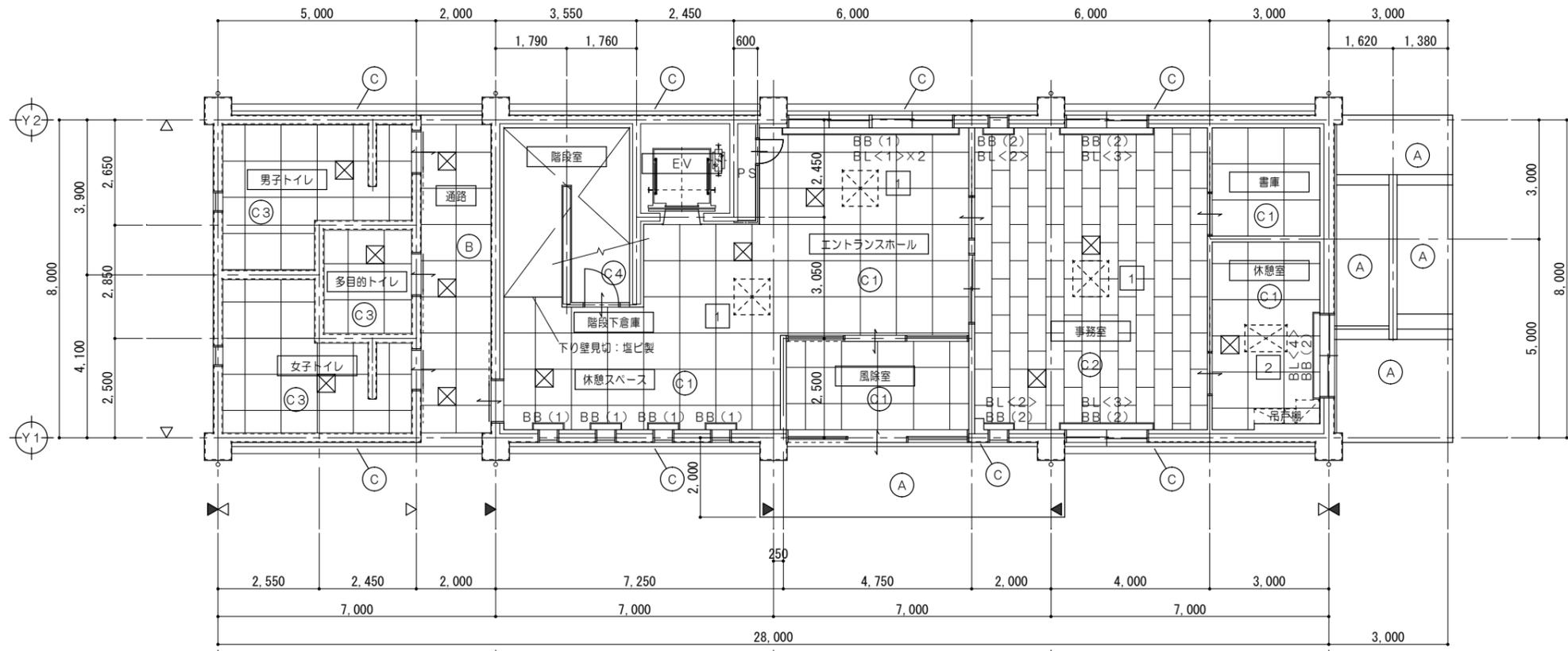
作図
 加藤 早妃
 確認
 三橋 五百子
 加藤 早妃
 前田 祐作

工事名称
海浜公園内陸上競技場改修工事
 図面名称
【①管理棟】2階展開図No.3 (ホール)

設計日
 縮尺
 A2:1/50
 A3:1/71
 図面番号
A043
 (原図:A2)



2階天井伏図 1/100



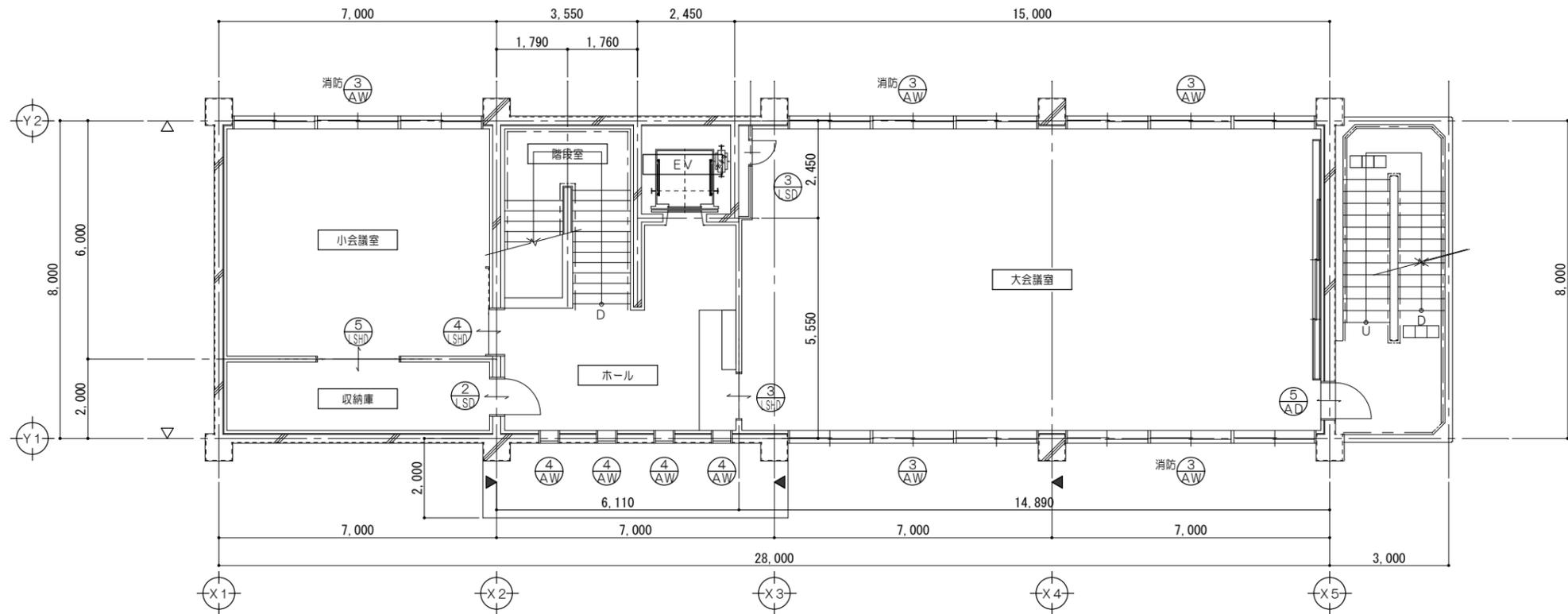
1階天井伏図 1/100

符号	W×H	か所
BL<1>	W2, 215×H1, 740	2
BL<2>	W700×H1, 640	2
BL<3>	W2, 230×H1, 640	2
BL<4>	W2, 130×H1, 640	1
BL<5>	W2, 190×H1, 740	3
BL<6>	W2, 170×H1, 740	12

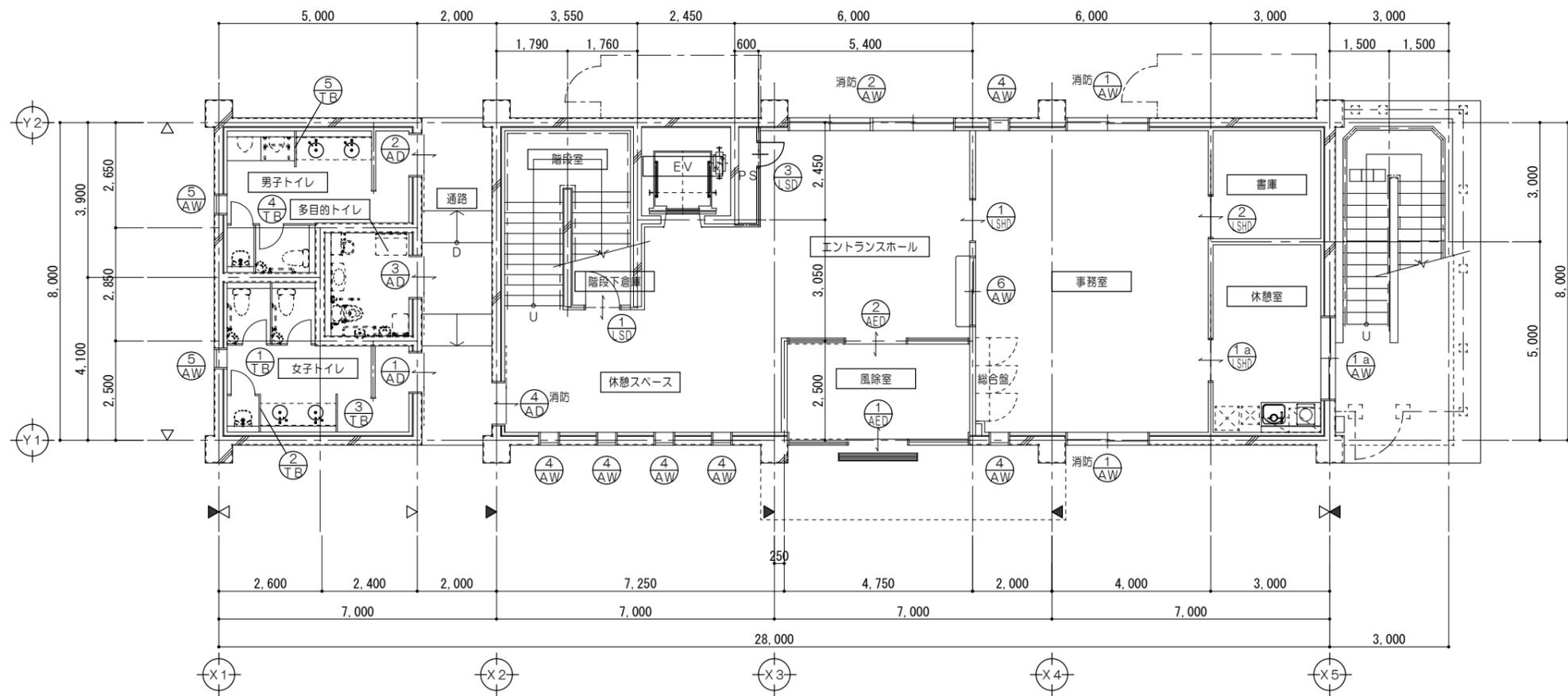
○C1	天井：化粧PBア9, 5張 LGS下地
○C2	天井：化粧吸音PBア9, 5張 LGS下地
○C3	天井：ケイカル板ア6 EP塗 LGS下地
○C4	天井：コンクリート打放シ補修 NAD塗
○A	天井：外装薄塗材E吹付 コンクリート打放シ補修
○B	天井：ケイカル板ア6 EP塗 LGS下地
○C	梁型：複層塗材E吹付 コンクリート打放シ補修
⊗	天井点検口 アルミ製 450角
⋯	設備用開口補強を示す
BB (1)	ブラインドボックス (タイプ1) を示す
BB (2)	ブラインドボックス (タイプ2) を示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す

特記なき限り廻り縁は塩ビ製とする
各PS内はコンクリートのままとする

番号	W×D	か所
1	900×900	9
2	1060×670	1



2階建具符号図 1/100



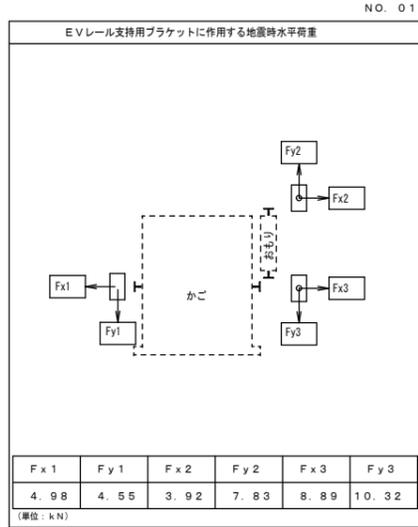
1階建具符号図 1/100

凡例	
	新設建具を示す
	消防無窓階の検討に使用する建具を示す
※誘導灯を設置する建具は避難方向へ鍵を用いず手動開放可能。	

特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
	株式会社 前野建築設計	一級建築士 前野 将輝	一級建築士 三橋 五百子	一級建築士 加藤 早妃	一級建築士 前田 祐作	一級建築士 前野 将輝	加藤 早妃	加藤 早妃	海浜公園内陸上競技場改修工事	
	管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝							監図	図面名称	縮尺
								三橋 五百子	【①管理棟】建具符号図	A2:1/100 A3:1/141
								加藤 早妃		図面番号
								加藤 早妃		A045 (原図:A2)

符号名称数量	④AW ヒリ出シアルミサッシ 10	⑤AW ヒリ出シアルミサッシ 2	⑥AW 引違イカウター用アルミサッシ 1
姿 図			
見込 硝子	70 強化ガラスA5	70 強化型ガラスA5	40 強化ガラスA5
仕 上	アルミ陽極酸化塗装皮膜	アルミ陽極酸化塗装皮膜	アルミ陽極酸化塗装皮膜
金 物	カムラッチハンドル、アングルピース、ステンレス網戸、水切、付属金物一式	カムラッチハンドル、アルミ網戸、ステンレス網戸、水切、付属金物一式	クレセント、戸車、アングルピース、付属金物一式
室 名	1階：風除室、事務室 2階：ホール	1階：男子トイレ、女子トイレ	1階：事務室
符号名称数量	①LSP 片開キ軽量スチールドア 1	②LSP 片開キ軽量スチールドア 1	③LSP 片開キ軽量スチールドア 2
姿 図			
見込 硝子	枠 110 扉 40	枠 435 扉 40 強化型ガラスA4	枠 90 扉 40
仕 上	化粧鋼板A0.6 焼付塗装	化粧鋼板A0.6 焼付塗装	化粧鋼板A0.6 焼付塗装
金 物	レバーハンドル、DC、丁番、ステンレス沓摺、スチール三方枠（焼付塗装）、戸当り、シリリンダー錠、付属金物一式	レバーハンドル、DC、丁番、ステンレス沓摺、スチール三方枠（焼付塗装）、戸当り、シリリンダー錠（内部サムターン）、付属金物一式	レバーハンドル、DC、丁番、ステンレス沓摺、スチール三方枠（焼付塗装）、戸当り、シリリンダー錠、付属金物一式
室 名	1階：階段下倉庫	2階：収納庫	1階：PS 2階：PS
符号名称数量	②LSP 片引キ軽量スチールハンガードア（壁内蔵タイプ） 1	③LSP 片引キ軽量スチールハンガードア（壁内蔵タイプ） 1	④LSP 片引キ軽量スチールハンガードア（外付タイプ） 1
姿 図			
見込 硝子	枠 135 扉 40 強化型ガラスA4	枠 160 扉 40 強化ガラスA5	枠 435 扉 40 強化ガラスA5
仕 上	化粧鋼板A0.6 焼付塗装	化粧鋼板A0.6 焼付塗装	化粧鋼板A0.6 焼付塗装
金 物	自閉制御装置、エアダンパー、大型引手、ガイドローラー、シリリンダー錠（内部サムターン）、ステンレス沓摺、付属金物一式	自閉制御装置、エアダンパー、大型引手、ガイドローラー、シリリンダー錠（内部サムターン）、ステンレス沓摺、付属金物一式	自閉制御装置、エアダンパー、大型引手、ガイドローラー、シリリンダー錠（内部サムターン）、ステンレス沓摺、付属金物一式
室 名	1階：書庫	2階：大会議室	2階：小会議室
符号名称数量	⑤LSP 引分ケ軽量スチールハンガードア（壁内蔵タイプ） 1		
姿 図			
見込 硝子	枠 140 扉 40		
仕 上	化粧鋼板A0.6 焼付塗装		
金 物	自閉制御装置、エアダンパー、大型引手、ガイドローラー、シリリンダー錠（内部サムターン）、ステンレス沓摺、付属金物一式		
室 名	2階：収納庫		

符号名称数量	① TB トイレブース	1	② TB トイレブース	1	③ TB トイレブース	1
姿 図 FL ▽						
見込 硝子	40		40		40	
仕 上	高圧メラミン樹脂化粧板 (芯材: ペーパーコア)		高圧メラミン樹脂化粧板 (芯材: ペーパーコア)		高圧メラミン樹脂化粧板 (芯材: ペーパーコア)	
金 物	アルミアルエッジ、アルミ笠木、アルミ下枠、ラバトリヒンジ、表示錠付取手 (非常時外開錠付)、チャイルドロック、戸当り、ステンレス巾木、付属金物一式		アルミアルエッジ、アルミ笠木、アルミ下枠、ラバトリヒンジ、SK取手、戸当り、ステンレス巾木、付属金物一式		アルミアルエッジ、アルミ笠木、アルミ下枠、ステンレス巾木、付属金物一式	
室 名	1階: 女子トイレ		1階: 女子トイレ		1階: 女子トイレ	
符号名称数量	④ TB トイレブース	1	⑤ TB トイレブース	1		
姿 図 FL ▽						
見込 硝子	40		40			
仕 上	高圧メラミン樹脂化粧板 (芯材: ペーパーコア)		高圧メラミン樹脂化粧板 (芯材: ペーパーコア)			
金 物	アルミアルエッジ、アルミ笠木、アルミ下枠、ラバトリヒンジ、表示錠付取手 (非常時外開錠付)、戸当り、ステンレス巾木、付属金物一式		アルミアルエッジ、アルミ笠木、アルミ下枠、ステンレス巾木、付属金物一式			
室 名	1階: 男子トイレ		1階: 男子トイレ			
符号名称数量						
姿 図 FL ▽						
見込 硝子						
仕 上						
金 物						
室 名						



注: 上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。

動力電源設備 (CVT電線使用時)

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値 (*) 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC3φ210V 60Hz	3.8kW	4kVA	40AT	100mA以上 0.2秒以上	82mまで 8mm ² 142mまで 14mm ² 216mまで 22mm ²	3.5mm ²

照明用電源AC1φ100V 60Hz (設備容量1kVA/台 電源側NF容量20AT/台)

(*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

電源引込み口 (2FL+2400~3000mm)

動力用AC3φ-210V-60Hz
照明用AC1φ-100V-60Hz

- D種接地工事
- ・インターホン用配管配線工事
 - ・CP EV-0.9x5P
 - ・火災警報用配管配線工事
 - ・自火警より無電圧α接点支給 (接点定格DC24V)
 - ・遠隔監視用配管配線工事
 - ・PVC-0.65x4C
 - ・カゴ上スピーカー用配管配線工事
 - ・HP1.2mmx3C
 - ・電源線引出し長さ 1500mm (電気工事)

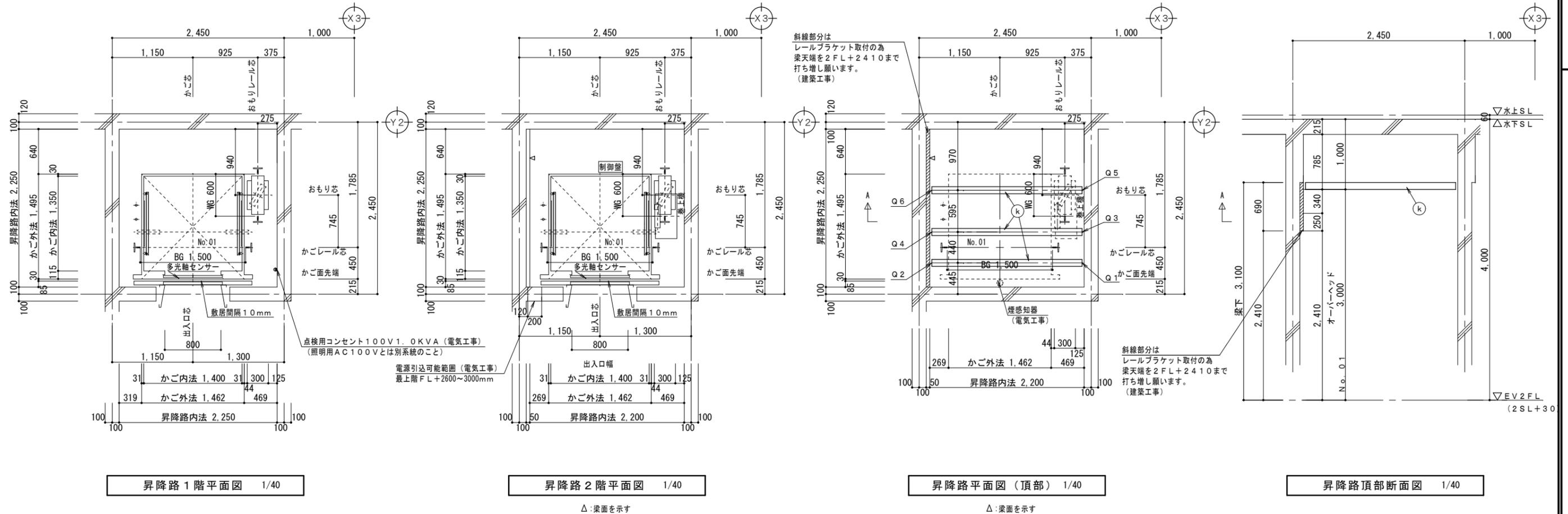
高調波対策 (高調波流出電流計算値)

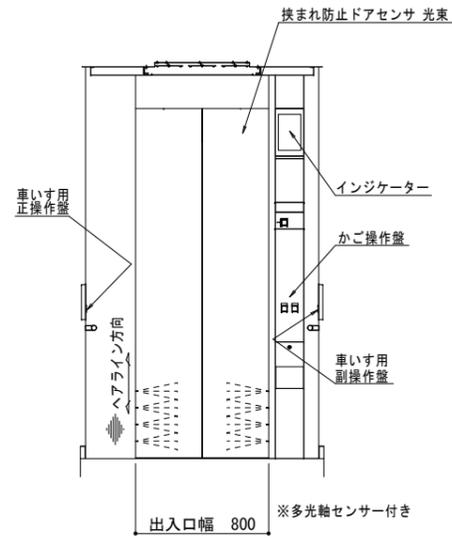
高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P _i (kVA)	回路分類 細分No.	6パルス 換算係数 (K _i)	6パルス等価 容量 [K _i ×P _i] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 I _n (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
ノイズフィルタのみ (標準)	01号機	4.8	1	4.8	31	2.4	16.2	25	65	41	9.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
DCリアクトル追加 (K _i =1.8相当)	AXIEZ-LINKs (750kg-45m/min)				33	1.8	8.6	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

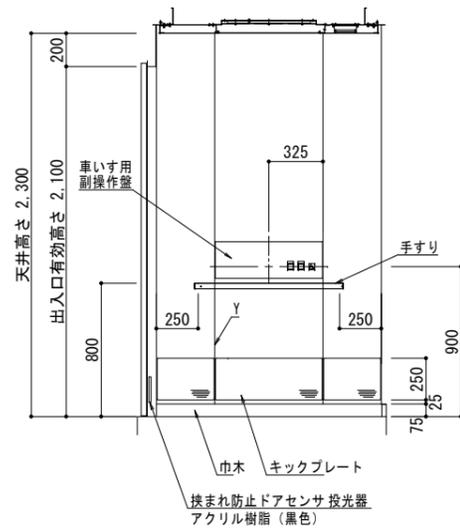
※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$

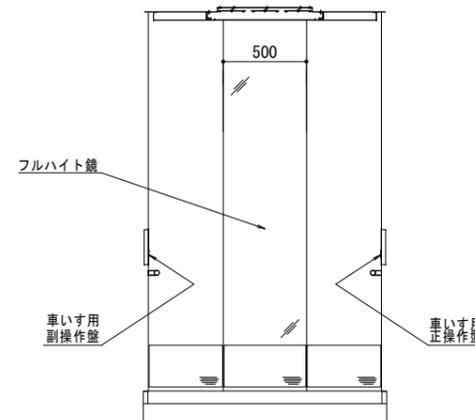




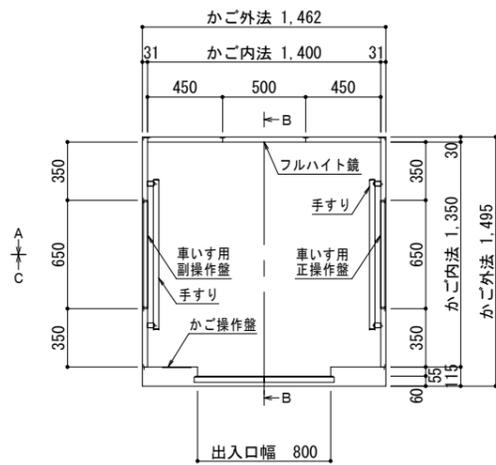
かご室正面図 1/30



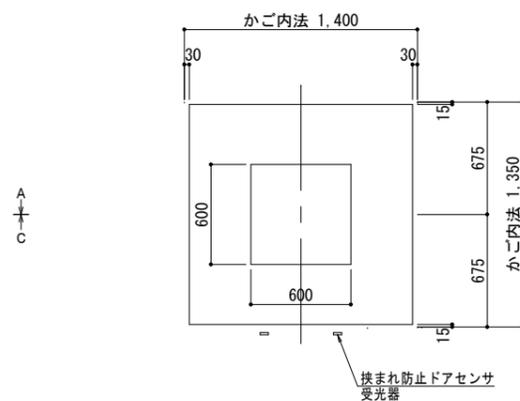
かご室側面図 1/30



かご室背面図 1/30



かご室平面図 1/30

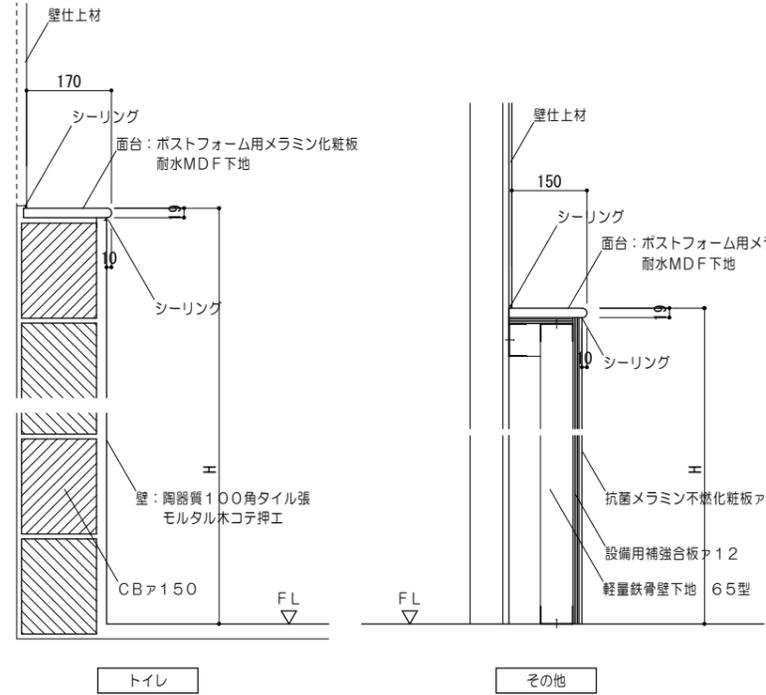


天井伏図 1/30

意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
換気装置	DC軸流ファン
照明	乳白色樹脂照明板 LED照明 (白色)
停電灯	主照明兼用式
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミ製
床仕上部	樹脂タイル2mm (メーカー標準タイル)
敷居	アルミ製
フルハイト鏡	ステンレス鏡面仕上 t 1.5
手すり	ステンレスヘアライン仕上 (φ32) キャップ: 樹脂 (パールメッキ) ブラケット: アルミ ブラケットカバー: 樹脂 (パールメッキ)
キックプレート	板厚2.0 ステンレスヘアライン仕上: ビス無
キックプレート	床面より350mm ステンレスヘアライン仕上: ビス無
保護幕	磁石式 (保護幕高さ標準: 床面より上端まで1895mm)
床マット	あり

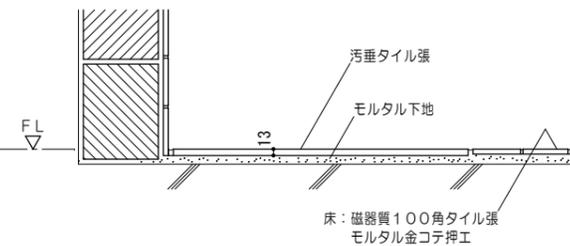
各部詳細図 No. 1

1/D ポストフォーム面台 詳細図 1/10

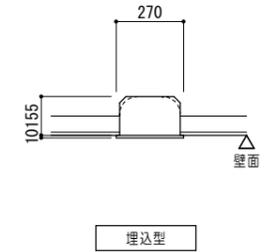


2/D 汚垂タイル 詳細図 1/10

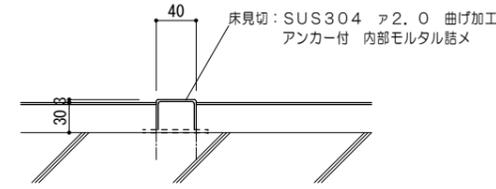
※註記: 汚垂タイルは防臭防汚大型陶板とすること。



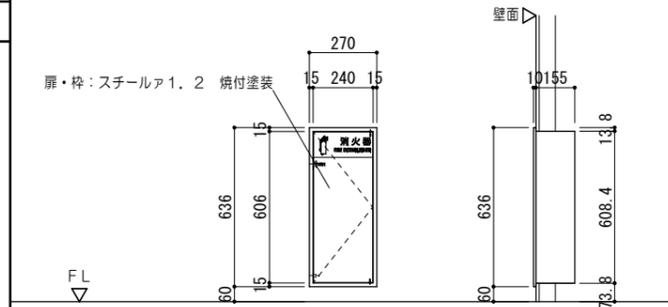
4/D 消火器BOX (埋込) 詳細図 1/20



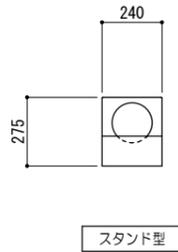
3/D ステンレス沓摺詳細図 1/5



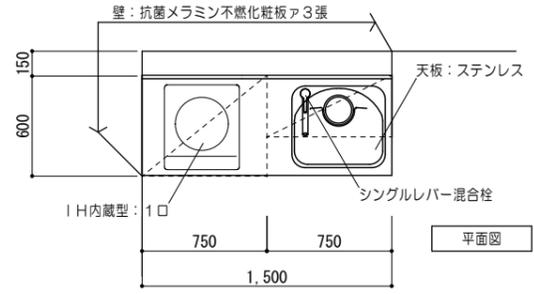
番号	室名	D	W	H	数	小口塞ぎ
1A/D	男子トイレ	170	1,700	1,200	1	—
1B/D	男子トイレ 女子トイレ	170	1,920	1,000	2	—
1C/D	男子トイレ	170	720	1,200	1	—
1D/D	男子トイレ	170	1,190	1,000	1	—
1E/D	女子トイレ	170	1,130	1,000	2	—
1F/D	女子トイレ	170	800	1,000	1	—
1G/D	多目的トイレ	170	1,810	1,000	1	—
			800	1,200	1	片面
1H/D	休憩室	150	1,500	1,000	1	片面



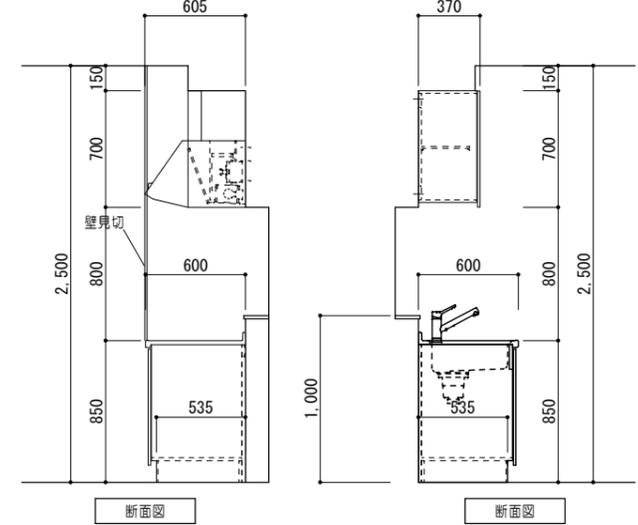
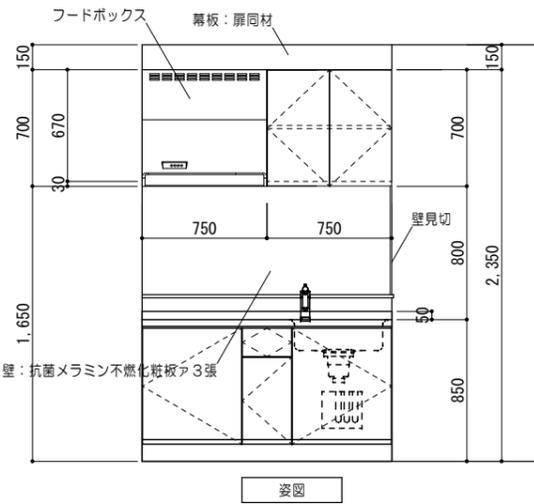
5/D 消火器BOX (床置) 詳細図 1/20



6/D キッチン・吊戸棚詳細図 1/30

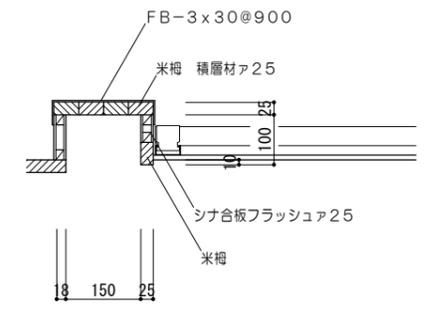


数	1か所: 給湯室
仕様	参考品名: LIXIL サンファーマTiO 扉: 木目対応品とする 同等品



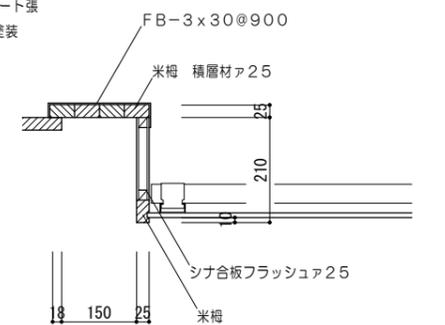
7/D ブラインドBOX (1) 詳細図 1/10

※見え掛り木部: 保護シート張
見え隠れ鉄部: 防錆塗装



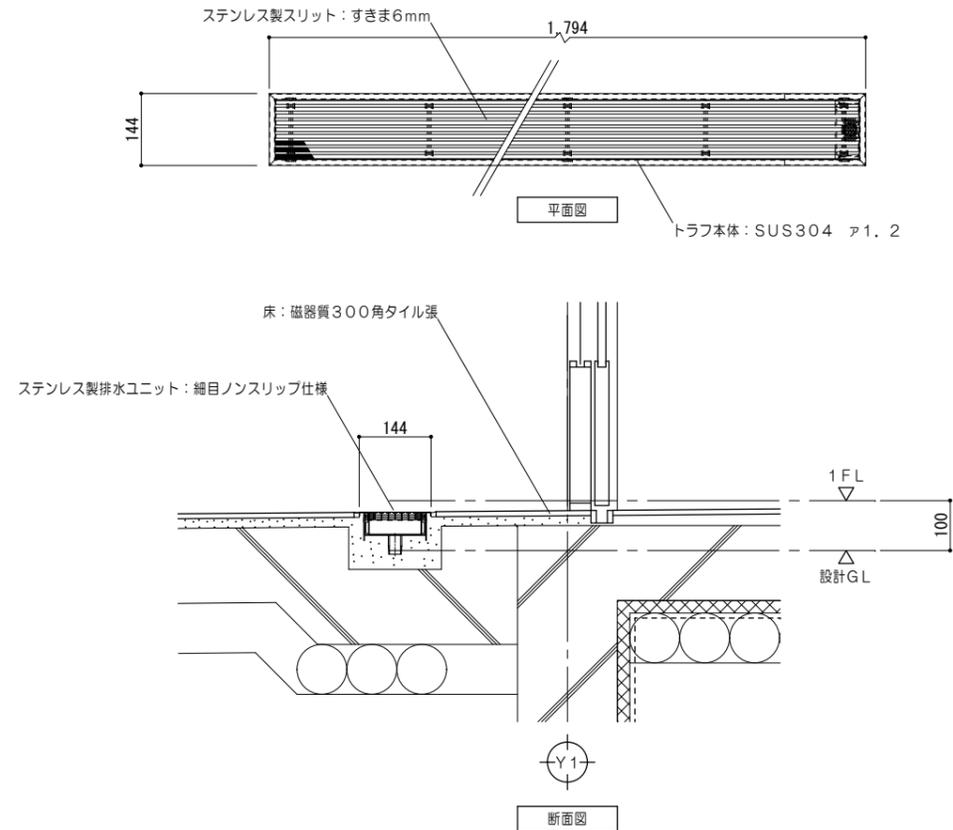
8/D ブラインドBOX (2) 詳細図 1/10

※見え掛り木部: 保護シート張
見え隠れ鉄部: 防錆塗装

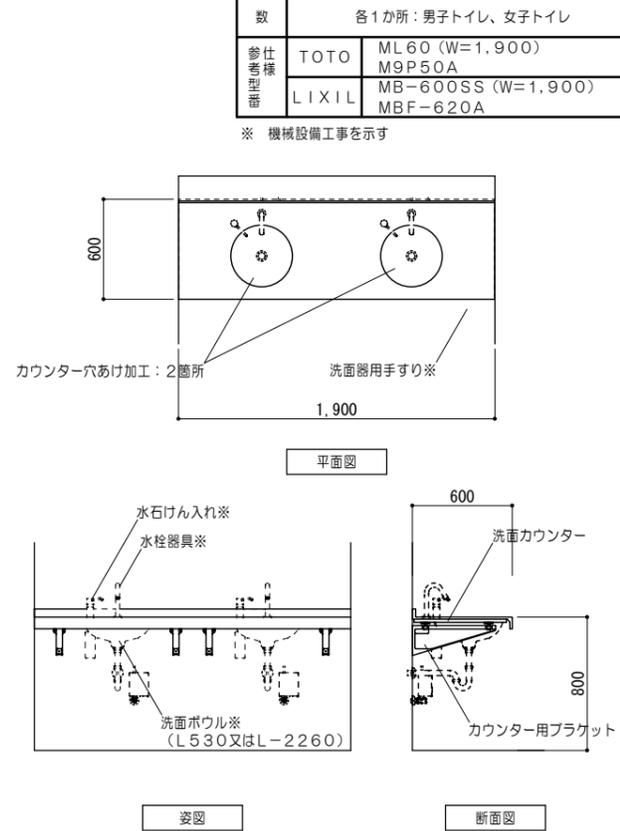


各部詳細図 No. 2

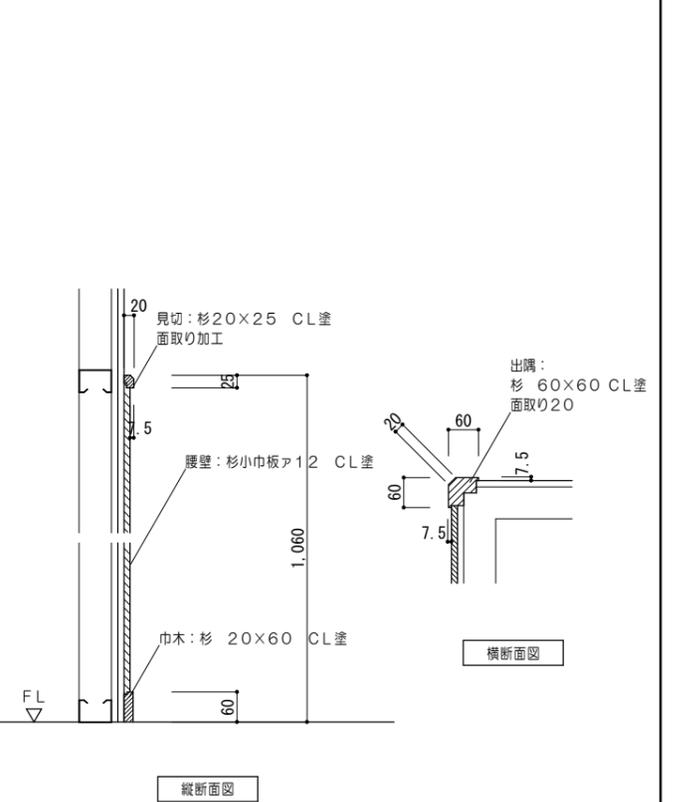
9/D 排水溝 詳細図 1/10



10/D 洗面カウンター 詳細図 1/30

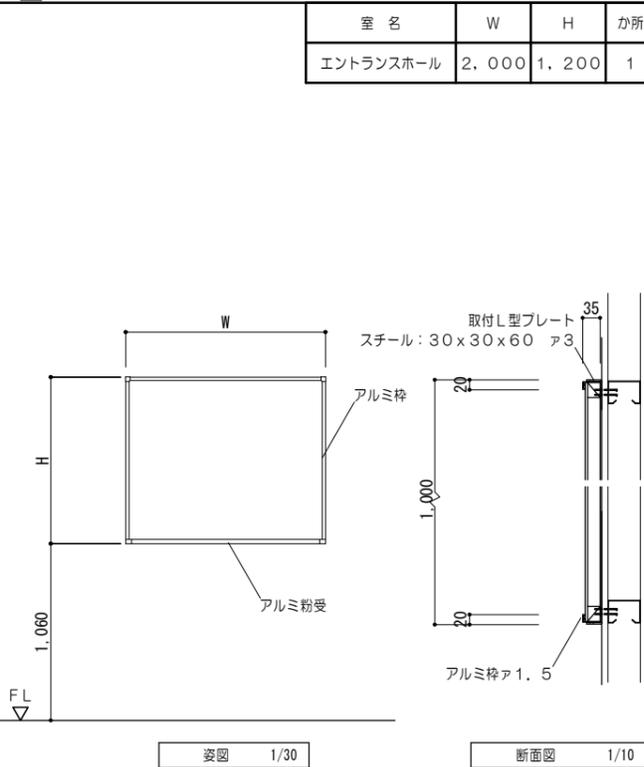


11/D 腰壁 詳細図 1/10

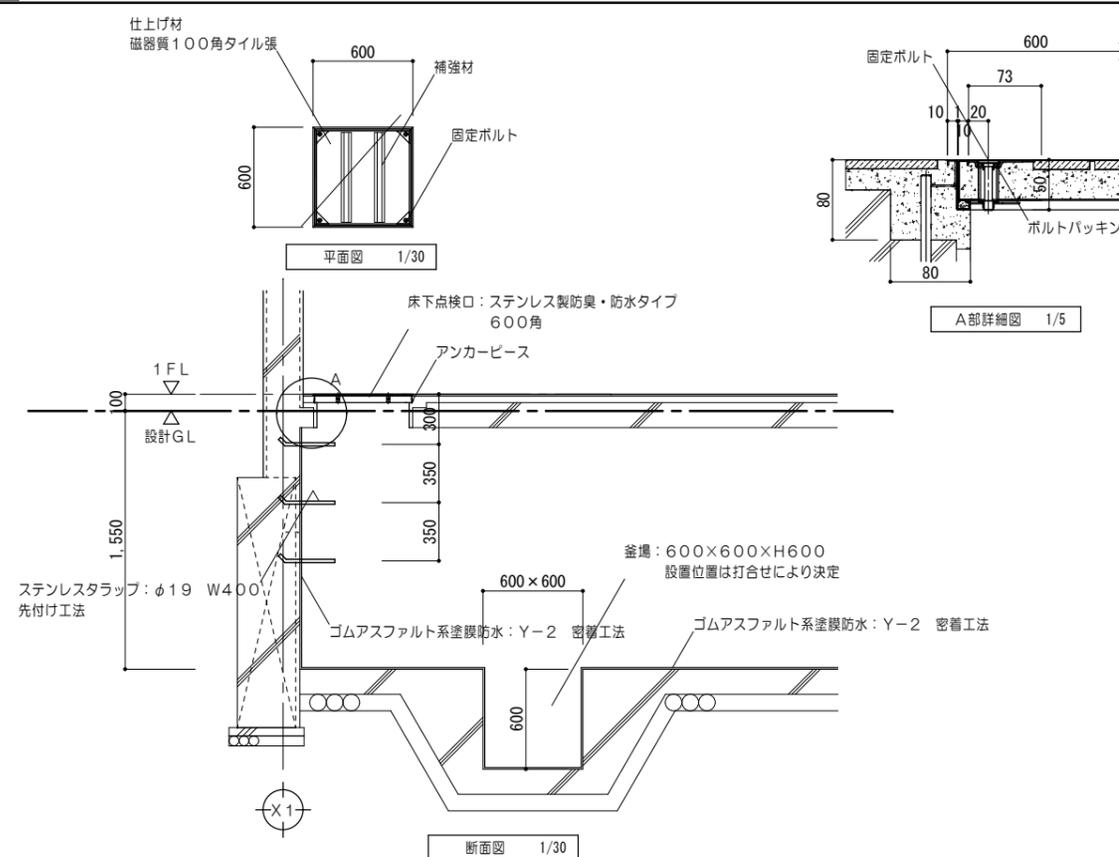


12/D 掲示板 詳細図 1/10, 1/30

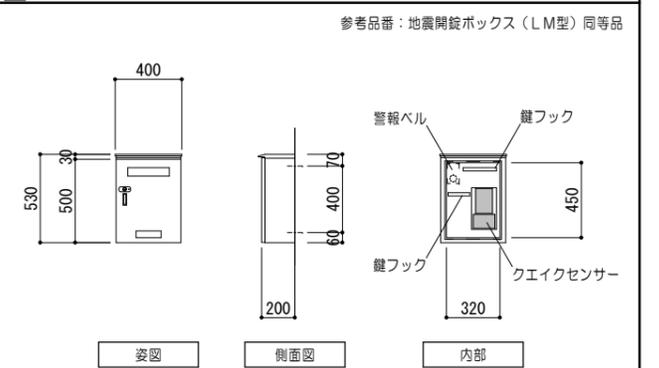
室名	W	H	か所
エントランスホール	2,000	1,200	1



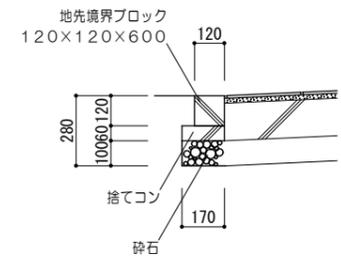
13/D 床下点検口 詳細図 1/30, 1/5



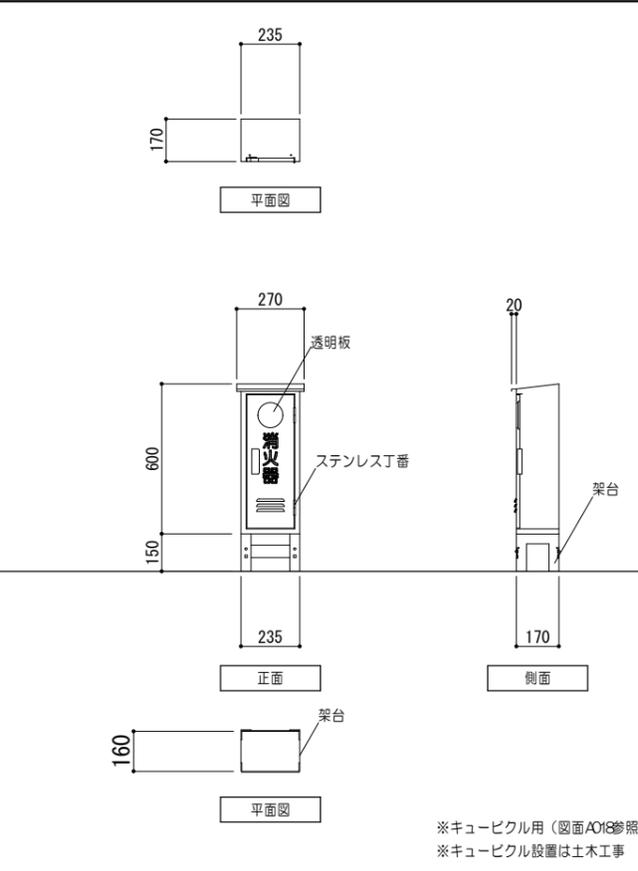
14/D 地震開錠BOX 詳細図 1/30



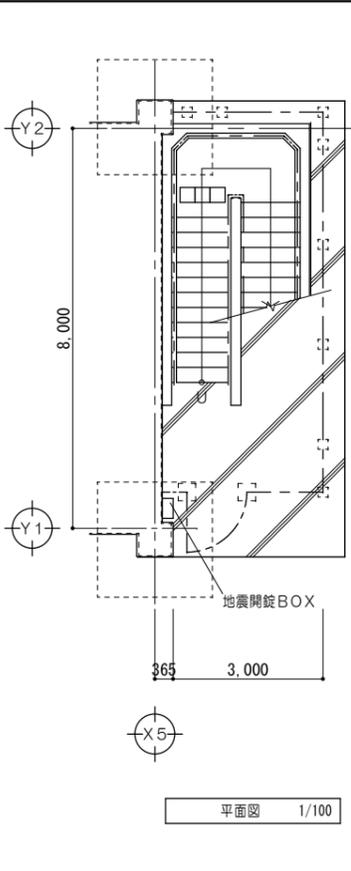
15/D 縁石詳細図 1/20



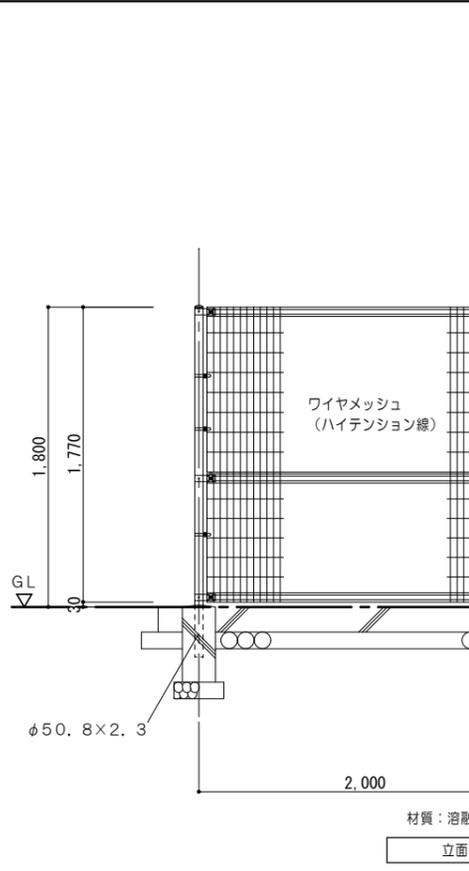
16/D 消火器格納箱 (外部用) 詳細図 1/20



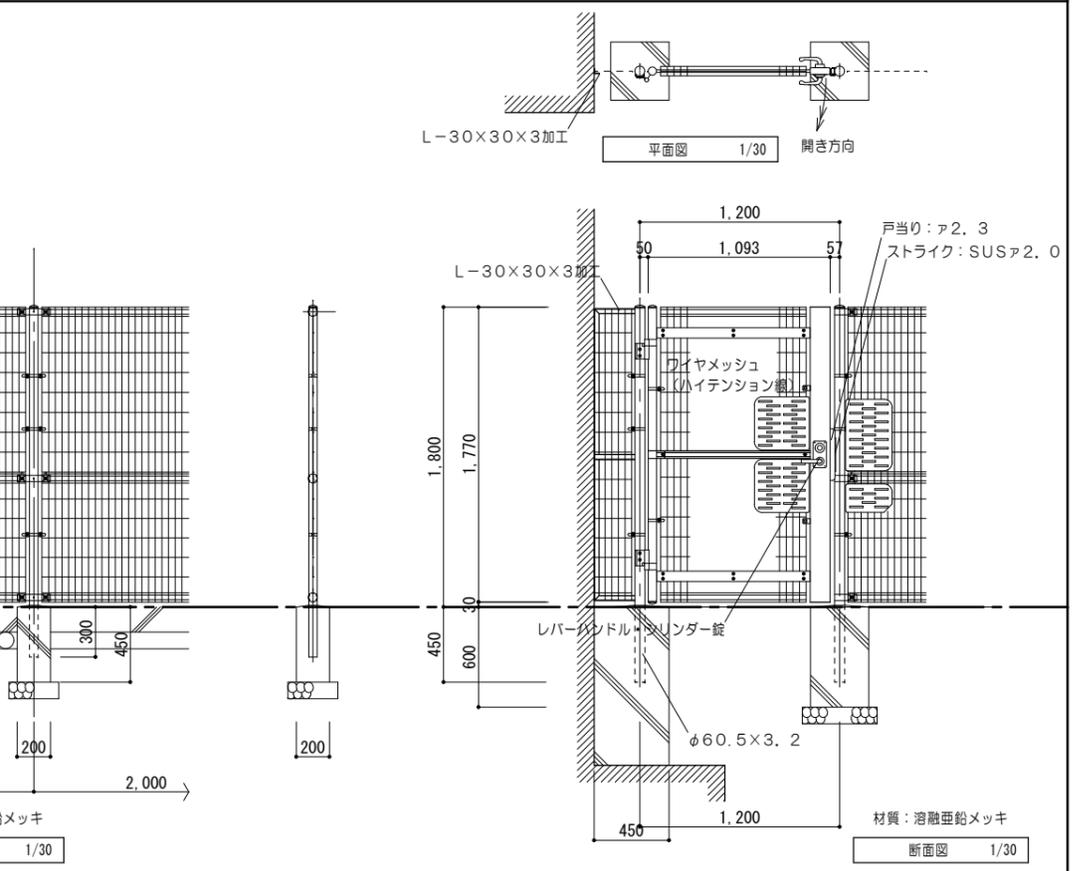
17/D メッシュフェンス詳細図



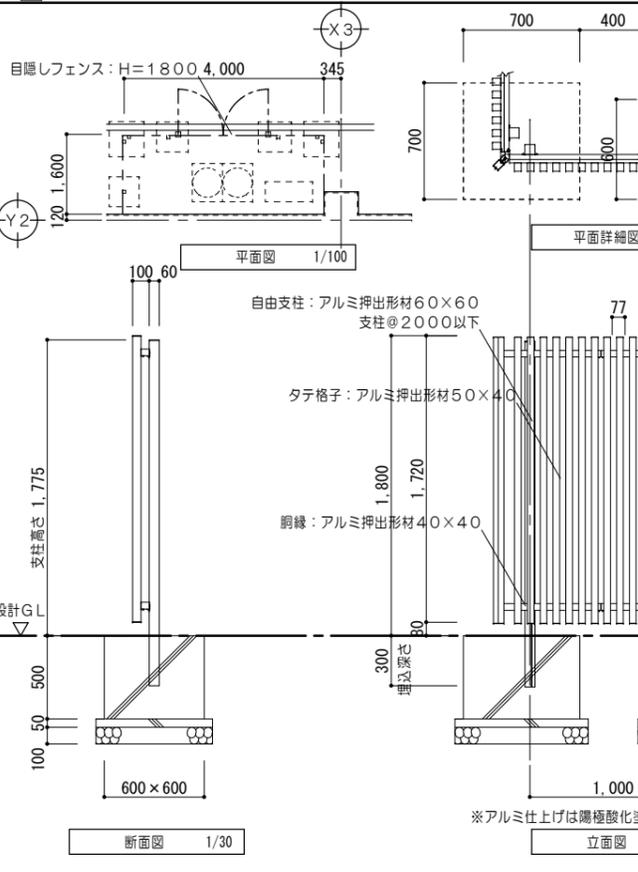
18/D 目隠しフェンス詳細図 1/100、1/30



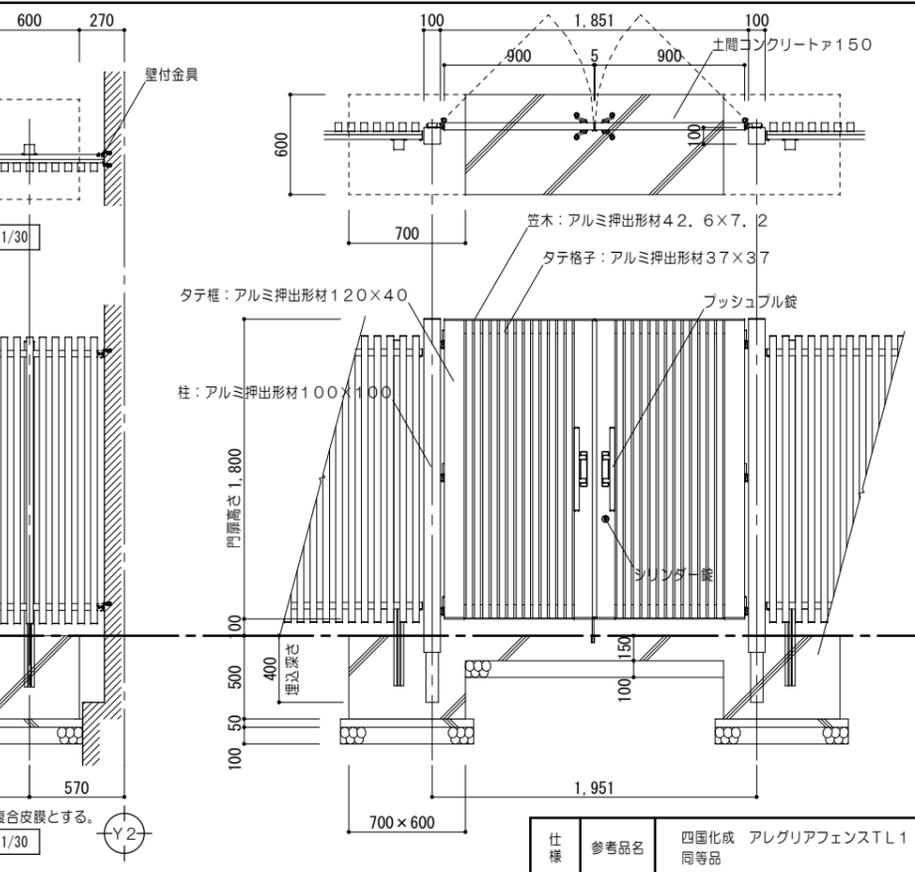
19/D 目隠しフェンス詳細図 1/100、1/30



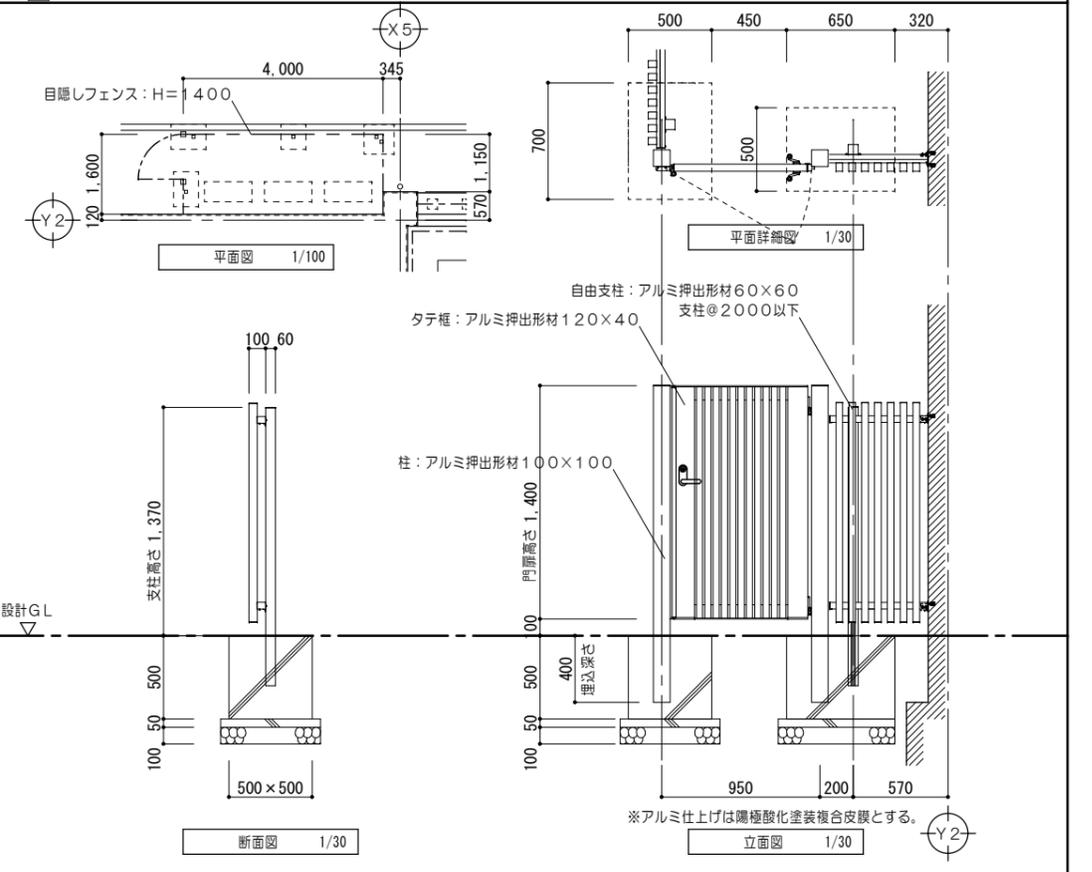
18/D 目隠しフェンス詳細図 1/100、1/30



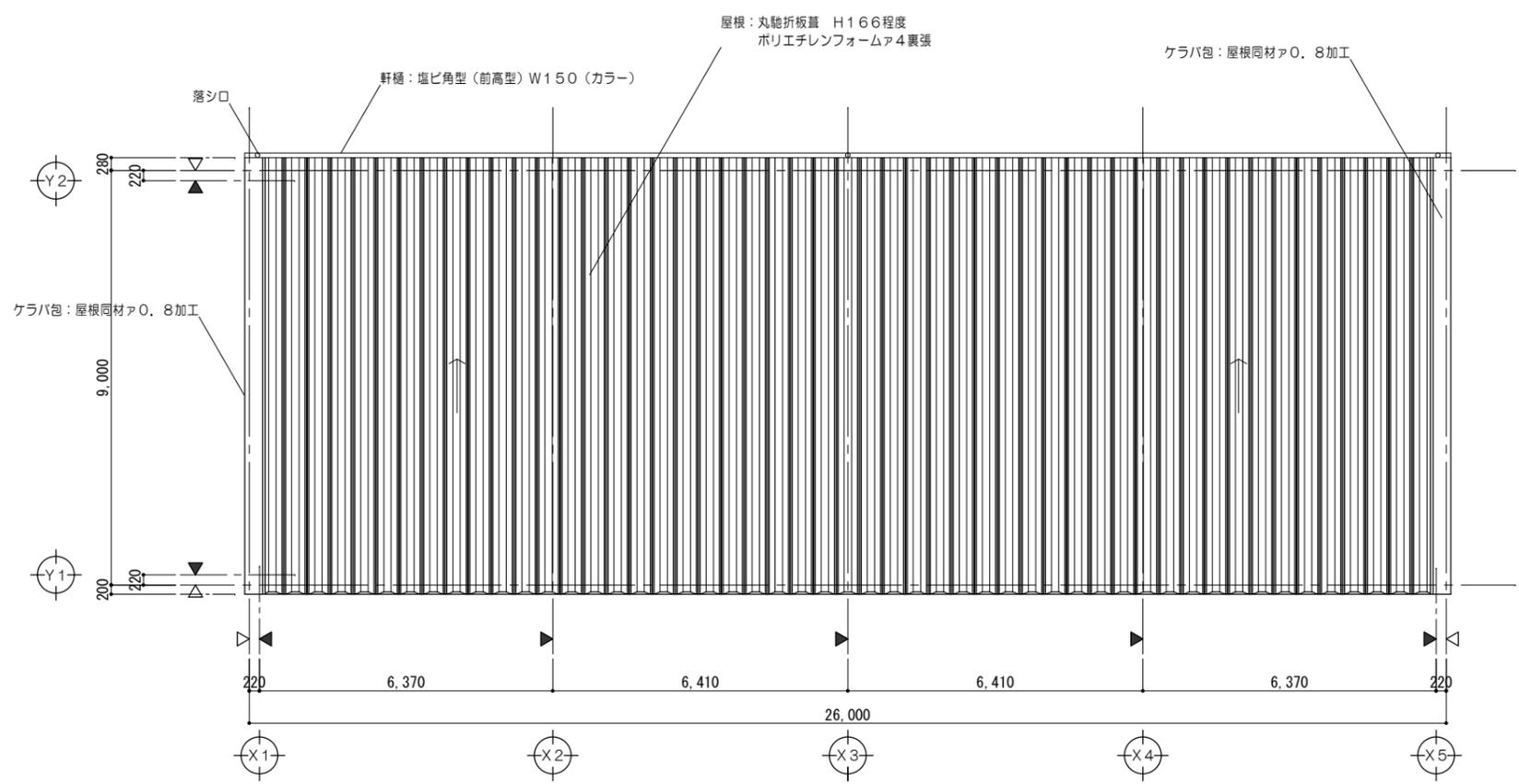
19/D 目隠しフェンス詳細図 1/100、1/30



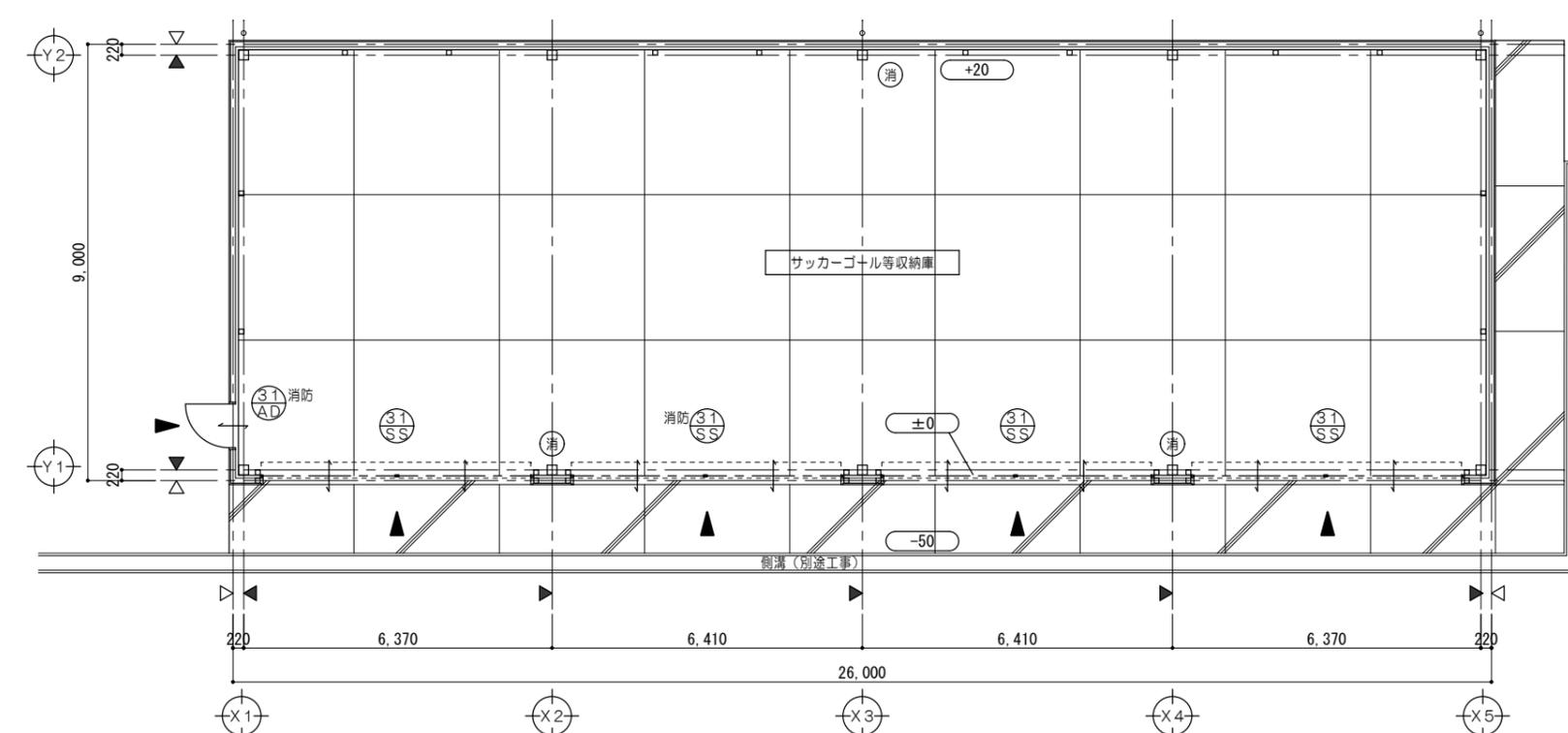
19/D 目隠しフェンス詳細図 1/100、1/30



特 記 事 項	<p>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</p> <p>代表設計者 前野 将輝</p> <p>設計担当 前野 将輝</p> <p>設計担当 三橋 五百子</p> <p>設計担当 加藤 早妃</p> <p>設計担当 前田 祐作</p> <p>法適合確認</p>	<p>工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事</p> <p>図面名称 【管理棟】各部詳細図No.3</p>	<p>設計日</p> <p>縮尺 A2:1/100, 30, 20 A3:1/141, 42, 28</p> <p>図面番号 A055 (原図:A2)</p>	
	<p>株式会社 前野建築設計</p> <p>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</p>	<p>四国化成 アレグリアフェンスTL1 同等品</p>	<p>図面番号</p>	<p>縮尺</p>
	<p>前野 将輝</p>	<p>三橋 五百子</p>	<p>加藤 早妃</p>	<p>前田 祐作</p>



屋根伏図 1/100



平面図 1/100

建具表 No. 1 1/50

符号名称数量	(31 AD) 片開キアルミパネルドア	1
姿 図		
見込 硝子	枠 150 扉 40	
仕 上	アルミ陽極酸化塗装皮膜	
金 物	丁番、ドアクローザー、戸当り、シリンダー錠 (内部サムターン)、レバーハンドル、アルミ顔縁、付属金物一式	
符号名称数量	(31 SS) 手動式軽量スチールシャッター	4
姿 図		
見込 硝子		
仕 上	カラー鋼板 スラッタア0.8 (高耐食鋼板仕様)	
金 物	三方枠、耐風形ガイドレール (SUS)、SUS製座板、脱着式中柱 (高耐風圧タイプ)、シャッターケース (露出角形)、付属金物一式	

凡 例		
±0	一般F.Lからの床仕上高さを示す (特記なき限りはF.L±0とする)	○ 新設建具を示す
消	消火器 (ABC粉末10型) ※消防用設備等については、消防法施行令及び同規則の通り設置する。	消防 ○ 消防無窓階の検討に使用する建具を示す
△	壁芯を示す	
▲	柱芯を示す	※建物内において火気使用なし。燃料の保管はなし。建物内で危険物・指定可燃物の貯蔵及び取扱いなし。

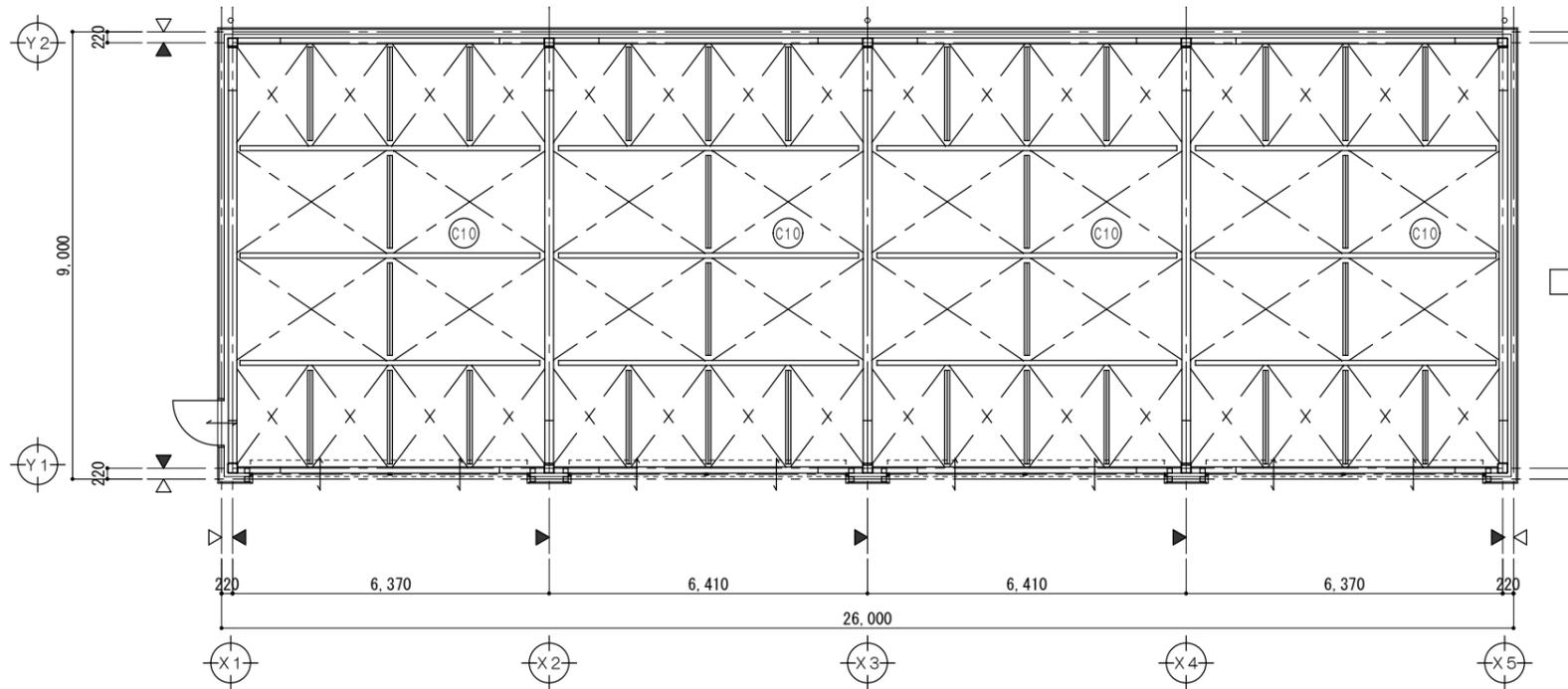
特記事項
 ※常駐従業員なし。利用者は物品の保管以外の作業をしないため、収容人員0人とする。
 ※消防開口に算入するシャッターは軽量シャッターである。

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝
 設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子
 設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃
 設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作

法適合確認 作図 加藤 早妃 監製 前野 将輝

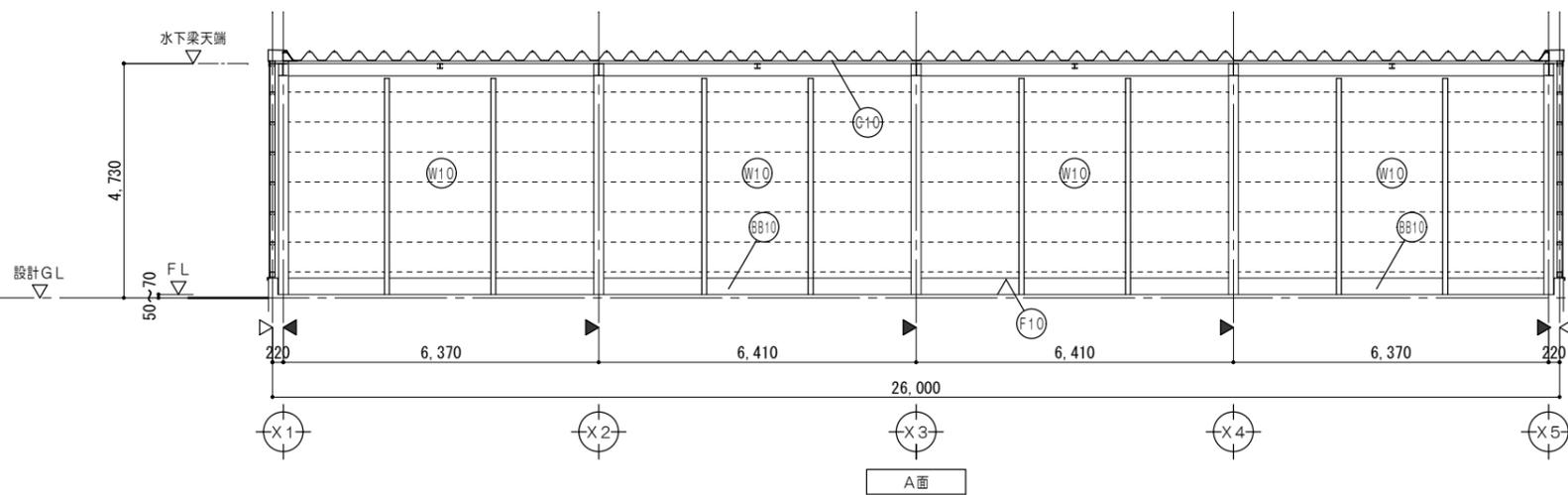
工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事
 図面名称 【③サッカーゴール等収納庫】平面図、屋根伏図 建具表
 縮尺 A2:1/100, 50 A3:1/141, 71
 図面番号 A062 (原図:A2)



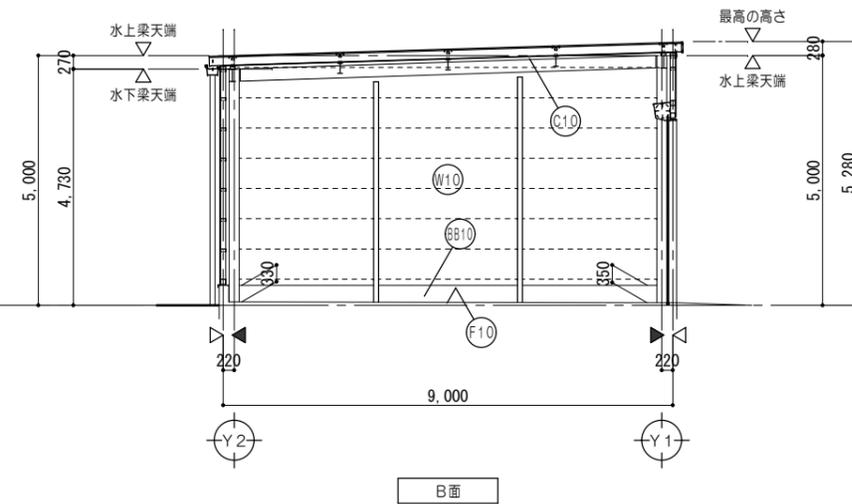
天井伏図 1/100

仕上凡例	
○C10	天井：屋根材表シ 鉄骨梁面 溶融亜鉛メッキ
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す

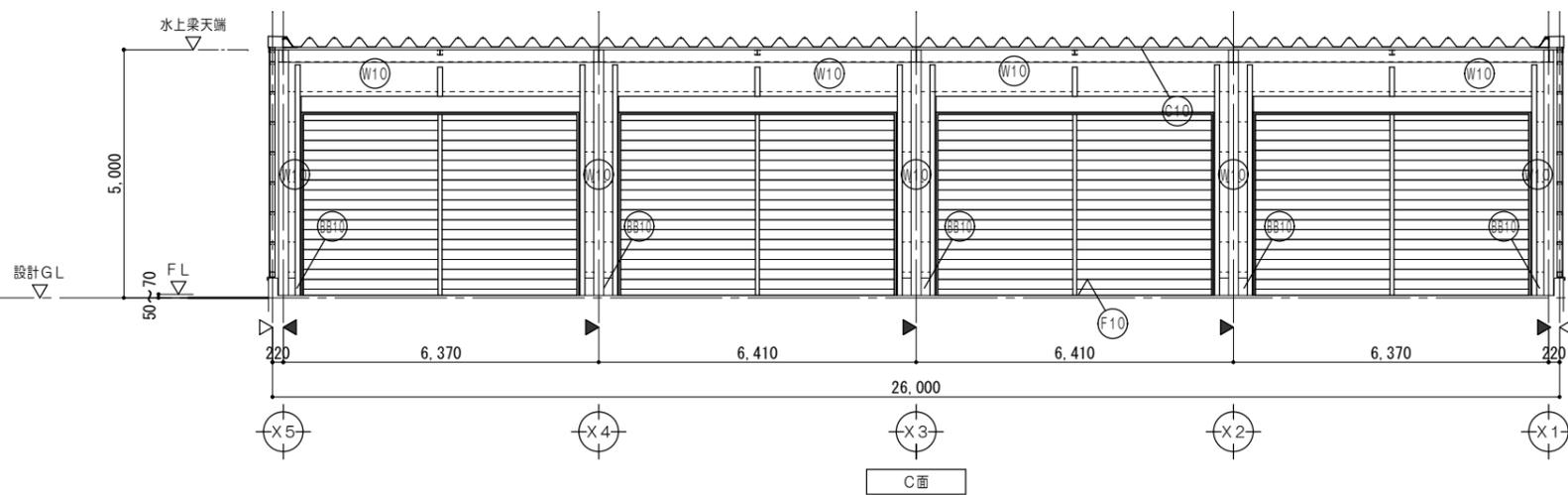
展開図 1/100



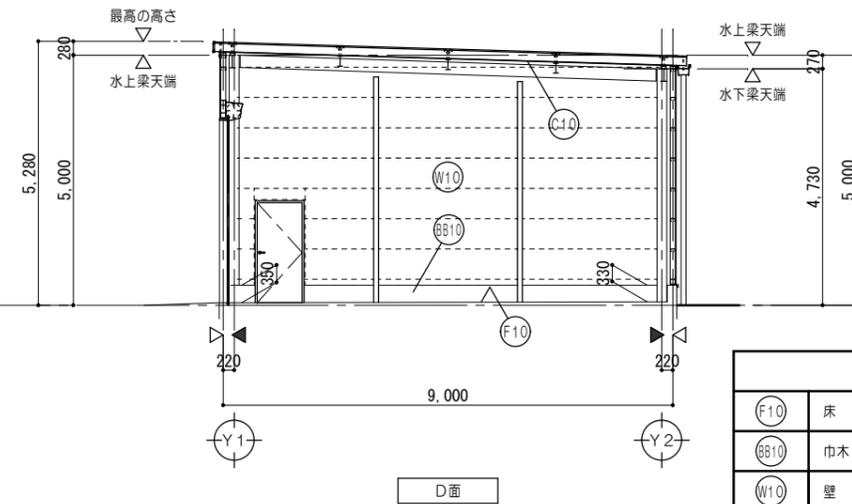
A面



B面



C面



D面

仕上凡例	
○F10	床：防塵用エポキシ樹脂塗床材（防滑仕上） 土間コンクリート金コテ押工
○BB10	巾木：塗床材同仕上（平滑）
○W10	壁：外壁材表シ 鉄骨柱・鉄骨壁下地面 溶融亜鉛メッキ
○C10	天井：屋根材表シ 鉄骨梁面 溶融亜鉛メッキ

特記事項

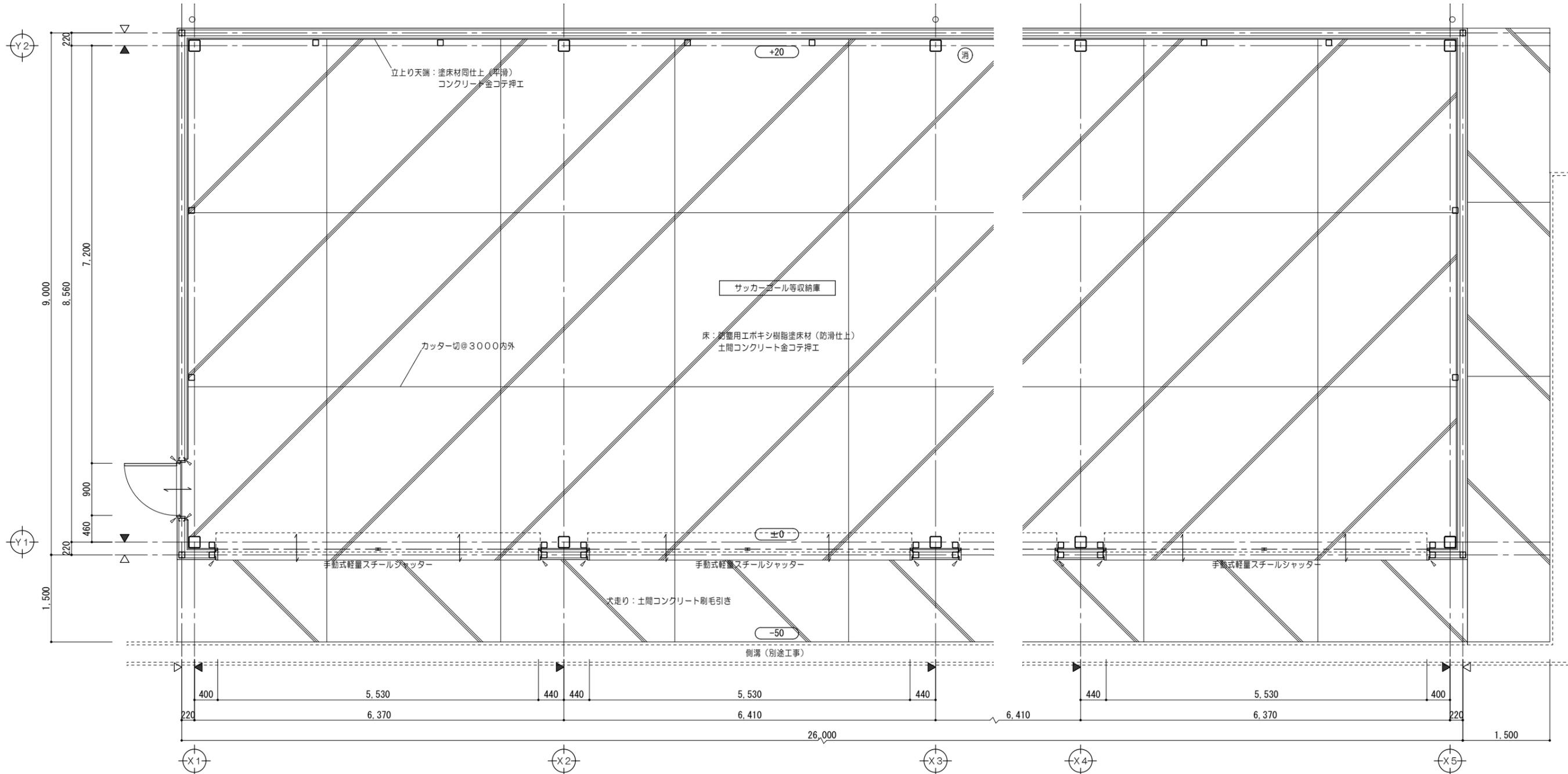
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝
 設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子
 設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃
 設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作

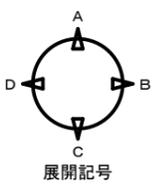
法適合確認

工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事
 図面名称 【③サッカーゴール等収納庫】展開図、天井伏図

縮尺 A2:1/100 A3:1/141
 図面番号 A065 (原図:A2)
 設計日

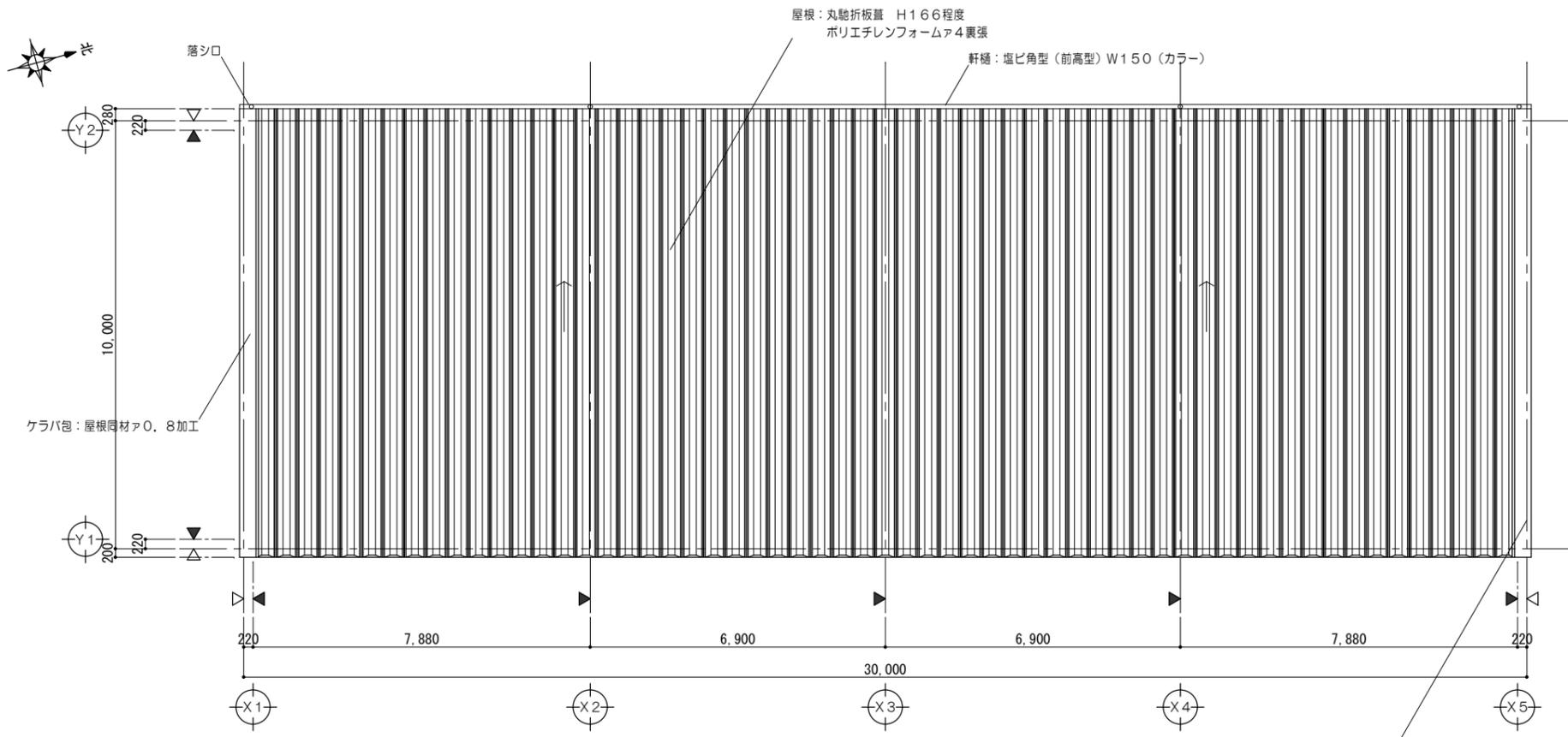


平面詳細図 1/50

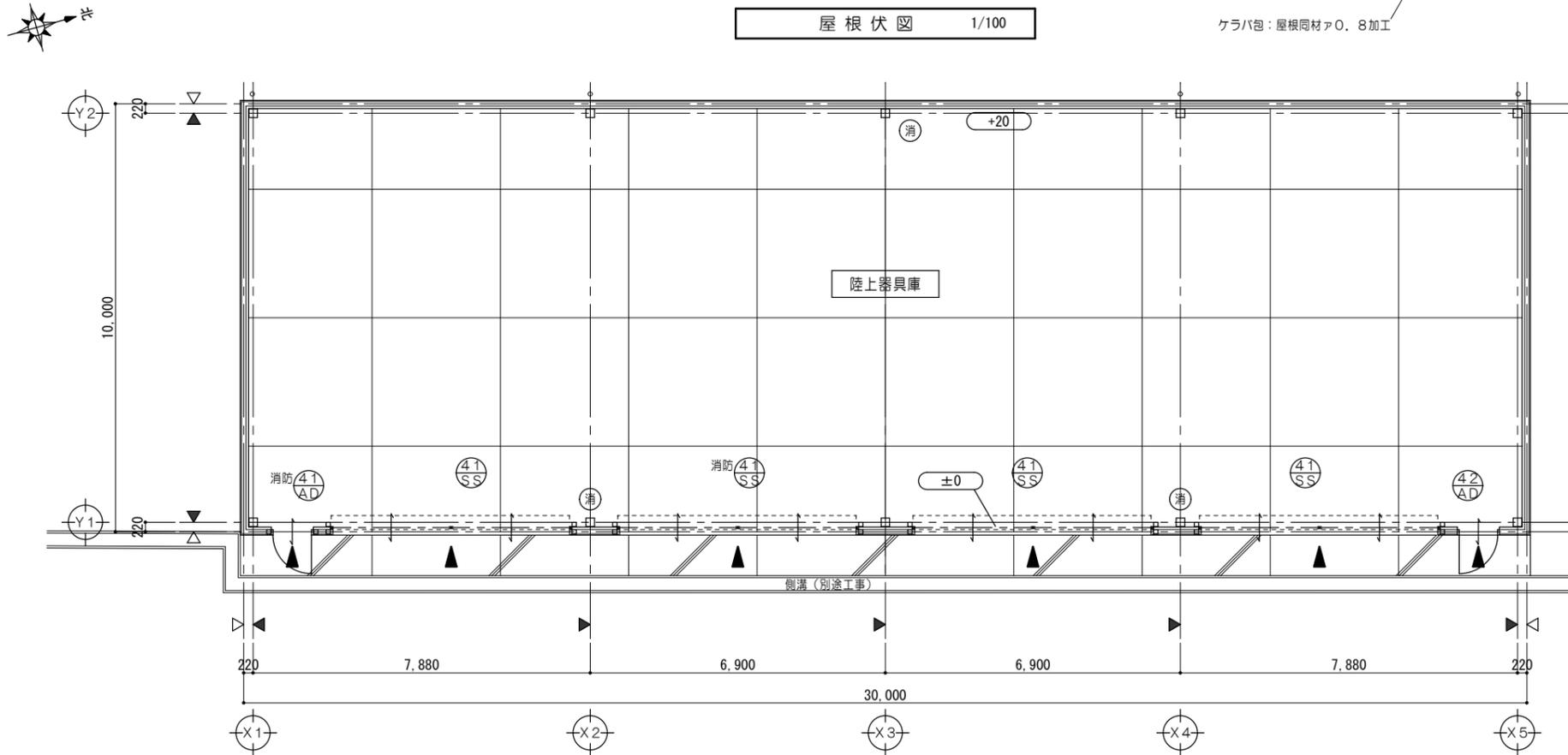


凡例	
±0	一般F.Lからの高さを示す
消	消火器(ABC粉末10型) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
∕	シーリングを示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す

特 記 事 項											代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認 	作図 	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【③サッカーゴール等収納庫】平面詳細図	設計日 縮尺 A2:1/50 A3:1/71	図面番号 A066 (原図:A2)
	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝																		



屋根伏図 1/100

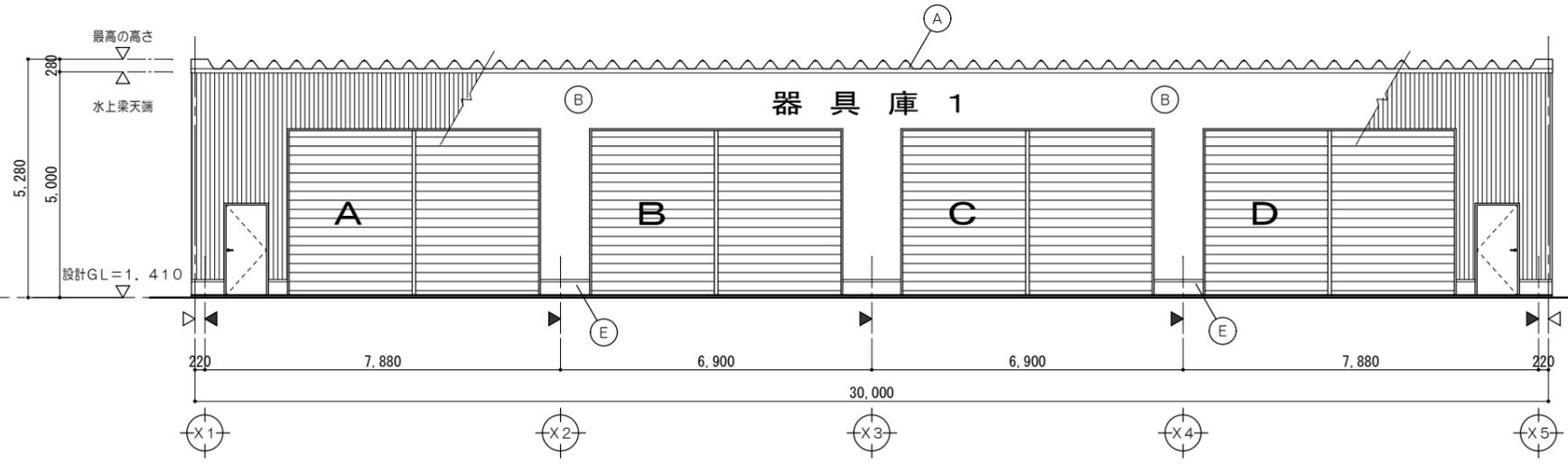


平面図 1/100

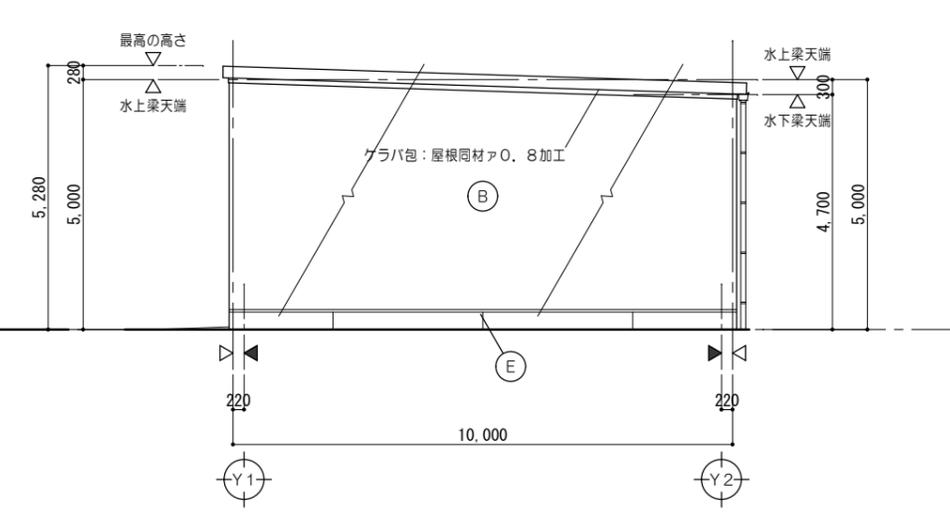
建具表 No. 1		1/50	
符号名称数量	(41/AD) (42/AD) 片開キアルミパネルドア	41:1	42:1
姿 図	AW42は反転 900 2,000 FL		
見込 硝子	枠 150 扉 40		
仕 上	アルミ陽極酸化塗装皮膜		
金 物	丁番、ドアクローザー、戸当り、シリンダー錠 (内部サムターン)、レバーハンドル、アルミ縁縁、付属金物一式		
符号名称数量	(41/SS) 手動式軽量スチールシャッター	4	
姿 図	5,530 3,650 FL S:1/100		
見込 硝子			
仕 上	カラー鋼板 スラットァ0.8 (高耐食鋼板仕様)		
金 物	三方枠、耐風形ガイドレール (SUS)、SUS製座板、脱着式中柱 (高耐風圧タイプ)、シャッターケース (露出角形)、付属金物一式		

凡 例			
±0	一般FLからの床仕上高さを示す (特記なき限りはFL±0とする)	○	新設建具を示す
消	消火器 (ABC粉末10型) ※消防用設備等については、消防法施行令及び同規則の通り設置する。	消防 ○	消防無窓際の検討に使用する建具を示す
△	壁芯を示す		
▲	柱芯を示す		※建物内において火気使用なし。燃料の保管はなし。建物内で危険物・指定可燃物の貯蔵及び取扱いなし。

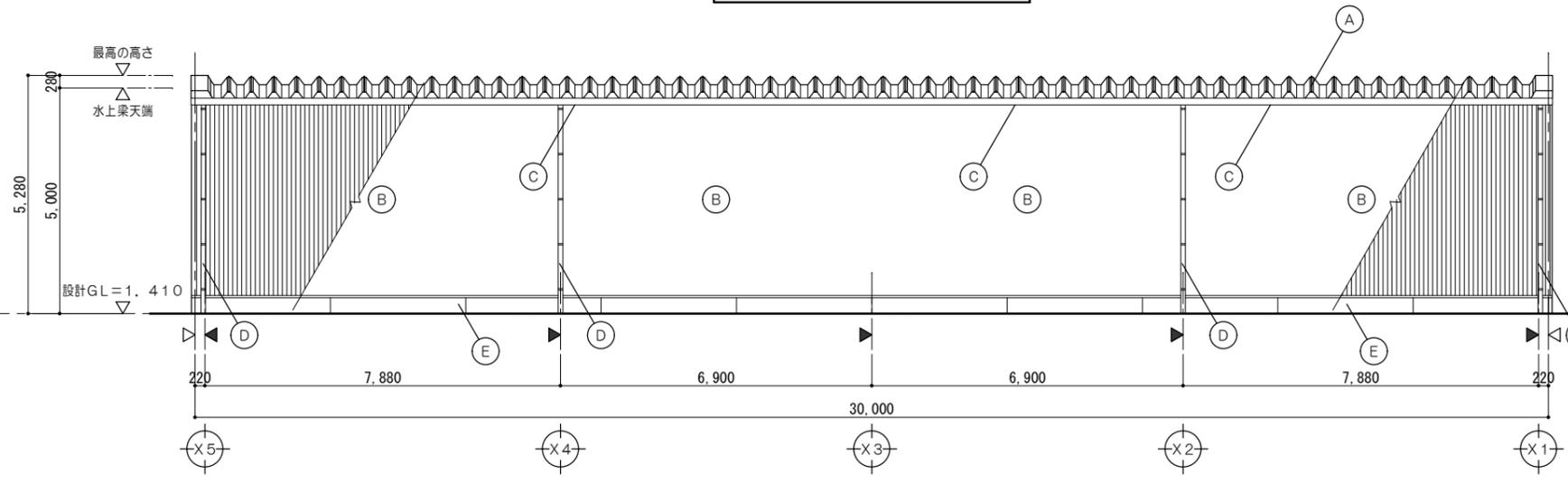
凡例			
(A)	屋根：丸駒折板葺 H166程度	(C)	軒 樋：塩ビ角型（前高型）W150（カラー） 落シロ（自在ドレン）
(B)	外 壁：金属系角波サイディングφ0.5張	(D)	タテ樋：硬質塩化ビニル管φ100（カラー） 支持金物 ステンレス製@1000内外
(E)	根廻り：撥水性防水剤塗布 コンクリート打放シ補修 誘発目地@3000		



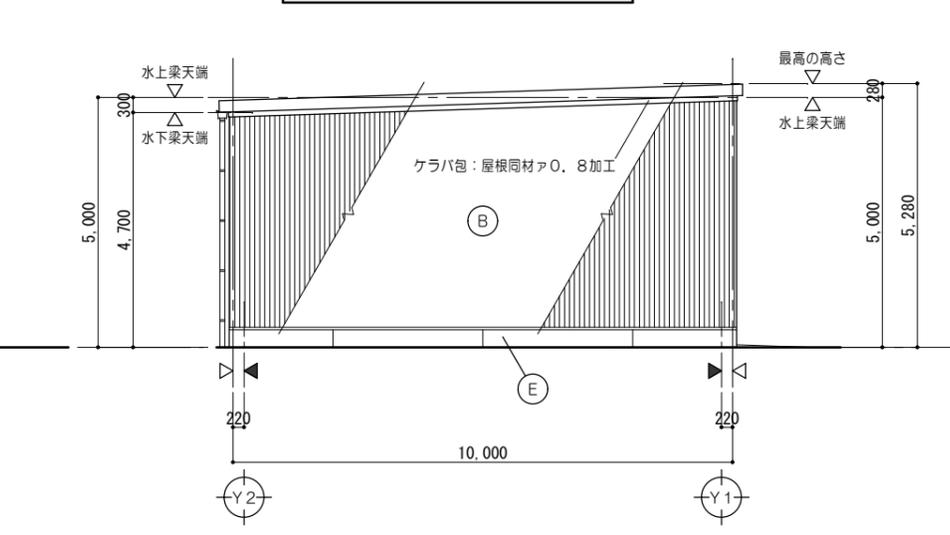
東面立面図 1/100



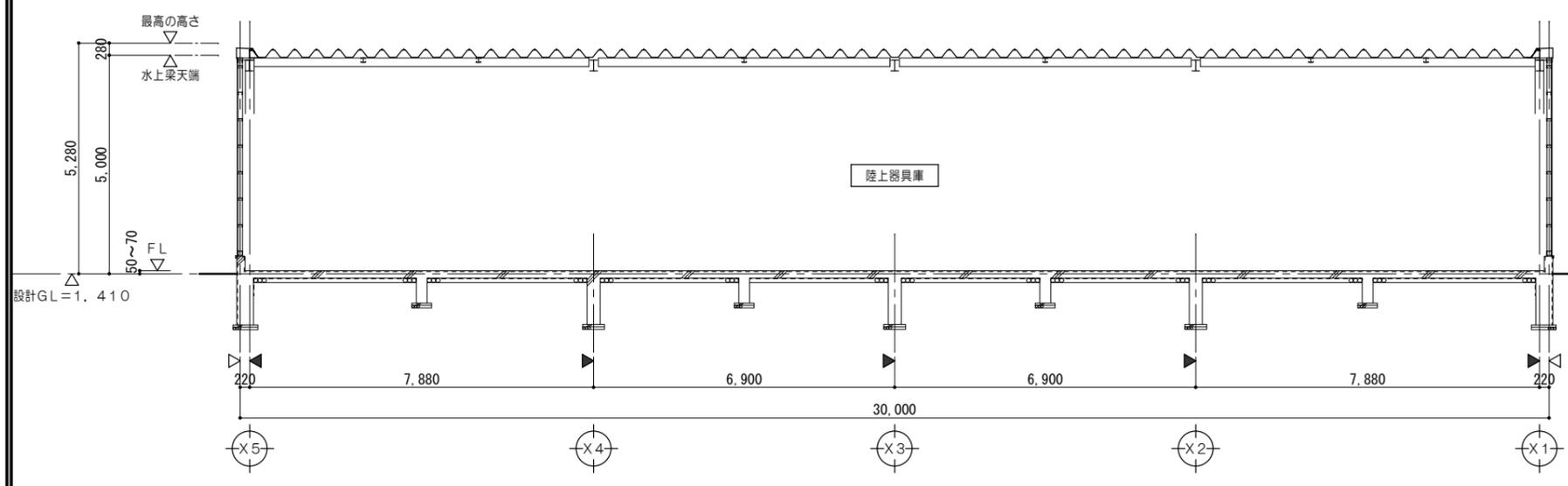
北面立面図 1/100



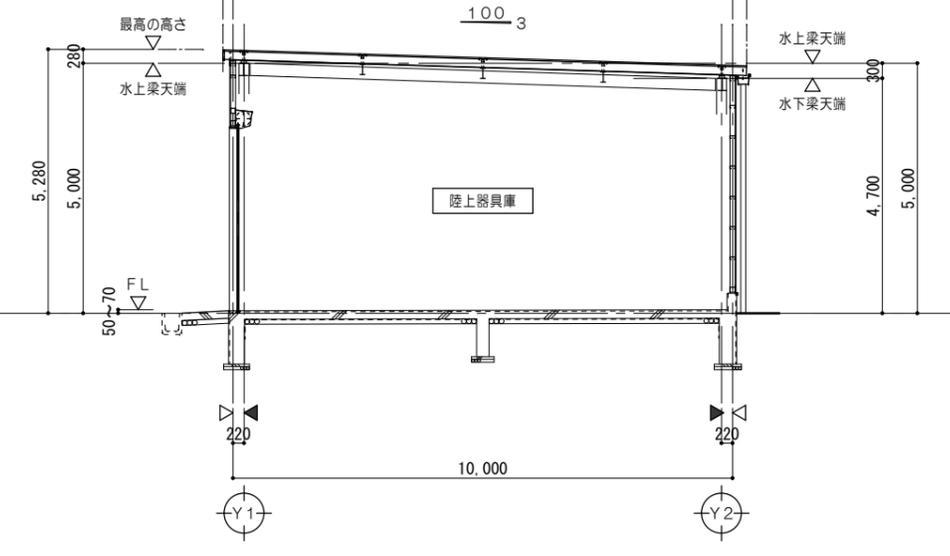
西面立面図 1/100



南面立面図 1/100

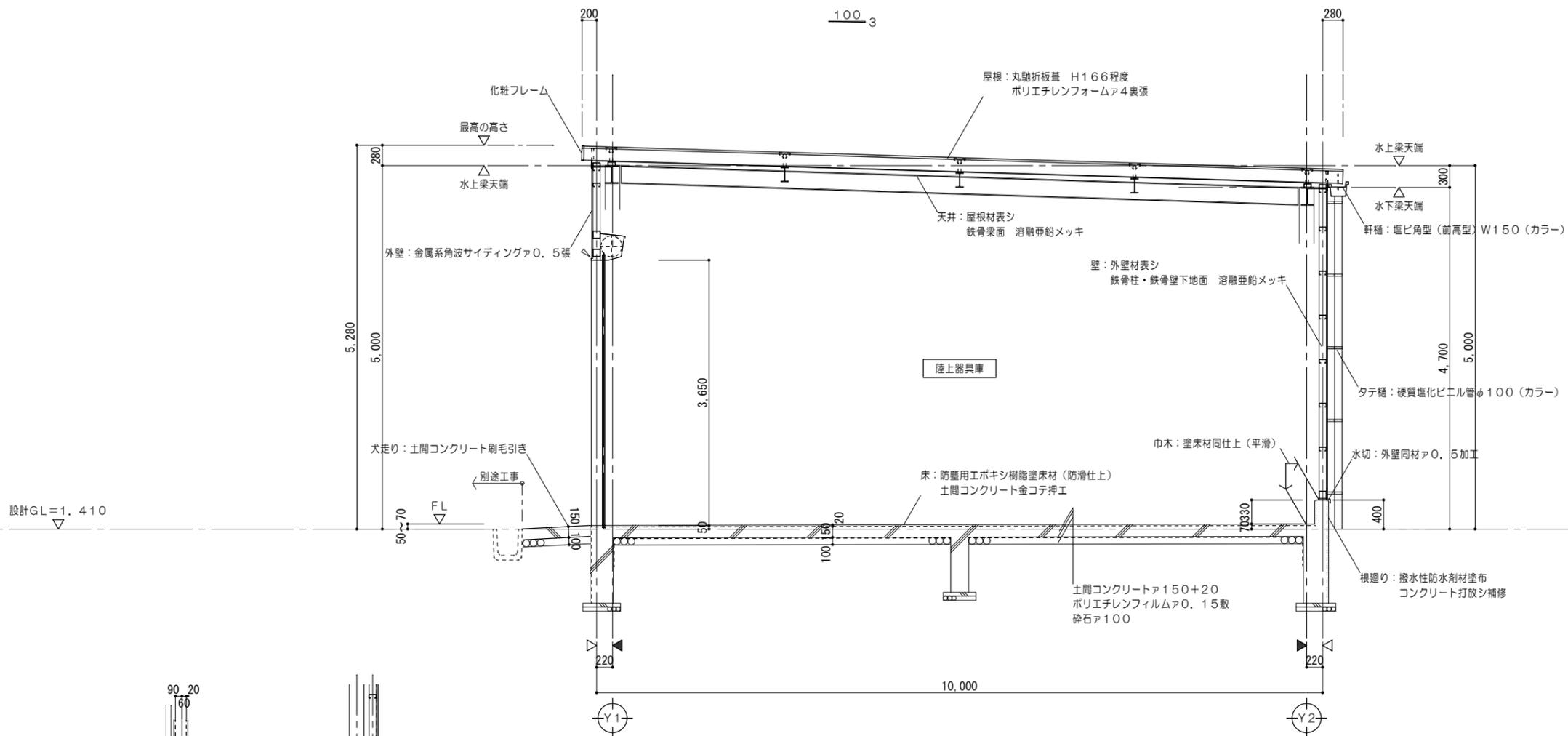


断面図 1/100



断面図 1/100

特 記 事 項	特記事項	<p>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</p>	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認		工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【④陸上器具庫】立面図、断面図	設計日
			一級建築士 第320204号 前野 将輝 一級建築士 第307846号 三橋 五百子 一級建築士 第378328号 加藤 早妃 一級建築士 第360917号 前田 祐作						縮 尺 A2:1/100 A3:1/141	図面番号 A068 (原図:A2)	

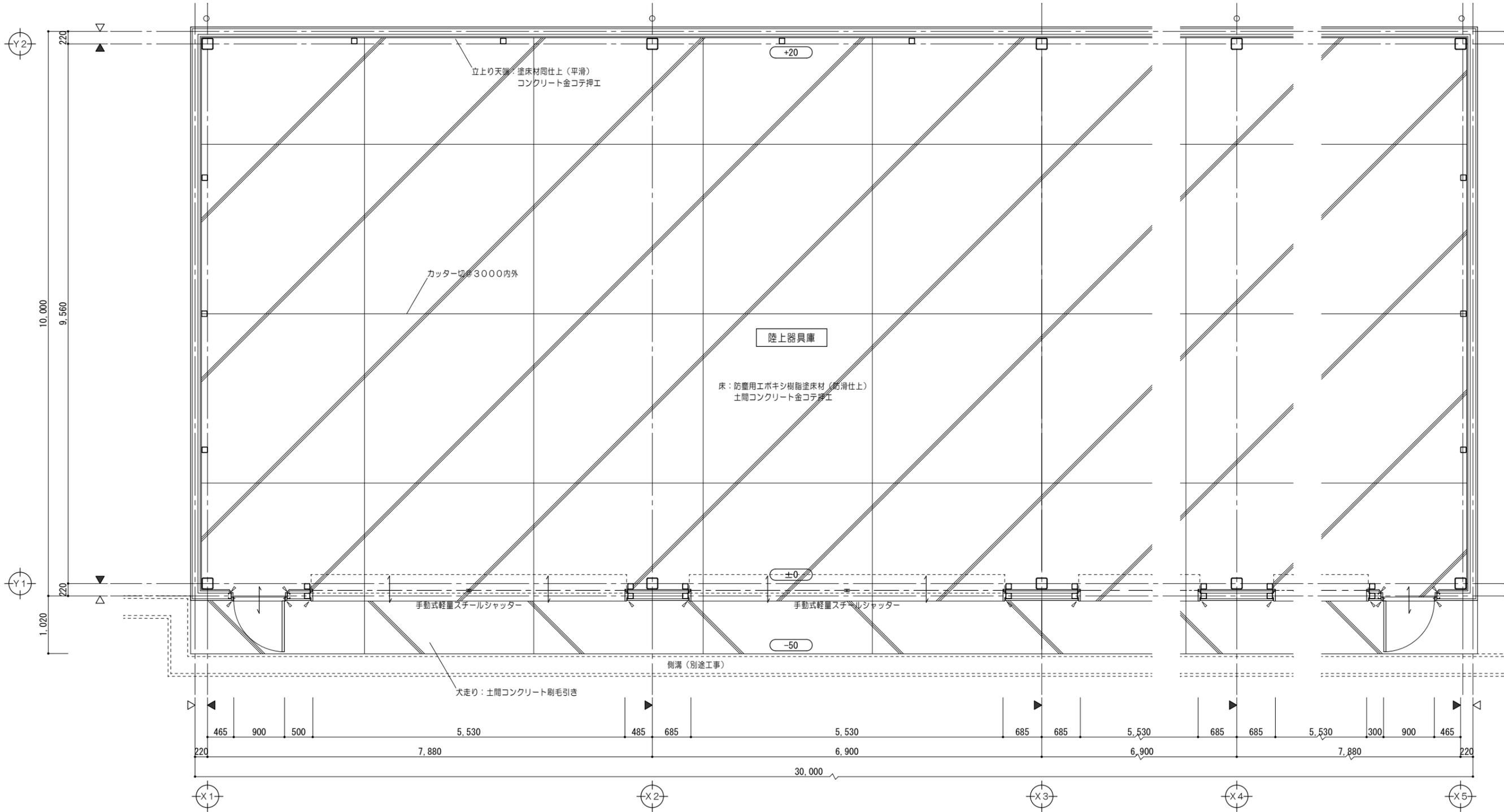


矩計図 1/50

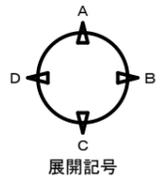
立上り詳細図 1/50

凡例	
∕	シーリングを示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す

特 記 事 項	前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認 	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【④陸上器具庫】矩計図	設計日 縮尺 A2:1/50 A3:1/71	図面番号 A069 (原図:A2)
	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝								

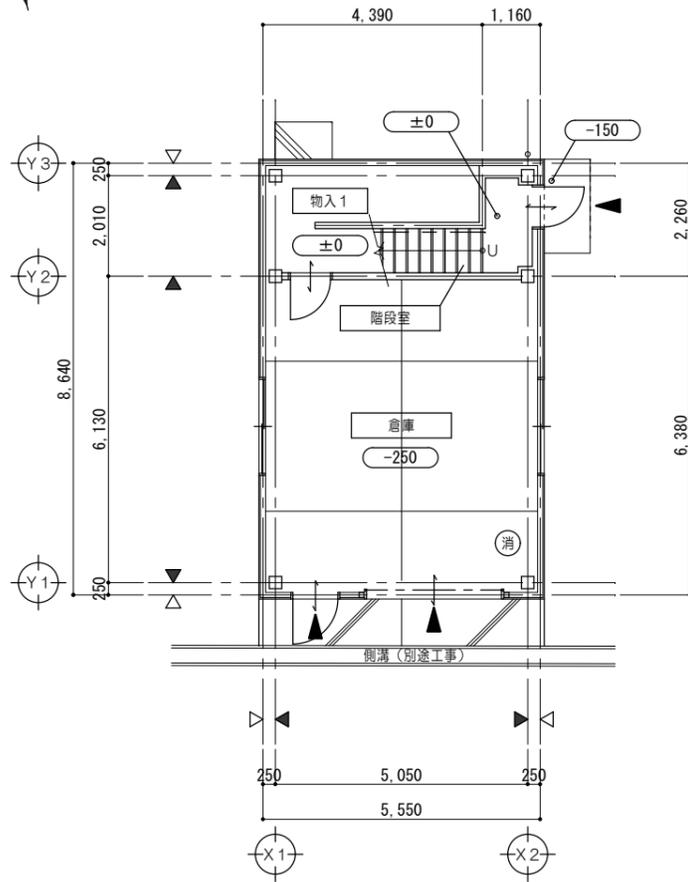


平面詳細図 1/50

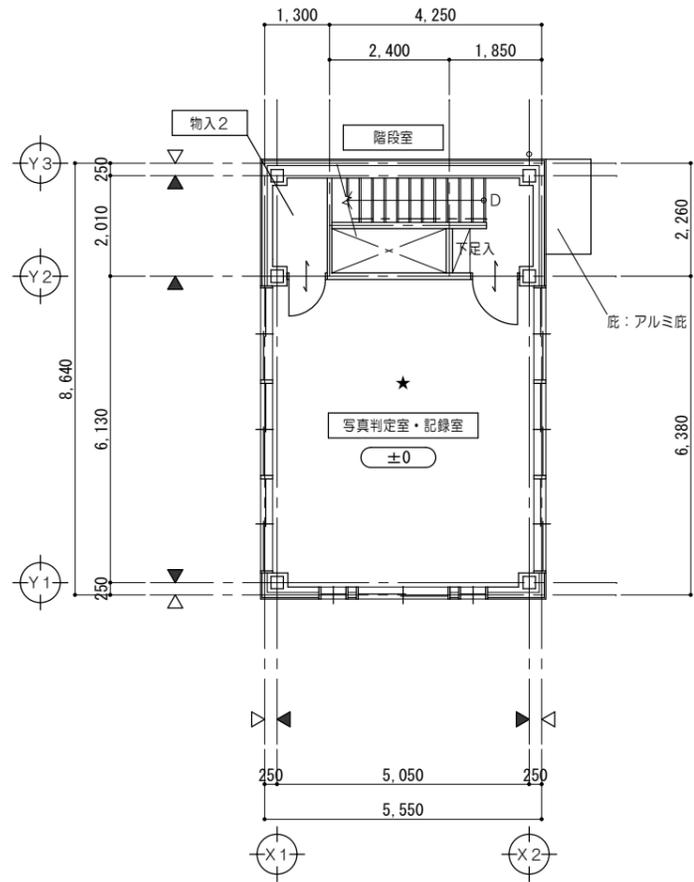


凡例	
±0	一般F.Lからの高さを示す
消	消火器 (ABC粉末10型) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
∕	シーリングを示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す

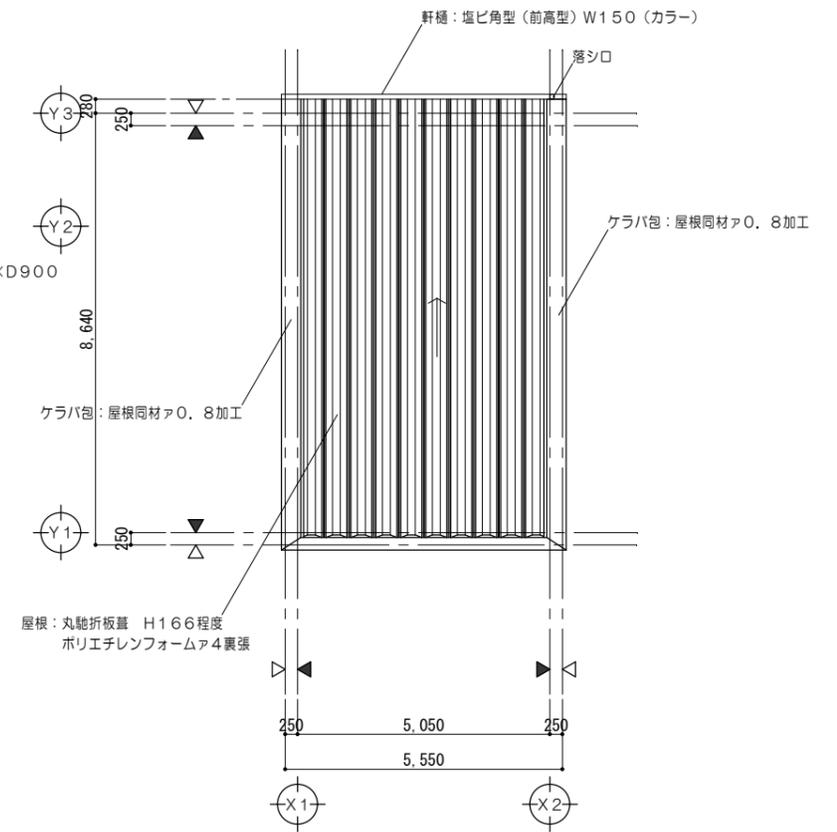
特 記 事 項	管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認	作図 加藤 早妃 校印 三橋 五百子	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【(4)陸上器具庫】平面詳細図	設計日
	縮尺 A2:1/50 A3:1/71	図面番号 A071 (原図:A2)							



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100



屋根伏図 1/100

凡例	
±0	一般FLからの床仕上高さを示す (特記なき限りはFL±0とする)
---	手すり (壁面より出100以下とする)
消	消火器 (ABC粉末10型) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
★	室内空気汚染物質測定箇所を示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す
※建物内において火気使用なし。 建物内で危険物・指定可燃物の貯蔵及び取扱いなし。 燃料の保管はなし。	
※「写真判定室・記録室」において、会議などは行わない。	

特記事項 ※消防開口に算入するシャッターは軽量シャッターである。

前野建築設計
 株式会社
 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝
 設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子
 設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃
 設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作

法適合確認

工事名称 **海浜公園内陸上競技場改修工事**
 図面名称 **【⑤写真判定棟】1階・2階平面図、屋根伏図**

設計日
 縮尺 A2:1/100 A3:1/141
 図面番号 **A072 (原図:A2)**